
PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 安 全衛生モニター管理

2006 年 12月

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 安全衛生モニター管理
SKU HRMS9HHS-B 1206JPN
Copyright © 1988–2006, Oracle. All rights reserved.

本プログラム（ソフトウェアおよび文書）には、財産的情報が含まれています。本プログラムは、使用および公開に関する制約が明記されたライセンス契約に従うことを条件として提供され、著作権、特許権などの知的財産権法および産業財産権法により保護されています。本プログラムのリバース エンジニアリング、逆アセンブル、または逆コンパイルは、他の独立したソフトウェアとの相互運用性の確保に必要とされる範囲または法的に規定された範囲を除き、禁じます。

本書に記載されている情報は、予告なく変更されることがあります。本書の内容に問題があった場合は、当社まで書面によりご通知ください。Oracle は、本書の内容に全く誤りがないことを保証するものではありません。ライセンス契約に明示的に規定された場合を除き、形式または手段（電子的、機械的など）、および目的の如何にかかわらず、本プログラムを複製または転送することを禁じます。

本プログラムが、アメリカ合衆国政府、またはその代理として本プログラムを使用する者に提供される場合には、以下の条項が適用されます。

U.S. GOVERNMENT RIGHTS

Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are “commercial computer software” or “commercial technical data” pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the Programs, including documentation and technical data, shall be subject to the licensing restrictions set forth in the applicable Oracle license agreement, and, to the extent applicable, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software—Restricted Rights (June 1987). Oracle Corporation, 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

本プログラムは、原子力、航空、大量輸送、医療などの本質的に危険を伴う用途を目的として作成されていません。危険を伴う用途に本プログラムを使用する場合の障害対策、バックアップ、および冗長構成などの適切な措置を講じた安全性の確保は、ライセンス供与を受けた者の責任とし、これらの用途に使用された場合のいかなる損失や障害について、当社は一切責任を負いません。

本プログラムには、Web サイトへのリンクが含まれており、サードパーティのコンテンツ、製品、およびサービスへのアクセスが発生する場合があります。サードパーティの Web サイトの運用およびそのコンテンツについて、Oracle は一切責任を負いません。これらのコンテンツの使用上の全ての責任は、使用者が負うこととします。サードパーティから製品またはサービスを購入する場合は、その購入者とサードパーティの間の直接取引になります。(a) サードパーティの製品またはサービスに関する品質、(b) サードパーティとの契約におけるいかなる条件の遵守（製品またはサービスの提供、また、購入された製品またはサービスに関する保証義務など）について、Oracle は一切責任を負いません。サードパーティとの取引に伴ういかなる損失や障害について、Oracle は一切責任を負いません。

Oracle、JD Edwards、PeopleSoft、および Siebel は、米国 Oracle Corporation およびその関連会社の両方またはいずれかの登録商標です。その他の会社名および製品名は所有各社の商標です。

オープン ソースの利用について

Oracle は、オープンソースまたはシェアウェアのソフトウェアの使用または配布について責任を負いません。また、これらのソフトウェアまたは文書の使用によるいかなる損失や障害についても一切責任を負いません。Oracle の PeopleSoft 製品には以下のオープンソースソフトウェアが使用される場合があります、これらには下記の免責条項が適用されます。

Apache Software Foundation

この製品には、Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>) によって開発されたソフトウェアが含まれています。Copyright (c) 2000–2003. The Apache Software Foundation. All rights reserved. ライセンスは、Apache ライセンス バージョン 2.0 (以下「ライセンス」) に基づいて許可されます。ライセンスの順守なく、このファイルを使用することは禁じられています。ライセンスのコピーは、<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0> で入手できます。

適用法により求められた場合、または書面をもって同意された場合を除き、ライセンスに基づいて配布されたソフトウェアは、明示的、黙示的を問わず一切の保証または条件なしに現状のまま提供されています。特定の言語下のライセンス許諾事項および制限事項については、ライセンスを確認してください。

OpenSSL

Copyright (c) 1998–2005 The OpenSSL Project. All rights reserved.

この製品には、OpenSSL Project (<http://www.openssl.org/>) によって OpenSSL Toolkit 用に開発されたソフトウェアが含まれています。

このソフトウェアは OpenSSL Project によって現状のまま提供されており、商品性や特定の目的への適合性に対する保証はもとより、明示的にも黙示的にも、一切の保証はありません。OpenSSL Project およびその共同提供者は、いかなる損害に対しても責任を負いません。これは、その損害が、直接的、間接的、付随的、特殊、典型的、または必然的であるか否かを問いません。また、代替品の購入や代替サービスの利用、有用性およびデータや利益の損失、業務の中断に対する保証もいたしません。本ソフトウェアの使用によるあらゆる損害の発生に対して、契約の記載や、重大な過失などによる権利侵害の有無にかかわらず、また、そのような損害の可能性について報告を受けていたとしても、OpenSSL Project は一切責任を負いません。

Loki Library

Copyright (c) 2001 by Andrei Alexandrescu. このコードは次の書籍に掲載されています。Alexandrescu, Andrei. “Modern C++ Design: Generic Programming and Design Patterns Applied”. Copyright (c) 2001 Addison-Wesley. このソフトウェアの複製、変更、配布、および販売は、その目的を問わず、全ての複製に上記の著作権表示を付すること、付属文書に著作権表示およびこの許可表示の両方を付することを条件に許可されます。

Helma Project

Copyright (c) 1999–2004 Helma Project. All rights reserved. このソフトウェアは現状のまま提供されており、商品性や特定の目的への適合性に対する保証はもとより、明示的にも黙示的にも、一切の保証はありません。Helma Project およびその共同提供者は、いかなる損害に対しても責任を負いません。これは、その損害が、直接的、間接的、付随的、特殊、典型的、または必然的であるか否かを問いません。また、代替品の購入や代替サービスの利用、有用性およびデータや利益の損失、業務の中断に対する保証もいたしません。本ソフトウェアの使用によるあらゆる損害の発生に対して、契約の記載や、重大な過失などによる権利侵害の有無にかかわらず、また、そのような損害の可能性について報告を受けていたとしても、Helma Project は一切責任を負いません。

Helma には、個別のライセンス条件に基づいてリリースされたサードパーティソフトウェアが含まれます。ライセンスの一覧については、Helma のディストリビューションに含まれるライセンス ディレクトリを参照してください。

Sarissa

Copyright (c) 2004 Manos Batsis.

このライブラリは、フリー ソフトウェアです。フリー ソフトウェア財団 (Free Software Foundation) によって発行された GNU Lesser General Public License (バージョン 2.1 またはそれ以降のバージョン) の定める条件の下で再配布や修正を行うことができます。

このライブラリの有用性は保証されるものではなく、商品性や特定の目的への適合性に対する黙示的な保証を含め、一切の保証なく配布されます。詳細については、GNU Lesser General Public License を参照してください。

GNU Lesser General Public License は、このライブラリと共に提供されています。提供されていない場合は、Free Software Foundation, Inc. (59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA) にお問い合わせください。

ICU

ICU ライセンス – ICU 1.8.1 およびそれ以降の著作権表示および許可表示 Copyright (c) 1995–2003 International Business Machines Corporation and others. All rights reserved.

本ソフトウェアおよび関連文書ファイル（以下「ソフトウェア」）の複製を取得する全ての人に対し、ソフトウェアの複製を使用、複写、変更、結合、掲載、配布、および/または販売する権利およびソフトウェアを提供する相手に同じことを許可する権利等を含む、ソフトウェアの無制限の取扱いを、上記の著作権表示およびこの許可表示がソフトウェアの全ての複製に付され、付属文書にも記載されることを条件に無償で許可します。ソフトウェアは現状のまま提供されており、商品性、特定の目的への適合性、およびサードパーティの権利の非侵害に対する保証はもとより、明示的にも黙示的にも、一切の保証はありません。この表示に示された著作権保持者は、いかなる損害賠償または損害に対する責任を負いません。契約行為、過失、またはその他の不法行為であっても、本ソフトウェアの使用や機能に起因または関係する、特殊、間接的、または結果的損害、あるいは有用性、データまたは利益の損失による損害か否かにかかわらず、著作権保持者は一切責任を負いません。この許可表示に記載されている場合を除き、著作権保持者による書面による事前の許可がない限り、著作権保持者の名前は広告や、その他の販売/使用プロモーション、またはこのソフトウェアのその他の取引に使用できません。

ここに記載された名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

Sun の JAXB 実装 – JDSDK 1.5 relaxngDatatype.jar 1.0 ライセンス

Copyright (c) 2001, Thai Open Source Software Center Ltd, Sun Microsystems. All rights reserved.

このソフトウェアは著作権保持者およびその共同提供者によって現状のまま提供されており、商品性や特定の目的への適合性に対する保証はもとより、明示的にも黙示的にも、一切の保証はありません。開発者およびその共同提供者は、いかなる損害に対しても責任を負いません。これは、その損害が、直接的、間接的、付随的、特殊、典型的、または必然的であるか否かを問いません。また、代替品の購入や代替サービスの利用、有用性およびデータや利益の損失、業務の中断に対する保証もいたしません。本ソフトウェアの使用によるあらゆる損害の発生に対して、契約の記載や、重大な過失などによる権利侵害の有無にかかわらず、また、そのような損害の可能性について報告を受けていたとしても、開発者は一切責任を負いません。

W3C IPR SOFTWARE NOTICE

Copyright (c) 2000 World Wide Web Consortium, (Massachusetts Institute of Technology, Institut National de Recherche en Informatique et en Automatique, Keio University). All Rights Reserved.

注: W3C Software Copyright Notice and License の原著は、<http://www.w3.org/Consortium/Legal/copyright-software-19980720> で入手できます。

このソフトウェアおよび文書は現状のまま提供されており、著作権保持者は、商品性、特定の目的への適合性、およびソフトウェアおよび文書の使用によるサードパーティの特許権、著作権、商標またはその他の権利の非侵害に対する保証はもとより、明示的にも黙示的にも、一切の表明や保証を行うものではありません。著作権保持者は、ソフトウェアまたは文書の使用にかかわる直接的、間接的、特殊、必然的ないかなる損害に対しても責任を負いません。

目次

はじめに

この PeopleBook について	xi
PeopleSoft Enterprise アプリケーションを使用するにあたって必要な知識.....	xi
アプリケーションの基礎.....	xi
最新版ドキュメンテーションおよび出力されたドキュメンテーションの入手.....	xii
最新版ドキュメンテーションの入手 (英語版のみ).....	xii
出力されたドキュメンテーションの注文とダウンロード.....	xii
追加情報.....	xiii
表記規則.....	xiv
表記規則.....	xiv
注意事項の表示.....	xv
国、地域、業種の表記.....	xvi
通貨コード.....	xvi
ご意見・ご要望をお寄せください.....	xvi
PeopleBook で使用する共通フィールド.....	xvii

まえがき

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理: 安全衛生モニター管理 – まえがき.....	xxi
PeopleSoft アプリケーション.....	xxi
PeopleSoft Enterprise HRMS アプリケーションの基礎.....	xxi
PeopleBook の構成.....	xxi

第 1 章

安全衛生モニター管理 – はじめに.....	1
安全衛生モニター管理の概要.....	1
安全衛生モニター管理のビジネス プロセス.....	1
安全衛生モニター管理の統合.....	2
安全衛生モニター管理の導入.....	2

第 2 章

保険事故と傷病の管理の設定.....	5
保険事故と傷病の管理について.....	5
傷病の定義.....	5

傷病の設定について.....	6
傷病の定義に使用するページ.....	6
職業病の種類の入力.....	8
診断結果の定義.....	9
危険事象と危険環境の定義.....	10
危険事象と危険環境の定義に使用するページ.....	11
危険事象の定義.....	11
危険環境と危険物の定義.....	12
職務コード別危険環境の管理.....	13
所在地別危険環境の管理.....	13
保険事故詳細の関連データの定義.....	14
保険事故詳細の関連データについて.....	14
保険事故詳細の関連データの定義に使用するページ.....	15
動物の設定.....	15
交通手段の設定.....	15
医療サービス情報の定義.....	16
医療サービス情報の定義に使用するページ.....	17
医師情報の入力.....	17
業務制限と業務内容変更の定義.....	18
業務制限と業務内容変更の定義に使用するページ.....	18

第 3 章

各国の保険事故レポートに使用する追加テーブルの定義.....	19
(AUS) 保険事故請求規定テーブルの設定.....	19
保険事故請求規定の設定に使用するページ.....	20
州別の保険事故請求の設定.....	20
(CAN) 労働基準局レポートの設定.....	22
労働基準局 (WCB) レポートの設定手順.....	22
WCB レポートの設定に使用するページ.....	23
業務所在地に対するクラスとサブクラスの設定.....	23
標準職業分類の設定.....	24
発生要因タイプの定義.....	24
予防措置タイプの設定.....	25
(DEU) ドイツ固有の事業主責任保険協会レポートの設定.....	26
事業主責任保険協会レポートの設定に使用するページ.....	26
安全衛生担当者の設定.....	28
社会保険ユニット ID の設定.....	29
改善措置の定義.....	29
疾病タイプの定義.....	29

予防措置の定義.....	30
危険物の定義.....	30
作業エリア区分の設定.....	31
作業エリア カテゴリの設定.....	31
作業エリアの設定.....	32
危険コードと従業員の関連付け.....	33
(GBR) 安全衛生庁 (HSE) レポートの設定.....	33
HSE へのレポート設定 (UK) に使用するページ.....	34
外部プログラムの追加と更新.....	34

第 4 章

保険事故被災者の個人情報管理.....	35
非従業員データの入力.....	35
非従業員データの入力に使用するページ.....	36
非従業員名の追加.....	36
非従業員の個人情報の入力.....	36
非従業員の追加住所情報の入力.....	37
従業員データの入力.....	39
従業員データの入力に使用するページ.....	39
従業員の追加住所情報の入力.....	39
雇用の詳細情報の入力.....	41
従業員健康保険証情報の管理.....	42
従業員健康保険証情報の管理に使用するページ.....	43
従業員健康情報詳細の記録.....	43
家族の詳細情報の入力.....	45
家族の詳細情報の設定に使用するページ.....	45
家族情報の入力.....	45

第 5 章

保険事故情報の作成と管理.....	47
保険事故について.....	47
新規保険事故情報の入力.....	47
保険事故番号.....	47
保険事故についてのレポート.....	48
保険事故詳細の入力.....	48
保険事故の入力に使用するページ.....	48
保険事故の追加と更新.....	50
届出の詳細情報の記録.....	54

保険事故詳細の記録.....	55
保険事故の発生場所の記録.....	56
移動中の保険事故の記録.....	59
経路詳細の入力.....	61
保険事故関係者の特定.....	62
届出義務の管理.....	64
傷病詳細の入力.....	66
事前設定.....	67
このセクションで使用する共通フィールド.....	67
傷病詳細の入力に使用するページ.....	67
業務関連の傷病の記録.....	70
(ESP) PAT 一般情報の入力.....	74
(ESP) RAF 詳細の入力.....	77
傷病内容の入力.....	77
傷病に関する主張の記録.....	80
傷病の詳細情報の入力.....	80
(ESP) PAT 詳細情報の入力.....	82
(ESP) RATSb 詳細データの入力.....	84
治療情報の入力.....	85
診断詳細の記録.....	89
(ESP) 医療扶助および経済 PAT データの指定.....	91
業務関連の保険事故の記録.....	93
(CAN) 長期支給の入力.....	97
レポート詳細の管理.....	98
車両と装置の保険事故データの入力.....	101
車両と装置の保険事故データの入力に使用するページ.....	101
車両と装置の保険事故データの入力.....	101
保険事故の事後措置の管理.....	103
改善/予防措置の記録方法.....	103
保険事故の改善/予防措置管理に使用するページ.....	103
改善措置の入力.....	103
予防措置の入力.....	104
従業員別の保険事故と傷病データの管理.....	106
事前設定.....	106
従業員傷病サマリの確認に使用するページ.....	106
従業員傷病サマリの表示.....	106
(GBR) イギリス固有レポート用の RIDDOR データの収集.....	107
RIDDOR データの収集プロセスについて.....	107
RIDDOR データの収集プロセスに使用するページ.....	107
(MEX) 合同委員会の定義.....	108

安全衛生のための合同委員会について.....	108
合同委員会の定義に使用するページ.....	108
合同委員会の定義.....	108

第 6 章

リハビリ、保険事故請求および健康診断データの処理.....	111
保険事故請求の管理.....	111
保険事故請求の管理について.....	111
保険事故請求の管理に使用するページ.....	112
請求の開始.....	112
請求詳細の入力.....	115
保険事故請求額の管理.....	115
請求支払情報の入力.....	117
取扱機関データの入力.....	117
リハビリ プランの管理.....	119
リハビリ プランの管理に使用するページ.....	120
傷病事故のリハビリ プランへの関連付け.....	120
業務制限と業務変更の管理.....	121
リハビリ措置詳細の管理.....	122
従業員業務制限サマリの表示.....	123
従業員健康診断結果の管理.....	123
健康診断結果の管理に使用する共通フィールド.....	124
健康診断結果の管理に使用するページ.....	124
健康診断情報の入力.....	125
健康診断結果の入力.....	127
聴力検査詳細の入力.....	129
視力検査詳細の入力.....	129
呼吸器官検査詳細の入力.....	130

第 7 章

(BRA) ブラジルの安全衛生管理レポートの実行.....	133
ブラジルの業務リスク レポートの実行.....	133
ブラジルの業務リスク レポートの実行に使用するページ.....	133
ブラジルの業務リスク レポートの実行.....	133
ブラジルの PPP レポートの実行.....	134
ブラジルの PPP レポートの実行に使用するページ.....	134
ブラジルの PPP レポートの実行.....	134

第 8 章

(CAN) 労働基準局 (WCB) へのレポート	137
ブリティッシュ コロンビア州労働基準局 (BC WCB) の電子レポート システムについて.....	137
ブリティッシュ コロンビア州労働基準局 (BC WCB) への EDI レポート用のデータ処理.....	139
レポート送信の事前設定.....	139
WCB EDI レポートのためのデータ処理に使用するページ.....	140
WCB レポートのためのデータ入力.....	140
WCB レポートのための EDI ファイル作成.....	140

第 9 章

(DEU) 保険事故と傷病の事業主用モニター管理	143
保険事故と傷病に関する事業主用のデータについて.....	143
従業員チェックリスト データの確認.....	143
事前設定.....	144
健康診断情報の更新に使用するページ.....	144
健康診断情報の更新.....	144
従業員の疾病管理.....	145
疾病の管理に使用するページ.....	146
疾病プロファイルの設定.....	146
従業員の職務詳細の入力.....	148
職務関連の疾病に関する情報の入力.....	149
給与と保険情報の入力.....	149
治療詳細の入力.....	150
改善措置の入力.....	152
予防措置の入力.....	153
担当者情報の入力.....	153
担当者の割り当てに使用するページ.....	153
担当者の割当.....	153
ドイツ固有のレポート用のデータ収集.....	154
疾病レポートのデータ収集に使用するページ.....	155

PeopleSoft Enterprise 用語一覧	157
---	------------

索引	177
-----------------	------------

この PeopleBook について

PeopleSoft Enterprise PeopleBook には、オラクル社の PeopleSoft Enterprise アプリケーションの導入と使用に必要な情報が提供されています。

ここでは、以下の事項について説明します。

- PeopleSoft Enterprise アプリケーションを使用するにあたって必要な知識
- アプリケーションの基礎
- 最新版ドキュメンテーションおよび出力されたドキュメンテーションの入手
- 追加情報
- 表記規則
- ご意見・ご要望について
- PeopleBook で使用する共通フィールド

注: PeopleBook では、追加の説明が必要な場合のみ、フィールドやチェック ボックスなどの説明を記載しています。処理や業務の説明箇所に、そこで使用されるフィールドの説明がない場合は、追加の説明が必要ないか、または、PeopleBook のセクション、章、PeopleBook 全体、または製品ライン全体で使用される共通フィールドとして説明されています。共通フィールドについては、この章の後半を参照してください。

PeopleSoft Enterprise アプリケーションを使用するにあたって必要な知識

この PeopleBook の内容を十分に理解して活用するには、PeopleSoft Enterprise アプリケーションの基本的な使い方を熟知している必要があります。

また、少なくとも 1 つの入門トレーニング コースを修了することをお勧めします。

この PeopleBook では、ユーザーが PeopleSoft Enterprise のメニューやページ、ウィンドウなどを使って情報を追加、更新、削除できることを前提としています。また、Web ブラウザと、Microsoft Windows または Microsoft Windows NT の操作に習熟していることも必要です。

ここでは、PeopleSoft システムを操作できることを前提としているため、操作手順についての説明は省略しています。この PeopleBook では、PeopleSoft Enterprise システムを効果的に使っていただくために必要な情報や、PeopleSoft Enterprise アプリケーションを導入するために必要な情報を提供します。

アプリケーションの基礎

各アプリケーションの PeopleBook では、PeopleSoft Enterprise アプリケーションを導入して使用するための情報を提供しています。

一方、一部のアプリケーションについて、システムを設定したり設計するときに必要となる情報は、『PeopleSoft Enterprise アプリケーションの基礎 PeopleBook』に書かれています。『PeopleSoft Enterprise アプリケーションの基礎 PeopleBook』は、ほとんどの製品ラインに用意されています。それぞれの PeopleBook のまえがきに、関連する『PeopleSoft Enterprise アプリケーションの基礎 PeopleBook』の情報が記載されています。

『PeopleSoft Enterprise アプリケーションの基礎 PeopleBook』で取り上げている項目は、どの PeopleSoft Enterprise アプリケーションにも当てはまる、あるいはその多くに共通する重要なものばかりです。PeopleSoft システムを導入する場合、1 つのアプリケーションだけを導入する、製品ラインの中からいくつかのアプリケーションを組み合わせて導入する、または製品ライン全体を導入するといったように複数の選択肢がありますが、いずれの場合でも、この『PeopleSoft Enterprise アプリケーションの基礎 PeopleBook』に書かれている内容を十分に理解しておく必要があります。基礎的な内容を理解することが、導入タスクに着手する出発点となります。

最新版ドキュメンテーションおよび出力されたドキュメンテーションの入手

このセクションでは、以下の方法について説明します。

- 最新版ドキュメンテーションの入手（英語版のみ）
- 出力されたドキュメンテーションの注文とダウンロード

最新版ドキュメンテーションの入手（英語版のみ）

本リリースおよび旧リリースの最新版および追加ドキュメンテーションは、オラクル社の PeopleSoft Customer Connection Web サイトから入手できます。オラクル社の PeopleSoft Customer Connection にある Documentation セクションでファイルをダウンロードし、既存の PeopleBook ライブラリに追加することができます。PeopleBook の CD-ROM に含まれる PeopleSoft Enterprise ドキュメンテーション全体へのアップデートを含め、役に立つ最新情報が掲載されています。

重要: アップグレードが必要な場合は、オラクル社の PeopleSoft Customer Connection でアップグレードに関する指示に変更がないか確認してください。常に、アップグレード処理に関する最新情報が掲載されています。

関連項目:

オラクル社の PeopleSoft Customer Connection: http://www.oracle.com/support/support_peoplesoft.html

出力されたドキュメンテーションの注文とダウンロード

PeopleSoft Enterprise ドキュメンテーションは、PeopleBook CD-ROM に収録されていますが、オラクル社の Web サイトから入手することもできます。以下のいずれかの方法で入手できます。

- PDF ファイルをダウンロードする。
- 印刷・製本されたドキュメンテーションを注文する。

PDF ファイルのダウンロード

PeopleSoft Enterprise ドキュメンテーションの PDF 版は、Oracle Technology Network からオンラインでダウンロードできます。PDF ファイルは、メジャー リリースごとに提供され、ソフトウェア出荷後にオンラインで入手できます。

参照: Oracle Technology Network: <http://www.oracle.com/technology/documentation/psftent.html>.

印刷・製本されたドキュメンテーションの注文

印刷・製本されたドキュメンテーションは、Oracle Store から注文できます。

参照: Oracle Store: http://oraclestore.oracle.com/OA_HTML/ibeCCtpSctDspRte.jsp?section=14021

追加情報

オラクル社の PeopleSoft Customer Connection Web サイトから、以下の情報を入手できます。

情報	ナビゲーション
アプリケーションのメンテナンス情報	[Updates + Fixes]
ビジネスプロセス図	[Support]、[Documentation]、[Business Process Maps]
インタラクティブ サービス リポジトリ	[Support]、[Documentation]、[Interactive Services Repository]
ハードウェア要件とソフトウェア要件	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Implementation Guide]、[Implementation Documentation and Software]、[Hardware and Software Requirements]
インストール ガイド	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Implementation Guide]、[Implementation Documentation and Software]、[Installation Guides and Notes]
統合情報	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Implementation Guide]、[Implementation Documentation and Software]、[Pre-Built Integrations for PeopleSoft Enterprise and JD Edwards EnterpriseOne Applications]
最低要件	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Implementation Guide]、[Supported Platforms]
最新版ドキュメンテーション	[Support]、[Documentation]、[Documentation Updates]
PeopleBook サポート ポリシー	[Support]、[Support Policy]
プレリリース ノート	[Support]、[Documentation]、[Documentation Updates]、[Category]、[Release Notes]
製品出荷予定	[Support]、[Roadmaps + Schedules]

情報	ナビゲーション
リリースノート	[Support]、[Documentation]、[Documentation Updates]、[Category]、[Release Notes]
リリースバリュープロポジション	[Support]、[Documentation]、[Documentation Updates]、[Category]、[Release Value Proposition]
製品概要	[Support]、[Documentation]、[Documentation Updates]、[Category]、[Statement of Direction]
トラブルシューティング情報	[Support]、[Troubleshooting]
アップグレード関連のドキュメンテーション	[Support]、[Documentation]、[Upgrade Documentation and Scripts]

表記規則

このセクションでは、以下の事項について説明します。

- 表記規則
- 注意事項の表示
- 国、地域、業種の表記
- 通貨コード

表記規則

PeopleBook は、次の表記規則に従って記述されています。

表記規則	説明
太字	PeopleCode の関数名、メソッド名、言語要素や、関数呼び出しでそのまま記述すべき PeopleCode の予約語は太字で記述しています。
斜体	PeopleCode の構文で、プレースホルダとなる引数部分は斜体になっています。
キー + キー	キーを組み合わせる操作を示しています。キー名とキー名の間にプラス記号がある場合は、最初のキーを押しながら 2 番目のキーを押すという意味です。たとえば、Alt + W は、Alt キーを押しながら W キーを押すことを表します。

表記規則	説明
monospace font (固定幅のフォント)	PeopleCode のプログラムや、その他のコードの例の表記には、この固定幅のフォントを使用しています。
...(省略記号)	PeopleCode の構文で、先行要素の任意の繰り返しを示します。
{ }(中かっこ)	PeopleCode の構文で、2つの選択肢のうちいずれか一方を選択することを示します。選択肢は縦棒()で区切られています。
[](角かっこ)	PeopleCode の構文で、省略できる要素を示します。
&(アンパサンド)	PeopleCode の構文で、アンパサンドが頭に付いたパラメータはインスタンス化されたオブジェクトであることを示します。 また、PeopleCode の変数は必ずアンパサンドが頭に付きます。

注意事項の表示

注意事項は、以下のような形式で示されています。

注

PeopleSoft Enterprise システムを使って作業するときの注意事項が書かれています。

注: 注意事項は、このような形式で示しています。

システムが正しく機能するために必ず守っていただきたい大切な事柄は、“重要:”と示されています。

重要: 重要な注意事項は、このような形式で示しています。

警告

PeopleSoft システムの導入にあたって、特に注意しなければならない重要な事柄は、“警告:”と示されています。“警告:”と書かれた部分には十分な注意を払ってください。

警告: 警告は、このような形式で示しています。

相互参照

相互参照は、“参照:”、または“関連項目:”という形で示しています。すぐ前で説明した情報に関連する他のドキュメンテーションが相互参照として示されています。

国、地域、業種の表記

特定の国、地域、業種にのみ関連する情報については、国や地域名などをかっこ書きで付記して示しています。このような国や地域の表示は、通常はセクションの見出しに付記されますが、注意事項などに付記されることもあります。

特定の国を対象とした見出しの例: 「(FRA) 従業員の採用」

特定の地域を対象とした見出しの例: 「(中南米) 減価償却の設定」

国の表記

国際標準化機構 (ISO) が定める国コードを使って表記しています。

地域の表記

地域を表す名称で表記しています。以下に例を示します。

- アジア太平洋
- ヨーロッパ
- 中南米
- 北米

業種の表記

業種を表す名称か略称を使って表記しています。以下に例を示します。

- USF (米国連邦政府)
- E&G (教育/公的機関)

通貨コード

金額は ISO が定める通貨コードを使って表記しています。

ご意見・ご要望をお寄せください

PeopleBook についてのご意見、ご要望を下記にお寄せください。

〒158-0097
東京都世田谷区用賀 4-10-1
SBS タワー 13F

(日本オラクル株式会社内) 日本オラクルインフォメーションシステムズ株式会社
WPTG ランゲージマネジャー宛

TEL: 03-5797-6471

または、ETSJPN_US@ORACLE.COM へ電子メールでご連絡ください。

いただいた電子メール全てにご返答のできない場合もありますが、弊社では皆様のご意見やご要望に留意し、貴重な情報として今後の参考にさせていただきます。

PeopleBook で使用する共通フィールド

指定日	この日付までのデータが、レポートまたはプロセスの対象になります。
ビジネス ユニット	ビジネス情報をまとめる上位レベルの組織の ID です。ビジネス ユニットを利用して、1 つの大きな組織の中に地域別または部門別に複数のユニットを定義することができます。
説明	30 文字までのテキストを入力できます。
有効日	テーブル行が有効になる日付、またはアクションが開始される日付です。たとえば、元帳を 6 月 30 日に締める場合、元帳締めの有効日は 7 月 1 日となります。情報をいつ表示、変更できるかも有効日により管理されます。この情報を使用するページやバッチ処理では、現在行が使用されます。
1 回限り、常時処理、実行しない	<p>“1 回限り” を選択すると、次のバッチ処理実行時にリクエストが実行されます。バッチ処理が実行されると、処理頻度は自動的に “実行しない” に設定されます。</p> <p>“常時処理” を選択すると、バッチ処理が実行されるたびに毎回リクエストが実行されます。</p> <p>“実行しない” を選択すると、バッチ処理が実行されてもこのリクエストは実行されません。</p>
プロセス モニター	このリンクをクリックすると、プロセス リスト ページに移動して、送信したプロセス リクエストのステータスを確認できます。
レポート マネージャ	このリンクをクリックすると、レポート リスト ページに移動して、レポート内容の表示、レポート ステータスの確認、レポートと配信リストの詳細を表示する内容詳細メッセージの照会を行うことができます。
リクエスト ID	レポートまたはプロセスの選択条件のセットを表す ID です。
実行	このボタンをクリックしてプロセス リクエスト ページにアクセスすると、プロセスまたはジョブの実行場所、およびプロセスの出力フォーマットを指定できます。
セットID	コントロール テーブル情報のセット、つまり、テーブルセットを表す ID です。テーブルセットを使用すると、コントロール テーブル情報や処理オプションをビジネス ユニット間で共有できます。これは、データの重複やシステムメンテナンスの作業を減らすために使用されます。ビジネス ユニット内のレコード グループにセットID を割り当てると、レコード グループ内の全てのテーブルは、そのビジネス ユニットと、そのレコード グループに同じセットID を割り当てているその他のビジネス ユニットとの間で共有されます。たとえば、いくつかのビジネス ユニット間で共有される共通の職務コードのグループを定義したりできます。職務コードを共有する各ビジネス ユニットには、そのレコードについて同じセットID が割り当てられます。
略称	15 文字までのテキストを入力できます。
ユーザー ID	トランザクションを実行する人物を表す ID です。

ここからは EnterpriseOne
の用語です。

住所録番号

エンティティのマスター レコードを識別する固有の番号を入力します。住所録番号は、顧客、仕入先、会社、従業員、応募者、加入者、テナント、などの ID として使用できます。アプリケーションによっては、ページ上の住所録番号フィールドが、顧客番号、仕入先番号、会社番号、従業員 ID、応募者 ID、参加者 ID、などに相当する場合があります。

仮定通貨コード

取引金額の表示に使う通貨を指定する 3 文字のコードを入力します。このコードを使用すると、取引を最初に入力したときに使用した外国通貨または国内通貨以外の任意の通貨で、取引金額を表示できます。

バッチ番号

システムで処理されるトランザクションのグループを表す番号が表示されます。バッチ番号は入力フォーム上で割り当てることができます。自動採番プログラム (P0002) を使用して自動的に割り当てることもできます。

バッチ日付

バッチが作成される日付を入力します。このフィールドを空白にすると、システム日付がバッチ日付になります。

バッチ状況

バッチの転記状況を示すユーザー定義コード (UDC) テーブル 98/IC のコードが表示されます。有効な値は次のとおりです。

空白: バッチは転記されず、承認が保留状態になります。

A: バッチにエラーがなく転記が承認されますが、保留状態でまだ転記されていません。

D: バッチが正常に転記されています。

E: バッチにエラーがあります。転記する前にバッチを修正する必要があります。

P: バッチの転記中です。転記が完了するまでバッチは使用できません。転記中にエラーが発生すると、バッチ状況は E に変更します。

U: 別のユーザーがバッチを操作中のため一時的に使用できないか、またはバッチの処理中に停電があったため、バッチが使用中と認識されていません。

事業所

個別のエンティティ (倉庫、作業、プロジェクト、ワーク センター、配送と製造を行う事業所) を表すコードを入力します。一部のシステムでは、ビジネス ユニットと呼ばれます。

ビジネス ユニット

コストの追跡対象となる業務内の個別のエンティティを表す英数字のコードを入力します。一部のシステムでは、事業所と呼ばれます。

カテゴリ コード

特定のカテゴリ コードを表すコードを入力します。カテゴリ コードとは、組織要件の追跡とレポートのためにカスタマイズするユーザー定義のコードです。

会社

特定の組織、資金、その他のレポート対象を表すコードを入力します。会社コードは F0010 テーブルに登録されている必要があり、完全な貸借対照表を持つレポート対象を指定する必要があります。

通貨コード

取引の通貨を表す 3 文字のコードを入力します。JD Edwards EnterpriseOne では、国際標準化機構 (ISO) が定める通貨コードが使用されます。通貨コードは F0013 テーブルに保存されます。

伝票会社	<p>伝票に関連付けられた会社番号を入力します。この番号は、伝票番号、伝票タイプ、元帳日付と共に使用され、当初伝票を一意に識別します。</p> <p>会社と会計年度別に次の番号を割り当てる場合は、伝票会社に基づいて、該当する会社に正確な“次の番号”が割り当てられます。</p> <p>2 つ以上の当初伝票が同じ伝票番号と伝票タイプを持つ場合は、伝票会社を使用して必要な伝票を表示できます。</p>
伝票番号	<p>当初伝票を識別する番号が表示されます。当初伝票は伝票、請求書、仕訳、タイムシートなどになります。当初伝票番号は入力フォーム上で割り当てることができます。自動採番プログラムを使用して自動的に割り当てることもできます。</p>
伝票タイプ	<p>UDC テーブル 00/DT の 2 文字の UDC を入力します。このコードは、伝票、請求書、仕訳、タイムシートなどのトランザクションのソースと目的を表します。JD Edwards EnterpriseOne では、指定した伝票タイプ用に以下のプレフィックスが予約されています。</p> <p>P: 買掛金伝票 R: 売掛金伝票 T: 時間および給与伝票 I: 在庫伝票 O: 購買オーダー伝票 S: 受注オーダー伝票</p>
有効日付	<p>住所、品目、トランザクション、レコードが有効になる日付を入力します。このフィールドの意味はプログラムに応じて異なります。たとえば、有効日付は以下の日付を表します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 住所の変更が有効になる日付 • 賃貸契約が有効になる日付 • 価格が有効になる日付 • 為替レートが有効になる日付 • 税率が有効になる日付
会計期間、会計年度	<p>総勘定元帳の期間と年度を表す数字を入力します。多くのプログラムでは、このフィールドを空白にして、会社名および番号プログラム (P0010) で定義した現行会計期間と年度を使用できます。</p>
元帳日付	<p>取引が転記される会計期間を表す日付を入力します。入力した取引の日付と会社に基づいて割り当てられた会計期間パターンが比較され、適切な会計期間番号と年度を取得して日付が検証されます。</p>

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理: 安全衛生モニター管理 – まえがき

この章では、以下の内容について説明します。

- PeopleSoft アプリケーション
- PeopleSoft Enterprise HRMS アプリケーションの基礎
- PeopleBook の構成

PeopleSoft アプリケーション

この PeopleBook では、PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理の安全衛生モニター管理について説明します。

PeopleSoft Enterprise HRMS アプリケーションの基礎

システムの設定や設計に必要な基本情報は、この PeopleBook の姉妹編とも言える『PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook』に記載されています。PeopleSoft のアプリケーション ラインごとに、このドキュメンテーションが用意されています。

注: 安全衛生モニター管理の一部のページは、遅延処理モードで動作します。遅延処理については、『PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook』のまえがきの章に説明があります。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「PeopleSoft Enterprise HRMS アプリケーションの基礎 – まえがき」、「遅延処理」

PeopleBook の構成

PeopleSoft PeopleBook の基本的な構成内容は全ての PeopleBook で共通しています。このことを知っておくと、PeopleBook を効率よく活用できます。

PeopleBook は、処理の内容ごとに情報がまとめられた構成になっています。各章には、アプリケーションを設定または使用するために必要な処理が個別に説明されています。章内の各セクションには、その処理に含まれるタスクが説明されています。セクション内のサブセクションには、タスクに含まれるステップが説明されています。

パートに分かれている PeopleBook もあります。この場合は、1 つのパートに類似の導入プロセスまたはビジネス プロセスに関する複数の章がまとめられていたり、同じビジネス ソリューションに関係する複数の章がまとめられていたりします。PeopleBook がパートに分けられている場合は、各パートの中身が章に分けられています。

次の表で、PeopleBook に含まれる章の内容を説明します。

章	内容
まえがき	<p>現在開いているこの章です。ここでは、以下の内容について説明します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • アプリケーションの基礎 PeopleBook の使い方について • PeopleBook の構成について • この PeopleBook で使用する共通フィールド(該当フィールドがある場合)
はじめに	<p>この章では、製品導入のガイドラインを解説します。ここでは、以下の内容について説明します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • PeopleBook で説明するビジネス プロセスについて • 他の製品との統合について • 導入プロセスの概要と、対応するドキュメンテーションについて(実際の導入手順の詳細な説明はありません)
ナビゲーション	<p>(省略あり) PeopleSoft アプリケーションの中には、特定のビジネス プロセスやタスク、ユーザー ロールなどに便利なフォルダ グループをまとめたカスタム ナビゲーション ページを利用できるものがあります。カスタム ナビゲーション ページのあるアプリケーションの場合は、この章に各ページへの基本のナビゲーション情報を記載します。</p> <p>注: 全てのアプリケーションでカスタム ナビゲーション ページを利用できるわけではありません。</p>
製品について	<p>(省略あり)ここでは、製品とその機能の概要を説明します。</p>

章	内容
設定と導入	<p>この説明は、複数の章にわたる場合があります。これらの章では、アプリケーションを設定、導入する手助けとなる情報を記載しています。そのため、たとえばアプリケーションのある機能の設定方法は説明していても、その使用法は説明していない場合があります。各機能の使用法が知りたい場合は、該当するビジネスプロセスの章を参照してください。</p> <p>注: ビジネスプロセスに関する情報が少ない場合は、ビジネスプロセスの章をあえて用意せずに、その情報をこの設定と導入に関する章に記載することもあります。</p>
ビジネスプロセス	<p>この説明は、複数の章にわたる場合があります。通常これらの章では、個々の機能に固有のビジネスプロセスの情報を章ごとに記載しています。そのため、たとえばアプリケーションのある機能の使用法は説明していても、その設定方法は説明していない場合があります。各機能の設定方法が知りたい場合は、該当する設定と導入の章を参照してください。</p> <p>注: 設定と導入に関する情報が少ない場合は、設定と導入の章をあえて用意せずに、その情報をこのビジネスプロセスの章に記載することもあります。</p>
付録	<p>(省略あり) 必要に応じて、PeopleBook に付録の章がいくつか添付される場合があります。付録には、メインのドキュメンテーションの補足となる情報が記載されます。</p>
標準ワークフローに関する付録	<p>(省略あり) 標準ワークフローに関する付録には、アプリケーションに標準で用意されているワークフローの全リストが記載されます。</p> <p>注: 全てのアプリケーションに標準ワークフローが用意されているわけではありません。</p>
レポートに関する付録	<p>(省略あり) 必要に応じて PeopleBook に添付されます。アプリケーションで使われるレポートの全リストが記載されます。レポートの使用法についての詳細情報は、通常は関連のビジネスプロセスの章で説明します。</p>

第 1 章

安全衛生モニター管理 – はじめに

この章では、安全衛生モニター管理の概要と以下の項目について説明します。

- 安全衛生モニター管理のビジネス プロセス
- 安全衛生モニター管理の統合
- 安全衛生モニター管理の導入

安全衛生モニター管理の概要

安全衛生モニター管理では、職場での保険事故、傷病、疾病、危険事象の記録や追跡管理が行えます。従業員に対する保険事故の追跡管理に加え、事故の目撃者で、実際には負傷しなかった非従業員および従業員の記録や追跡管理を行うこともできます。また、安全衛生モニター管理では、医療データおよび健康診断データを該当する報告機関へ提出し、処理することができます。

安全衛生モニター管理のビジネス プロセス

安全衛生モニター管理では、以下のビジネス プロセスをサポートしています。

- 傷病の定義
- 危険事象と危険環境の定義
- 医療サービス情報の定義
- 業務制限の定義
- 保険事故および疾病情報の管理
- 保険事故および疾病情報のレポート
- (AUS) 保険事故請求規定の設定
- (CAN) 労働基準局へのレポート
- (DEU) 事業主責任保険協会へのレポート
- (GBR) 安全衛生庁情報のレポート
- (MEX) 合同委員会情報の管理

この PeopleBook のビジネス プロセスの章では、以上のビジネス プロセスについて説明します。

安全衛生モニター管理の統合

安全衛生モニター管理は、全ての PeopleSoft Enterprise Human Resource Management Systems (HRMS) のアプリケーション、その他の PeopleSoft のアプリケーション、およびサード パーティのアプリケーションと統合できます。

ヒューマン リソース管理の共有テーブルは、HRMS の他のアプリケーションでも使用できます。また、多くの HR テーブルのデータは、パブリッシュされたメッセージをサブスクライブするよう設定されている PeopleSoft アプリケーションでも利用可能です。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「PeopleSoft Enterprise HRMS - はじめに」

安全衛生モニター管理の導入

セットアップ マネージャを使用すると、導入する製品のために実行する必要がある設定タスクのリストを確認できます。この設定タスクには、設定する必要があるコンポーネントが、テーブルにデータを入力すべき順番でリストされます。また、関連する PeopleBook ドキュメンテーションへのリンクも含まれます。

また、安全衛生モニター管理には、既存システムから PeopleSoft テーブルへデータをロードするコンポーネント インターフェイスも用意されています。テーブルにデータをロードするには、Excel to Component Interface ユーティリティを使用します。

以下は、設定コンポーネント インターフェイスを持つコンポーネントの一覧です。

コンポーネント	コンポーネント インターフェイス	参照先
JOBCODE_HAZRDS_TBL	JOBCODE_HAZRDS_TBL	参照: 第 2 章、「保険事故と傷病の管理の設定」、「職務コード別危険環境の管理」、13ページ
LOCATN_HAZRDS_TBL	LOCATN_HAZRDS_TBL	参照: 第 2 章、「保険事故と傷病の管理の設定」、「所在地別危険環境の管理」、13ページ
DIAGNOSIS_TABLE	DIAGNOSIS_TABLE	参照: 第 2 章、「保険事故と傷病の管理の設定」、「診断結果の定義」、9ページ
HS_OCC_ILLNESS	HS_OCC_ILLNESS	参照: 第 2 章、「保険事故と傷病の管理の設定」、「職業病の種類の入力」、8ページ
ACCIDN_TYPE_TBL	ACCIDN_TYPE_TBL	参照: 第 2 章、「保険事故と傷病の管理の設定」、「傷病の定義」、5ページ

コンポーネント	コンポーネント インターフェイス	参照先
INJURY_NATURE_TBL	INJURY_NATURE_TBL	参照: 第 2 章、「保険事故と傷病の管理の設定」、「傷病の定義」、5 ページ
INJURY_SOURCE_TBL	INJURY_SOURCE_TBL	参照: 第 2 章、「保険事故と傷病の管理の設定」、「傷病の定義」、5 ページ
HS_TRANSPORT_TBL	HS_TRANSPORT_TBL	参照: 第 2 章、「保険事故と傷病の管理の設定」、「交通手段の設定」、15 ページ

その他の情報ソース

導入プランの作成段階では、導入ガイド、テーブルへのデータ ロードの手順、データ モデル、ビジネス プロセス マップなど、PeopleSoft 内にある全ての情報を活用するようにしてください。

関連項目:

Enterprise PeopleTools PeopleBook: PeopleSoft Setup Manager

PeopleSoft Enterprise PeopleTools PeopleBook: PeopleSoft Component Interfaces

第 2 章

保険事故と傷病の管理の設定

この章では、保険事故と傷病の管理の概要、および以下の作業を行う方法について説明します。

- 傷病の定義
- 危険事象と危険環境の定義
- 保険事故詳細の関連データの定義
- 医療サービス情報の定義
- 業務制限と業務内容変更の定義

保険事故と傷病の管理について

データを矛盾のないよう一貫して収集することは、会社の安全衛生プログラムにとって重要な要素です。記録を標準化することにより、その情報を最大限に活用して安全衛生プログラムを管理したり、政府や保険取扱機関への届出義務を履行することができるようになります。

安全衛生モニター管理を使って、保険事故に特定な情報を管理し、政府規定の変更に応じてコードや名称を更新することができます。ほとんどの設定テーブルは、コードや名称を複数入力することができますように設計されています。

設定テーブルでデータを作成する際は、その有効日に、入力する保険事故の有効日よりも前の日付を指定してください。入力する保険事故の有効日以降の日付を指定すると、安全衛生モニター管理のページでプロンプトリストに、有効なコードが全て表示されません。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「PeopleSoft Enterprise HRMS – はじめに」

傷病の定義

傷病や事故に関するコードを定義するには、事故タイプ コンポーネント (ACCIDN_TYPE_TBL)、身体部位 コンポーネント (BODY_PART_TABLE)、傷病区分コンポーネント (INJURY_NATURE_TBL)、傷病原因コンポーネント (INJURY_SOURCE_TABLE)、危険行為コンポーネント (UNSAFE_ACT_TBL)、職業病コンポーネント (HS_OCC_ILLNESS_TBL)、職業病 FRA (フランス機能) コンポーネント (OCC_ILLNESS)、診断結果テーブル コンポーネント (DIAGNOSIS_TABLE)、アレルギー テーブル コンポーネント (HS_ALLERGY_TBL)、予防接種テーブル コンポーネント (HS_IMMUN_TBL)、薬剤テーブル コンポーネント (HS_MEDCATN_TBL)、およびメディケア アイテム (オーストラリア機能) コンポーネント (HS_MEDCARE_TBL_AUS) を使用します。

このセクションでは、政府の報告機関から要求される傷病や事故に関するコードの設定についてのガイドラインおよび以下の作業を行う方法について説明します。

- 職業病の種類の入力
- 診断結果の定義

傷病の設定について

安全衛生モニター管理ビジネス プロセスで使用する特定の設定コードは法定区域によって異なるため、セットID 別に入力します。業務を行っている法定区域ごとに異なるコードのセットを作成できます。

たとえば、アメリカで従業員を管理している場合は、米国規格協会 (ANSI) が設けた標準コードを使うことも、また、会社独自のコードを設定することもできます。法定区域の管轄官公庁が特別なコード セットを使うように規定している場合は、そのコード セットを使ってください。

業務上の負傷は一般的に突発的または単発的な事故の結果であると考えられますが、これに対して職業病は長期にわたってリスクの高い状況に継続して置かれた結果生じるものと考えられます。職業病コードは、傷病の詳細 - 内容ページとドイツ固有機能の疾病管理 - 疾病プロフィール ページで使用されます。

傷病の定義に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
事故タイプ	ACCIDENT_TYPE_TBL	<ul style="list-style-type: none"> • [HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[職場環境保全]、[安全衛生管理]、[事故タイプテーブル] • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[事故/傷病情報定義]、[事故タイプ] 	業務上の負傷の原因になる可能性のある事故タイプを指定します。このコードは、傷病の詳細コンポーネントで使用されます。標準コード、または会社独自のコードを使用します。
身体部位	BODY_PART_TABLE	<ul style="list-style-type: none"> • [HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[職場環境保全]、[安全衛生管理]、[身体部位テーブル] • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[事故/傷病情報定義]、[身体部位] 	傷病を被った身体部位を指定し、それぞれの身体部位に部位区分を関連付けます。たとえば、“あご”は[顔]の部位区分に指定します。
傷病区分	INJURY_NATURE_TBL	<ul style="list-style-type: none"> • [HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[職場環境保全]、[安全衛生管理]、[傷病区分テーブル]、[傷病区分テーブル] • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[事故/傷病情報定義]、[傷病区分]、[傷病区分テーブル] 	傷病の種類を指定します。このコードは、傷病の詳細コンポーネントで使用されます。

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
傷病原因	INJURY_SOURCE_TBL	<ul style="list-style-type: none"> • [HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[職場環境保全]、[安全衛生管理]、[傷病原因テーブル] • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[事故/傷病情報定義]、[傷病原因]、[傷病原因テーブル] 	傷病の原因と考えられるものを指定します。このコードは、傷病の詳細コンポーネントで使用されます。
危険行為	UNSAFE_ACT_TABLE	<ul style="list-style-type: none"> • [HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[職場環境保全]、[安全衛生管理]、[危険行為テーブル] • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[事故/傷病情報定義]、[危険行為]、[危険行為テーブル] 	傷病と事故の原因にコードを割り当て、危険行為コードと結果の事故タイプコードを関連付けて保険事故を管理します。このコードは、傷病の詳細コンポーネントで使用されます。
職業病テーブル - 職業病	HS_OCC_ILLNESS	<ul style="list-style-type: none"> • [HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[職場環境保全]、[安全衛生管理]、[職業病テーブル]、[職業病] • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[医療サービス定義]、[職業病]、[職業病] 	一般的な職業病の種類を入力します。
職業病テーブル FRA - 職業病	OCC_ILLNESS_FRA	[HRMS 基本設定]、[製品・業務別定義]、[職場環境保全]、[安全衛生管理]、[職業病テーブル FRA]、[職業病]	フランスで一般的な職業病の種類を入力します。
診断結果テーブル	DIAGNOSIS_TABLE	<ul style="list-style-type: none"> • [HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[職場環境保全]、[安全衛生管理]、[診断結果テーブル]、[診断結果テーブル] • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[医療サービス定義]、[診断結果]、[診断結果テーブル] 	傷病に対する一般的な医療診断結果を定義します。各傷病は、傷病の詳細コンポーネントおよびリハビリプラン作成コンポーネントで管理します。
アレルギーテーブル	ALLERGY_TBL	<ul style="list-style-type: none"> • [HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[職場環境保全]、[安全衛生管理]、[アレルギーテーブル]、[アレルギーテーブル] • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[医療データ定義]、[アレルギー]、[アレルギーテーブル] 	アレルギータイプを定義します。

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
予防接種テーブル	IMMUN_TBL	<ul style="list-style-type: none"> • [HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[職場環境保全]、[安全衛生管理]、[予防接種テーブル]、[予防接種テーブル] • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[医療データ定義]、[予防接種]、[予防接種テーブル] 	予防接種の種類を定義します。
薬剤テーブル	MEDCATN_TBL	<ul style="list-style-type: none"> • [HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[職場環境保全]、[安全衛生管理]、[薬剤テーブル]、[薬剤テーブル] • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[医療データ定義]、[薬剤]、[薬剤テーブル] 	薬剤の種類を定義します。
メディケアアイテム	MEDICARE_TBL_AUS	<ul style="list-style-type: none"> • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[医療サービス定義]、[メディケアアイテム詳細 AUS] • [HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[職場環境保全]、[安全衛生管理]、[メディケアアイテム詳細 AUS] 	メディケアアイテムを定義します。

職業病の種類の入力

職業病テーブル - 職業病ページにアクセスします。



職業病データ

セットID: GBR 職業病コード: K37

検索 | 全件表示 最初 1/1 最後

*有効日: 1980/01/01 *ステータス: アクティブ

*名称: Acne

説明: Acne.
Activity: Work involving exposure to mineral oil, tar, pitch or arsenic.

▼ ドイツ

疾病区分: KDA Contagious

職業病テーブル - 職業病ページ

[職業病コード] セットID ごとに異なる職業病コードのグループを入力できます。

(DEU) [ドイツ]

[疾病区分] 該当する場合、疾病区分を選択します。

選択したい疾病区分が有効値のリストにない場合には、疾病区分ページでその疾病区分を登録してください。

診断結果の定義

診断結果テーブル ページにアクセスします。



診断結果テーブル

セットID: GBR 診断結果コード: K00001

検索 | 全件表示 最初 1/1 最後

*有効日: 1980/01/01 *ステータス: アクティブ

*名称: Lacerations

略称: Laceration

診断結果テーブル ページ

会社で障害を持つ従業員のための環境改善要求を管理している場合は、環境改善データ コンポーネントでも、ここで入力するのと同じ診断結果コードを使います。環境改善データ コンポーネントには、[職場環境管理] のさまざまなメニューからアクセスできます。

注: (GBR) ヒューマン リソース管理に用意されている Disability and Discrimination Act of 1995 (イギリスの身体障害および差別に関する法律、1995 年制定) の機能を導入する場合は、診断結果テーブルを使って身体障害に対する医療診断結果の入力も行います。このページには [法定提出書類要件 GBR] メニューからアクセスできます。テーブルは同一なので、どちらのメニューからもアクセスできます。

(USA) ヒューマン リソース管理に用意されている Americans with Disabilities Act (ADA) (アメリカ障害者法) の機能を導入する場合は、診断結果テーブルを使って身体障害に対する医療診断結果の入力も行います。このページには [法定提出書類要件] メニューからアクセスできます。テーブルは同一なので、どちらのメニューからもアクセスできます。

[診断結果コード] 値を選択します。セットID ごとに異なる診断結果コードのグループを入力できます。

危険事象と危険環境の定義

危険事象と危険環境を定義するには、危険事象コンポーネント (HS_DANGER_OCC)、危険環境/危険物コンポーネント (HAZ_CON_MATRL_TBL)、職務別危険テーブル コンポーネント (JOB_CODE_HAZRDS_TBL)、および所在地別危険コンポーネント (LOCATN_HAZRDS_TBL) を使用します。

危険管理は、職場に潜在する危険を割り出し、従業員の安全衛生を脅かす危険な作業環境や危険事象を排除するまたは最小化する措置を指します。

このセクションで説明するページを使って、危険な事象や作業環境の種類を設定します。コードを登録したら、職務コード別および所在地別に危険物や危険環境を管理して、リスクのある従業員を特定します。

このセクションでは、以下の方法について説明します。

- 危険事象の定義
- 危険環境と危険物の定義
- 職務コード別危険環境の管理
- 所在地別危険環境の管理

危険事象と危険環境の定義に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
危険事象	HS_DANGER_OCC	<ul style="list-style-type: none"> • [HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[職場環境保全]、[安全衛生管理]、[危険事象テーブル]、[危険事象] • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[危険環境定義]、[危険事象]、[危険事象] 	危険事象の種類を定義したり、法定区域の官公庁によって定義されている危険事象の種類を指定します。“保険事故の詳細”の詳細ページで保険事故を登録する際に、ここで定義したコードを使用します。
環境/危険物(危険環境/危険物テーブル)	HAZ_CON_MATRL_TBL	<ul style="list-style-type: none"> • [HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[職場環境保全]、[安全衛生管理]、[危険環境/危険物テーブル]、[環境/危険物] • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[危険環境定義]、[危険環境/危険物]、[危険環境/危険物テーブル] 	業務上の事故と傷病の直接の原因となる作業環境および危険物を示すコードを定義します。ここで定義したコードは、改善措置ページと予防措置ページで使用されます。
職務別危険テーブル	JOBCODE_HAZRDS_TBL	<ul style="list-style-type: none"> • [HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[職場環境保全]、[安全衛生管理]、[職務コード別危険環境テーブル]、[職務別危険テーブル] • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[危険環境定義]、[職務コード別危険環境]、[職務別危険テーブル] 	各職務コード別に、従業員が経験した危険状況を管理します。
所在地別危険	LOCATN_HAZRDS_TBL	<ul style="list-style-type: none"> • [HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[職場環境保全]、[安全衛生管理]、[所在地別危険テーブル]、[所在地別危険] • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[危険環境定義]、[所在地別危険環境]、[所在地別危険] 	社内の各場所別に、発生した危険状況を指定します。

危険事象の定義

危険事象ページにアクセスします。

危険事象	
セットID: KPIND	危険事象: KP01
<div> <div>詳細</div> <div>検索 全件表示</div> <div>最初 1/1 最後</div> </div>	
*有効日:	2002/01/01 31 *ステータス: アクティブ + -
名称:	RELEASE OF TOXIC OR HAZARDOUS GAS
略称:	HAZGAS
説明:	RELEASE OF TOXIC OR HAZARDOUS YELLOW COLOR GAS

危険事象ページ

注: 危険事象コードは法定区域により異なる場合があります。たとえば、イギリスでは、危険事象は傷病・疾病・危険事態報告規則 (RIDDOR) によって定義されています。カナダでは、労働基準局 (WCB) によって定義されています。

危険環境と危険物の定義

環境/危険物ページにアクセスします。

環境/危険物	
セットID: CAN	危険管理 ID: K400
<div> <div>危険物詳細</div> <div>検索 全件表示</div> <div>最初 1/1 最後</div> </div>	
*有効日:	1980/01/01 31 *ステータス: アクティブ + -
*名称:	Improperly placed matr/equip
略称:	Impr place
<div> <div>危険タイプ*</div> <div> <input checked="" type="radio"/> 環境 <input type="radio"/> 物質 </div> </div>	<div> <div>危険物データ</div> <div> <div>危険物クラス: 有毒/感染物</div> <div>危険性区分: 即効性劇物中毒</div> </div> </div>

環境/危険物ページ

[危険管理 ID]

1 つのセットID に対して複数の危険管理 ID を入力したり、法定区域ごとに異なる危険管理 ID のセットを管理することができます。

[危険タイプ]

危険タイプが、[環境] または [物質] のどちらであるかを指定します。[物質] を指定すると、[危険物データ] グループ ボックスを使って、[危険物クラス] と [危険性区分] に値を入力することができます。

注: 危険物クラスと危険性区分の両方について、米国規格協会 (ANSI) の標準コードがトランスレートテーブルに保存されています。

職務コード別危険環境の管理

職務別危険テーブル ページにアクセスします。

職務別危険テーブル									
セットID:		SHARE		Table Set shared across Corp					
職務コード:		740010		Radiologist-Heart Research					
危険物詳細									
法定区域	*危険管理 ID	略称	*届出日	改善日	危険タイプ*	危険物クラス	危険性区分		
USA			2007/04/01						

職務別危険テーブル ページ

[職務コード]

職務コードは、セットID に関連付けられているため、同じ職務コードを使用して、法定区域ごとに異なる危険管理データを管理できます。

[法定区域]

危険状況の法定区域を入力します。

[危険管理 ID]

データ行を追加して、複数の危険管理 ID を各職務コードに関連付けます。危険管理 ID を入力すると、[略称]、[危険タイプ]、[危険物クラス]、[危険性区分]の各フィールドに値がロードされます。

[届出日]

通常は今日の日付ですが、変更も可能です。

[改善日]

作業環境が改善された日付を入力します。

注: 危険環境と危険物は、環境/危険物ページで定義します。

所在地別危険環境の管理

所在地別危険ページにアクセスします。

所在地別危険									
セットID:		SHARE		Table Set shared across Corp					
所在地コード:		KUKY00		Kentucky Operations					
危険物詳細									
法定区域	*危険管理 ID	略称	*届出日	改善日	危険タイプ*	危険物クラス	危険性区分		
USA	K205	Noise	2005/05/27		環境	有毒物	即効性劇物中毒		

所在地別危険ページ

[所在地コード]

このフィールドには、入力した所在地コードが表示されます。

[法定区域]

危険状況の法定区域を入力します。所在地コードは、セットID に関連付けられているため、同じ所在地コードを使用して、法定区域ごとに異なる危険管理データを管理できます。

[危険管理 ID]

データ行を追加して、複数の危険管理 ID を各所在地コードに関連付けることができます。危険管理 ID を入力すると、[危険タイプ] フィールドに値がロードされます。

[届出日]

通常は今日の日付ですが、変更も可能です。

[改善日] 所在地の環境が改善された日付を入力します。

注: 危険環境と危険物は、環境/危険物ページで定義します。

保険事故詳細の関連データの定義

保険事故詳細の関連データを定義するには、動物コンポーネント (HS_ANIMAL_TBL) と交通手段コンポーネント (HS_TRANSPORT_TBL) を使用します。

このセクションでは、業務関連保険事故の詳細に関連するデータの概要と、以下の作業を行う方法について説明します。

- 動物の設定
- 交通手段の設定

保険事故詳細の関連データについて

このセクションで説明するページを使ってコードを設定し、動物や交通手段の種類など、業務関連保険事故に関与する要因を定義します。また、以下のコードも利用できます。

会社資産

会社資産コンポーネント (COMPANY_PROP_TBL) で資産コードを定義することにより、大型装置、機械、コンピュータ、電子装置に関連する保険事故を管理できます。会社資産コンポーネントにアクセスするには、[HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[人事・労務管理]、[会社資産] の順にクリックします。会社資産コンポーネントで表示されるページを使って、会社の資産を管理し、このデータに基づいて会社資産が関連する保険事故を追跡管理できます。

社有車

社有車コンポーネントで設定した社有車は、保険事故に関連付けることができます。社有車を追加する場合は、車両プロフィール ページで既に入力してある登録番号などのデータにアクセスすることもできます。

注: 社有車を会社資産テーブルに登録する場合には、車両プロフィール ページに登録したのと同じコードまたは番号を使用し、同一の車両に対して異なるコードができてしまわないようにします。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 人事・労務管理、「人事レコードへの追加情報の入力」、「会社資産の取り扱い」

保険事故詳細の関連データの定義に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
動物	HS_ANIMAL_TBL	<ul style="list-style-type: none"> • [HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[職場環境保全]、[安全衛生管理]、[動物テーブル] • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[事故/傷病情報定義]、[関連動物]、[動物] 	保険事故に関わった動物の種類を指定します。このデータは、“保険事故の詳細”の“移動中の保険事故”ページで使用されます。
交通手段	HS_TRANSPORT_TBL	<ul style="list-style-type: none"> • [HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[職場環境保全]、[安全衛生管理]、[交通手段テーブル] • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[事故/傷病情報定義]、[交通手段]、[交通手段] 	<p>従業員が業務上の移動中に保険事故に遭った際に使用した交通手段を指定します。</p> <p>交通手段コードは、“保険事故の詳細”の“移動中の保険事故”ページで使用します。</p>

動物の設定

動物ページにアクセスします。

動物

動物詳細

[カスタマイズ](#) | [検索](#) | [全件表示](#) |

最初 ◀ 1-6/6 ▶ 最後

	*動物	*名称	略称		
1	K00001	Bear	Bear	+	-
2	K00002	Moose	Moose	+	-
3	K00003	Skunk	Skunk	+	-
4	K00004	Dog	Dog	+	-
5	K00005	Cat	Cat	+	-
6	K00006	Bird	Bird	+	-

動物ページ

保険事故に関連付ける動物の種類を示すコードと名称を入力します。

交通手段の設定

交通手段ページにアクセスします。

交通手段					
詳細					
カスタマイズ 検索 全件表示 最初 1-9/18 最後					
	*交通手段	名称	略称		
1	K00001	Airplane	Airplane	+	-
2	K00002	Automobile-Company Car	Auto-Cmpny	+	-
3	K00003	Automobile-Personal	Auto-Prsnl	+	-
4	K00004	Automobile-Rental	Auto-Rentl	+	-
5	K00005	Bicycle	Bicycle	+	-
6	K00006	Big Rig	Big Rig	+	-
7	K00007	Bus	Bus	+	-
8	K00008	Ferry	Ferry	+	-
9	K00009	Motorcycle/Scooter	Motorcycle	+	-

交通手段ページ

保険事故に関連付ける交通手段を示すコードと名称を入力します。名称には、航空機、列車、車、バス、タクシーなどの乗り物の種類を入力するか、または、輸送会社名やサービス名を指定します。

医療サービス情報の定義

医療サービス情報を定義するには、医療施設コンポーネント (HS_MEDICAL_FAC) と医師コンポーネント (HS_PHYSICIAN_DATA) を使用します。

このセクションでは、医師情報の入力方法を説明します。

医療サービス情報の定義に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
医療施設	HS_MEDICAL_FAC	<ul style="list-style-type: none"> • [HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[職場環境保全]、[安全衛生管理]、[医療施設テーブル]、[医療施設] • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[医療サービス定義]、[医療施設]、[医療施設] 	病院や診療所の名称とその住所を入力します。
医師テーブル - 氏名	HS_PHYSICIAN_DATA1	<ul style="list-style-type: none"> • [HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[職場環境保全]、[安全衛生管理]、[医師テーブル]、[医師テーブル] • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[医療サービス定義]、[医師]、[医師] 	医師や医療専門家を医師テーブルに入力します。
医師テーブル - 名前の編集	NAME_DFT_SEC	医師テーブルの氏名ページで[名前の編集]リンクをクリックします。	プレフィックス、姓、名などの氏名の詳細を入力します。
医師テーブル - 住所	HS_PHYSICIAN_DATA2	<ul style="list-style-type: none"> • [HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[職場環境保全]、[安全衛生管理]、[医師テーブル]、[住所] • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[医療サービス定義]、[医師]、[住所] 	医師や医療専門家の住所を入力します。

医師情報の入力

医師テーブルの氏名ページにアクセスします。

<div> <div>氏名</div> <div>住所</div> </div>	
医師 ID:	00000000013
*氏名フォーマット:	イギリス 名前の編集
名前:	Philip McCleary

医師テーブル - 氏名ページ

[医師 ID]

このフィールドには、医師に割り当てられた非従業員 ID が表示されます。

自動採番機能を使って非従業員 ID を割り当てるよう設定してある場合は、インストール テーブルの [HS 非従業員 ID の最終採番番号] フィールドに表示された番号の次の番号が医師に割り当てられます。番号は、初め "00000000000" と表示されますが、入力した情報を保存すると、実際の番

号が表示されます。教育・研修管理および安全衛生モニター管理の両方のページの非従業員 ID に対し、この連番が順に割り当てられます。

警告: 非従業員 ID が重複して作成されてしまわないように、採番方法を常に手動または自動のどちらかの方法に統一してください。

[氏名フォーマット]

この従業員に使用する氏名フォーマットを持つ国を選択します。ここで選択した国に対応するフィールドが、“名前の編集” ページに表示されます。

[名前の編集]

このリンクをクリックすると、“名前の編集” ページに移動します。このページでは、適切な国別氏名フォーマットで氏名の詳細を入力できます。

関連項目:

第 4 章、「保険事故被災者の個人情報管理」、35ページ

PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「PeopleSoft Enterprise HRMS の設定とインストール」、「導入デフォルトの設定」

業務制限と業務内容変更の定義

業務制限と業務内容変更を定義するには、業務制限項目コンポーネント (WORK_RESTRICT_TBL) と業務内容変更コンポーネント (MODIFIED_WORK_TBL) を使用します。

従業員が傷病を負った後に職場に戻っても、すぐには元の職務に完全復帰できないことがあります。その場合には、これらのテーブルで設定したコードを使って、個人用に作成したリハビリ プランを管理できます。

業務制限と業務内容変更の定義に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
業務制限項目	WORK_RESTRICT_TBL	<ul style="list-style-type: none"> • [HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[職場環境保全]、[安全衛生管理]、[業務制限テーブル]、[業務制限項目] • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[業務制限定義]、[コードと有効日]、[業務制限項目] 	傷病の結果として従業員に割り当てられる制限事項を指定します。
業務内容変更	MODIFIED_WORK_TBL	<ul style="list-style-type: none"> • [HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[職場環境保全]、[安全衛生管理]、[業務変更テーブル]、[業務内容変更] • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[業務制限定義]、[業務内容変更]、[業務内容変更] 	業務手順または業務方法の変更と修正の内容を指定します。

第 3 章

各国の保険事故レポートに使用する追加テーブルの定義

この章では、各国の保険事故レポートに使用する追加テーブルの概要、および以下を行う方法について説明します。

- (AUS) 保険事故請求規定テーブルの設定
- (CAN) 労働基準局 (WCB) レポートの設定
- (DEU) 事業主責任保険協会レポートの設定
- (GBR) 安全衛生庁 (HSE) レポートの設定

(AUS) 保険事故請求規定テーブルの設定

保険事故請求規定詳細を管理するには、保険事故請求規定 - 請求 AUS (CLAIM_INFO_CLAIM)、保険事故請求規定 - 州 AUS (CLAIM_INFO_STATE)、保険事故請求規定 - 組合 AUS (CLAIM_INFO_UNION) の各コンポーネントを使用します。

このセクションでは、州別の請求方法について説明します。

注: この保険事故請求規定に関するコンポーネントを使って、州別、組合別、請求別に保険事故請求規定情報を設定します。この情報は、治療や休職が必要となった保険事故や従業員の負傷に対して、払い戻される費用を処理する際に使用されます。保険事故請求規定情報の設定に使うページは、州別、組合別、請求別の 3 つがあり、どのページも類似しています。

保険事故請求規定の設定に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
保険事故請求規定 - 州 AUS - 事故請求情報 AUS	CLAIM_INFO_AUS	<ul style="list-style-type: none"> • [HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[職場環境保全]、[安全衛生管理]、[保険事故請求規定 - 州 AUS]、[事故請求情報 AUS] • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[医療サービス定義]、[保険事故請求規定 - 州 AUS]、[事故請求情報 AUS] 	州別に保険事故請求規定情報を設定します。
保険事故請求規定 - 組合 AUS - 事故請求情報 AUS	CLAIM_INFO_AUS	<ul style="list-style-type: none"> • [HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[職場環境保全]、[安全衛生管理]、[保険事故請求規定 - 組合 AUS]、[事故請求情報 AUS] • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[医療サービス定義]、[保険事故請求規定 - 組合 AUS]、[事故請求情報 AUS] 	組合別に保険事故請求規定情報を設定します。
保険事故請求規定 - 請求 AUS - 事故請求情報 AUS	CLAIM_INFO_AUS	<ul style="list-style-type: none"> • [HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[職場環境保全]、[安全衛生管理]、[保険事故請求規定 - 請求 AUS]、[事故請求情報 AUS] • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[医療サービス定義]、[保険事故請求規定 - 請求 AUS]、[事故請求情報 AUS] 	承認済のステータスを持つ請求ごとに保険事故請求規定情報を設定します。このページにアクセスするには、請求番号を設定しておく必要があります。 参照: 第 6 章、「リハビリ、保険事故請求および健康診断データの処理」、「保険事故請求の管理」、111 ページ

州別の保険事故請求の設定

“保険事故請求規定 - 州 AUS” - “事故請求情報 AUS” ページにアクセスします。

事故請求情報 AUS

国: AUS オーストラリア

都道府県/州: ACT オーストラリア首都特別区

免責金額:

免責日数:

☐ メディケア規定額を適用

*セットID:

Table Set shared across Corp

保険機関 ID:

補てん詳細

カスタマイズ | 検索 | 全件表示 |

最初 ◀ 1/1 ▶ 最後

	経過日数	保険負担率	会社補てん率	
1	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<div><div>+</div><div>-</div></div>

“保険事故請求規定 - 州 AUS” - “事故請求情報 AUS” ページ

- [免責金額]、[免責日数]

免責金額と、従業員に対し賃金の何割 (%) を支給するのかを保険機関に提示する前に、経過している必要がある免責日数を入力します。
- [メディケア規定額を適用]

保険取扱機関によって提供される規定額を使用する場合にオンにします。
- [保険機関 ID]

会社の払い戻し可能な費用請求の処理を管理する保険取扱機関を指定します。
- [経過日数]

日数を入力します。
- [保険負担率]

値を入力します。このフィールドには、保険機関の負担率が表示されます。
- [会社補てん率]

このフィールドには、従業員の賃金に対する会社の負担率が表示されます。

例

保険機関へ経費を請求できるまでに経過する必要がある免責日数が 10 日である場合、従業員が休業した最初の 10 日間に対して請求している賃金の 100% が、会社によって支払われます。11 日目からは、会社は、従業員の賃金請求の 95% を保険機関に請求することができます。以上の例をパラメータとして設定するには、[補てん詳細] グループ ボックスに次の値を入力します。

[経過日数]	[保険負担率]	[会社補てん率]
0	0	100
10	95	5

(CAN) 労働基準局レポートの設定

カナダ固有機能の労働基準局 (WCB) レポートを設定するには、クラス/サブクラス CAN コンポーネント (HS_CLASS_CAN)、職業 CAN コンポーネント (HS_OCCUPATION_CAN)、発生要因 CAN コンポーネント (HS_CONTFAC_CAN)、および、予防措置 CAN コンポーネント (HS_PREVENT_ACT_CAN) を使用します。

このセクションでは、労働基準局 (WCB) レポートの設定手順の概要と以下の方法について説明します。

- 業務所在地に対するクラスとサブクラスの設定
- 標準職業分類の設定
- 発生要因タイプの定義
- 予防措置タイプの設定

労働基準局 (WCB) レポートの設定手順

保険事故と傷病の管理および WCB へのレポートに関して、データ設定に必要なカナダ固有の機能のほとんどは、主要なグローバル ページに含まれています。

WCB レポートの設定処理を完了するには、次の手順に従います。

1. 業務所在地に対して、標準産業クラスとサブクラスを設定します。
WCB では、番号を割り当て、業務の産業クラスとサブクラスを識別します。また、これらの分類を使用して事故統計を産業別に分析し、作業環境の傾向を特定します。WCB は、事業主が、従業員が現在登録されている業務タイプを確認するのに役立ちます。
2. WCB によって使用される標準職業分類を設定します。
職務名など、会社で使っている職業コードが、WCB が使っている標準職業分類と必ずしも一致するとは限りません。
3. 保険事故に関連付けられている発生要因のタイプを定義します。
保険事故には、通常、特定可能な発生要因があり、これによって事故の発生原因が解明されません。標準の発生要因コードを設定しておく、発生要因を一貫して特定するのに役立ちます。また、事故統計一覧表の作成や分析に役立ちます。
4. 将来の保険事故や事故の発生を防ぐためにとられる措置のタイプを指定します。

注: WCB によって承認されているコードは、法定区域によって異なる場合があります。所属の産業に対するコードで、管轄の州の WCB オフィスで承認されているコードを使用するようにしてください。

WCB レポートの設定に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
クラス/サブクラス	HS_CLASS_CAN	<ul style="list-style-type: none"> • [HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[職場環境保全]、[安全衛生管理]、[クラス/サブクラステーブル CAN]、[クラス/サブクラス] • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[事故/傷病情報定義]、[クラス/サブクラス CAN]、[クラス/サブクラス] 	WCB によって指定された分類に基づいて、カナダの業務所在地に対し標準産業クラスおよびサブクラスを設定します。
職業	HS_OCCUPATION_CAN	<ul style="list-style-type: none"> • [HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[職場環境保全]、[安全衛生管理]、[職業テーブル CAN]、[職業] • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[事故/傷病情報定義]、[職業テーブル CAN]、[職業] 	WCB によって使用される標準職業分類を設定します。
発生要因	HS_CONTFAC_CAN	<ul style="list-style-type: none"> • [HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[職場環境保全]、[安全衛生管理]、[発生要因 CAN]、[発生要因] • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[事故/傷病情報定義]、[発生要因 CAN]、[発生要因] 	保険事故に関連付けられている発生要因のタイプを定義します。
予防措置テーブル CAN - 予防措置	HS_PREVENT_ACT_CAN	<ul style="list-style-type: none"> • [HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[職場環境保全]、[安全衛生管理]、[予防措置テーブル CAN]、[予防措置] • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[事故/傷病情報定義]、[予防措置 CAN]、[予防措置] 	将来の保険事故や事故の発生を防ぐためにとられる措置のタイプを指定します。

業務所在地に対するクラスとサブクラスの設定

クラス/サブクラス ページにアクセスします。

クラス/サブクラス	
クラス/サブクラス:	10400
<div> <div>詳細</div> <div>検索 全件表示</div> <div>最初 1/1 最後</div> </div>	
*有効日:	1980/01/01 *ステータス: アクティブ
名称:	Pulp & Paper
略称:	Pulp&Paper

クラス/サブクラス ページ

[クラス/サブクラス]

このフィールドには、このページにアクセスするために入力したクラス/サブクラスコードが表示されます。この値は、“保険事故の詳細”の保険事故データ ページ、および“傷病の詳細”の業務関連ページで使用されます。

標準職業分類の設定

職業ページにアクセスします。

職業	
職業コード:	A012002
<div> <div>詳細</div> <div>検索 全件表示</div> <div>最初 1/1 最後</div> </div>	
*有効日:	1980/01/01 *ステータス: アクティブ
*名称:	FIRE MARSHALL
略称:	FIRE MARSH

職業ページ

[職業コード]

このフィールドには、このページにアクセスするために入力した職業コードが表示されます。このコードは、“雇用の詳細” ページで使用されます。

発生要因タイプの定義

発生要因ページにアクセスします。

発生要因	
発生要因:	00002
<div> <div>詳細</div> <div>検索 全件表示</div> <div>最初 1/1 最後</div> </div>	
*有効日:	1980/01/01 *ステータス: アクティブ
*名称:	INFLUENCE OF ALCOHOL OR DRUGS SUSPECTED
略称:	ALCOHOL

発生要因ページ

[発生要因]

このフィールドには、このページにアクセスするために入力した発生要因コードが表示されます。このコードは、“保険事故の詳細”の詳細ページで使用されます。

予防措置タイプの設定

“予防措置テーブル CAN” – “予防措置” ページにアクセスします。

予防措置	
予防措置:	00024
<div> <div>詳細</div> <div>検索 全件表示</div> <div>最初 1/1 最後</div> </div>	
*有効日:	1980/01/01 *ステータス: アクティブ
*名称:	ESTABLISH CLOSER SUPERVISION
略称:	ESTSUPV

予防措置ページ

[予防措置]

このフィールドには、このページにアクセスするために入力した予防措置コードが表示されます。このコードは、“改善/予防措置の設定”の予防措置ページで使用されます。

(DEU) ドイツ固有の事業主責任保険協会レポートの設定

ドイツ固有機能の事業主責任保険協会レポートを設定するには、担当者 DEU コンポーネント (HS_LOC_CASEOFF_GER)、社会保険ユニット DEU コンポーネント (SI_UNIT_GER)、危険改善措置 DEU コンポーネント (HS_CORRECT_ACT_GER)、疾病区分 DEU コンポーネント (HS_DIS_CLASS_GER)、予防措置 DEU コンポーネント (HS_PREVENT_ACT_GER)、危険物 DEU コンポーネント (HS_UNSAFE_ITEM_GER)、作業エリア区分 DEU コンポーネント (HS_WA_CLS_TBL_GER)、作業エリア DEU コンポーネント (HS_WA_TBL_GER)、作業エリア カテゴリ DEU コンポーネント (HS_WA_CTG_TBL_GER)、および、生活協同組合データ DEU コンポーネント (HS_COOP_SOC_GER) を使用します。

このセクションでは、以下の方法について説明します。

- 安全衛生担当者の設定
- 社会保険ユニット ID の設定
- 改善措置の定義
- 疾病タイプの定義
- 予防措置の定義
- 危険物の定義
- 作業エリア区分の設定
- 作業エリア カテゴリの設定
- 作業エリアの設定
- 危険コードと従業員の関連付け

注: 保険事故の管理やレポートに使用するための、事業主の責任保険協会によって定義されるコードを設定します。所属の産業用のコードで、事業主の責任保険協会によって承認されているコードを使用してください。

事業主責任保険協会レポートの設定に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
担当者	HS_LOC_CASEOFF_GER	<ul style="list-style-type: none"> • [HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[職場環境保全]、[安全衛生管理]、[担当者テーブル DEU]、[担当者] • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[事故/傷病情報定義]、[担当者 DEU]、[担当者] 	組織内での業務安全衛生のさまざまな分野に対して担当者を設定します。この情報は、“従業員の詳細情報” ページ、“傷病の詳細”の公的レポートページ、および、担当者割当ページで、保険事故の担当者を指定するのに使用されます。
社会保険ユニット	SI_UNIT_GER	[HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[人事・労務管理]、[従業員データ DEU]、[社会保険ユニット]、[社会保険ユニット]	会社の社会保険ユニット ID (Betriebsnummer) を設定します。この番号は、公的機関へ情報をレポートする際に使用します。

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
危険改善措置	HS_CORRECT_ACT_GER	<ul style="list-style-type: none"> • [HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[職場環境保全]、[安全衛生管理]、[改善措置テーブル DEU]、[危険改善措置] • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[事故/傷病情報定義]、[危険改善措置 DEU]、[危険改善措置] 	実行した改善処置を定義し、その改善措置を改善措置カテゴリと関連付けます。
疾病区分	HS_DIS_CLASS_GER	<ul style="list-style-type: none"> • [HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[職場環境保全]、[安全衛生管理]、[疾病区分テーブル DEU]、[疾病区分] • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[事故/傷病情報定義]、[疾病区分 DEU]、[疾病区分] 	疾病区分を定義し、それを疾病タイプと関連付けます。
予防措置	HS_PREVENT_ACT_GER	<ul style="list-style-type: none"> • [HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[職場環境保全]、[安全衛生管理]、[予防措置テーブル DEU]、[予防措置] • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[事故/傷病情報定義]、[予防措置 DEU]、[予防措置] 	職場の保険事故や事故を防ぐために実行した措置を定義します。
危険物	HS_UNSAFE_ITEM_GER	<ul style="list-style-type: none"> • [HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[職場環境保全]、[安全衛生管理]、[危険物テーブル DEU]、[危険物] • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[事故/傷病情報定義]、[危険物 DEU]、[危険物] 	危険物を定義し、それを危険物区分と関連付けます。
作業エリア区分	HS_WA_CLS_TBL_GER	<ul style="list-style-type: none"> • [HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[職場環境保全]、[安全衛生管理]、[作業エリア区分テーブル DEU]、[作業エリア区分] • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[事故/傷病情報定義]、[作業エリア区分 DEU]、[作業エリア区分] 	事業主の責任保険協会によって定義される作業エリア区分を設定します。

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
作業エリアカテゴリ	HS_WA_CTG_TBL_GER	<ul style="list-style-type: none"> [HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[職場環境保全]、[安全衛生管理]、[作業エリアカテゴリテーブル DEU]、[作業エリアカテゴリ] [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[事故/傷病情報定義]、[作業エリアカテゴリ DEU]、[作業エリアカテゴリ] 	事業主の責任保険協会によって定義される作業エリアカテゴリを設定します。
作業エリア	HS_WA_TBL_GER	<ul style="list-style-type: none"> [HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[職場環境保全]、[安全衛生管理]、[作業エリアテーブル DEU]、[作業エリア] [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[事故/傷病情報定義]、[作業エリア DEU]、[作業エリア] 	事業主の責任保険協会によって定義される作業エリアを設定します。
生活協同組合データ	HS_COOP_SOC_GER	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[安全衛生詳細 DEU]、[生活協同組合データ]、[生活協同組合データ]	保険機関の業務危険コードを従業員と関連付けます。

安全衛生担当者の設定

担当者ページにアクセスします。

担当者

セットID: DEU01

所在地コード: GD917

担当者

検索 | 全件表示

最初 1/1 最後

*有効日: 2007/04/01 31

詳細

検索 | 全件表示

最初 1/1 最後

*従業員 ID: AA0001 Kimberly Adams

*担当者タイプ: 安全衛生担当者

担当者ページ

28

Copyright © 1988 – 2006, Oracle. All rights reserved.

[担当者タイプ]

有効なオプション値のリストからタイプを選択して、[安全衛生専門家] や [会社指定医師] など、従業員を会社の担当者の特定タイプとして分類します。

1 つの所在地に複数の担当者タイプを割り当てることができます。

社会保険ユニット ID の設定

社会保険ユニット ページにアクセスします。

社会保険ユニット	
社会保険ユニット:	GD0912
<div> <div>社会保険ユニット情報</div> <div> <div>検索 全件表示</div> <div>最初 1/1 最後</div> </div> </div>	
*有効日:	1980/01/01  *ステータス: アクティブ 
*名称:	SI Unit for GD1 Munich
略称:	SI Munich
事業主社会保障番号:	91200003

社会保険ユニット ページ

[事業主社会保障番号]

このユニットに対して事業主社会保障番号を入力します。

改善措置の定義

危険改善措置 ページにアクセスします。

危険改善措置	
改善措置:	A12
<div> <div>詳細</div> <div> <div>検索 全件表示</div> <div>最初 1/1 最後</div> </div> </div>	
有効日:	2007/04/01  ステータス: アクティブ 
名称:	Ergonomics training
略称:	Ergo train
措置カテゴリ:	改善措置 

危険改善措置 ページ

[改善措置]

このフィールドには、入力した改善措置コードが表示されます。この値は、“改善/予防措置の設定”の改善措置ページ、および、ドイツ固有機能の“疾病管理”の改善措置ページで使用されます。

[措置カテゴリ]

有効なオプションのリストから値を選択します。

疾病タイプの定義

疾病区分ページにアクセスします。

疾病区分	
疾病区分:	KDA
<div> <div>詳細</div> <div> 検索 全件表示 <div> <div>最初</div> <div>1/1</div> <div>最後</div> </div> </div> </div>	
有効日:	1980/01/01 ステータス: アクティブ
名称:	Contagious
略称:	Contagious
疾病タイプ:	感染

疾病区分ページ

[疾病区分]

このフィールドには、入力した疾病区分コードが表示されます。疾病区分は、職業病ページとドイツ固有機能の“疾病管理”の疾病プロフィールページで使用されます。

[疾病タイプ]

有効なオプションのリストから値を選択して、疾病区分を該当する疾病タイプと関連付けます。

予防措置の定義

予防措置ページにアクセスします。

予防措置	
予防措置:	P67
<div> <div>詳細</div> <div> 検索 全件表示 <div> <div>最初</div> <div>1/1</div> <div>最後</div> </div> </div> </div>	
*有効日:	2007/04/01 *ステータス: アクティブ
*名称:	Vacational Training
略称:	Vac Train

予防措置ページ

[予防措置]

このフィールドには、入力した予防措置コードが表示されます。これらのコードは、“改善/予防措置の設定”の予防措置ページとドイツ固有機能の“疾病管理”の予防措置ページで使用されます。

危険物の定義

危険物ページにアクセスします。

危険物

危険物: U1

詳細 検索 | 全件表示 最初 1/1 最後

*有効日: 2007/04/01 31 *ステータス: アクティブ + -

危険物区分: 3

略称: STY

*名称: Strychine

説明: Colorless crystalline alkaloid used as a pesticide, particularly for killing small vertebrates such as rodents.

危険物ページ

[危険物]

このフィールドには、入力した危険物コードが表示されます。このコードは、“傷病の詳細”の詳細ページで使用されます。

[危険物区分]

有効オプションのリストから値を選択して、危険物と危険物区分を関連付けます。

作業エリア区分の設定

作業エリア区分ページにアクセスします。

作業エリア区分

作業エリア区分: WAC1

詳細 検索 | 全件表示 最初 1/1 最後

*有効日: 2007/04/01 31 *ステータス: アクティブ + -

*名称: Assembly line

説明: Slightly dangerous

作業エリア区分ページ

[作業エリア区分]

このフィールドには、入力した作業エリア区分コードが表示されます。この作業エリア区分コードを使って、作業エリア カテゴリと作業エリアを設定します。

作業エリア カテゴリの設定

作業エリア カテゴリ ページにアクセスします。

作業エリア カテゴリ ページ

[作業エリア カテゴリ] このフィールドには、入力した作業エリア カテゴリ コードが表示されます。

[作業エリア区分] 作業エリア カテゴリと作業エリア区分を関連付けるには、適当な値を選択します。

作業エリアの設定

作業エリア ページにアクセスします。

作業エリア ページ

[作業エリア コード] このフィールドには、入力した作業エリア コードが表示されます。このコードは、“傷病の詳細”の届出ページにある [ドイツ] セクションで使用されます。

[作業エリア カテゴリ]、[作業エリア区分] この作業エリアを作業エリア カテゴリと作業エリア区分に関連付けるには、適当な値をそれぞれ選択します。これらの値は、それぞれ作業エリア カテゴリ テーブルと作業エリア区分テーブルからロードされます。

危険コードと従業員の関連付け

生活協同組合データ ページにアクセスします。

生活協同組合データ

Marcus Eli-Ben-Amar-Dea EMP ID: KDG015 雇用コード番号: 0

詳細 検索 | 全件表示 最初 1/1 最後

有効日: 1999/10/01

危険コード:

名称:

生活協同組合データ ページ

[危険コード]

危険コードを選択します。選択できる危険コードは、この従業員のセットIDと部門に対して“部門”の部門プロファイル ページで前に入力された危険コードです。

注: 危険コードは、最初に事故障害保険ページで設定されます。その後、“部門”の部門プロファイル ページでセットID と部門に関連付けられます。

この従業員のセットID と部門に対する事故障害保険コードとその説明が、[危険コード] フィールドの右側に表示されます。この情報は、“部門”の部門プロファイル ページからロードされます。

(GBR) 安全衛生庁 (HSE) レポートの設定

イギリス安全衛生庁 (HSE) へのレポートを設定するには、外部プログラム GBR コンポーネント (HS_EXT_SCHEME_UK) を使用します。

このセクションでは、保険事故を管理したり、RIDDOR (負傷・疾病・危険事態報告規則) に基づいて 安全衛生庁 (HSE) に提出するレポートを作成するのに必要なコードの設定方法について説明します。

HSE へのレポート設定 (UK) に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
外部プログラム	HS_EXT_SCHEME_UK	<ul style="list-style-type: none"> • [HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[職場環境保全]、[安全衛生管理]、[外部プログラムテーブル GBR]、[外部プログラム] • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[事故/傷病情報定義]、[外部プログラム GBR]、[外部プログラム] 	外部プログラムを管理します。RIDDOR 保険事故レポートでは、被災者が外部組織のプログラムに関係しているかどうかを指定する必要があります。外部組織のプログラムとは通常、従業員、事業主、官公庁の間で交わされた契約に基づいて実施される職業訓練、教育、雇用促進プログラムのことを指します。

外部プログラムの追加と更新

外部プログラム ページにアクセスします。

外部プログラム

外部プログラム: EWK

詳細 検索 | 全件表示 最初 1/1 最後

*有効日: 2007/04/01 *ステータス: アクティブ

*名称: Educational Experiences

略称: EXPER

プログラムタイプ

☐ 研修プログラム ☒ 業務経験

外部プログラム ページ

[外部プログラム]

このフィールドには、入力した外部プログラム コードが表示されます。このコードは、“雇用の詳細” ページで使用されます。

[プログラム タイプ]

適当なオプションを選択して、プログラム タイプが [研修プログラム] か [業務経験] であるかを表示します。

第 4 章

保険事故被災者の個人情報管理

この章では、以下の内容について説明します。

- 非従業員データの入力
- 従業員データの入力
- 従業員健康保険証情報の管理
- 家族の詳細情報の入力

注: 保険事故情報を入力する前に、従業員情報、非従業員情報（該当する場合）、および負傷関係者の雇用情報をシステムに入力してください。これらの情報を各保険事故被災者について入力しておく必要があります。

非従業員データの入力

このセクションでは、以下の方法について説明します。

- 非従業員名の追加
- 非従業員の個人情報の入力
- 非従業員の追加住所情報の入力

保険事故に遭った非従業員に関する基本情報を入力することができます。ここで説明するページに入力する非従業員データは、従業員の個人データとは別に保存されます。

非従業員データの入力に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
非従業員情報 - 氏名	HS_NON_EMPL1	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[被災者/証人の確認]、[非従業員情報]、[氏名]	保険事故に遭った非従業員の氏名情報を管理します。
非従業員情報 - 住所	HS_NON_EMPL1B	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[被災者/証人の確認]、[非従業員情報]、[住所]	保険事故に遭った非従業員の住所情報を管理します。
非従業員情報 - 個人情報	HS_NON_EMPL2	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[被災者/証人の確認]、[非従業員情報]、[個人情報]	非従業員の詳細情報を管理します。
非従業員情報 - 追加情報	HS_NE_PERS_DATA	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[被災者/証人の確認]、[非従業員情報]、[追加情報]	非従業員の追加住所情報を入力します。従業員の住所が標準の形式でない場合に、この情報が必要になります。

非従業員名の追加

非従業員情報 - 氏名ページにアクセスします。

<div> <div>氏名</div> <div>住所</div> <div>個人情報</div> <div>追加情報</div> </div>	
非従業員 ID:	000000000001
*氏名フォーマット:	<div>イギリス</div> <div>名前編集</div>
名前:	Henry Gerald

非従業員情報 - 氏名ページ

[非従業員 ID]

このフィールドには、入力した非従業員 ID が表示されます。

非従業員 ID には、“インストール テーブル” の自動採番ページで [HS 非従業員 ID の最終採番番号] フィールドに表示された番号の次の番号が自動的に割り当てられます。番号は、初め “000000000000” と表示されますが、入力した情報を保存すると、非従業員に割り当てられた実際の番号が表示されます。または、手動で番号を入力することもできます。

警告: 非従業員 ID が重複して作成されてしまわないように、採番方法を常に手動または自動のどちらかの方法に統一してください。

非従業員の個人情報の入力

非従業員情報 - 個人情報ページにアクセスします。

氏名	住所	個人情報	追加情報
Gerald, Henry Theodore		非従業員 ID: 000000000001	
生年月日:	<input type="text"/> 31	<div>性別</div> <div> <input type="radio"/> 男性 <input type="radio"/> 女性 <input checked="" type="radio"/> 不明 </div>	
死亡日:	<input type="text"/> 31		
肩書:	<input type="text"/>		
勤務先:	<input type="text"/>		
ビジネス ユニット:	GBIBU Global Business Institute BU		
部門:	<input type="text"/>		
監督者の従業員 ID:	<input type="text"/>		

非従業員情報 - 個人情報ページ

- [生年月日]** レポート用に、非従業員の生年月日を入力します。
- [死亡日]** 非従業員が保険事故で死に至った場合、その死亡日を入力します。
- [ビジネス ユニット]** 非従業員が、臨時社員または契約社員の場合は、ビジネス ユニットを入力します。
- [監督者の従業員 ID]** 非従業員が、臨時社員または契約社員の場合は、監督者の従業員 ID を入力します。

非従業員の追加住所情報の入力

非従業員情報 - 追加情報ページにアクセスします。

氏名	住所	個人情報	追加情報
名前: Gerald, Henry Theodore		非従業員 ID: 000000000001	
<div>追加住所情報</div> <div>追加住所情報:</div> <div></div>			
<div>▼  カナダ</div> <div> <div>番地:</div> <div></div> <div>ストリート名:</div> <div></div> <div>ユニット番号:</div> <div></div> <div>私書箱:</div> <div></div> <div>特別地域:</div> <div></div> <div>デフォルト住所に設定</div> </div>			

非従業員情報 - 追加情報ページ

[追加住所情報] この自由形式のフィールドに、従業員の住所の追加情報を入力します。

(CAN) [カナダ]

[カナダ] グループ ボックスを使って、非従業員の住所に関する追加情報を入力します。この情報は、ブリティッシュ コロンビア州の WCB に提出する電子レポートを作成する際に必要です。WCB は、住所の番地とストリート名を分けて記載するよう義務付けています。住所情報の番地とストリート名を自動的に分けるには、システムに既に住所情報が登録されていることが前提となります。

[番地]、[ストリート名] 値を入力します。この非従業員の番地とストリート名の情報がシステムに既に登録されている場合は、[デフォルト住所に設定] ボタンをクリックすると、このページにその情報が自動的にロードされます。

[ユニット番号] 追加の住所詳細を入力します。

注: 非従業員の住所情報は 非従業員情報 - 住所ページで、医師の住所情報は、医師テーブルの住所ページで入力します。

警告: ブリティッシュ コロンビア州の WCB EDI レポートを作成する場合は、この追加住所情報ページの情報が必要です。このページに情報がないと、正確な EDI レコードが作成されません。この情報が入力されていないと、ファイルは WCB のメインフレーム コンピュータの編集チェックでエラーになります。

従業員データの入力

このセクションでは、以下の方法について説明します。

- 従業員の追加住所情報の入力
- 雇用の詳細情報の入力

従業員について必要なデータのほとんどは入社手続きの際に入力します。ここで説明するページを使って追加データを入力します。

従業員データの入力に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
従業員の詳細情報	HS_PERS_DATA	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[被災者/証人の確認]、[従業員情報]、[従業員の詳細情報]	保険事故に遭った従業員の追加住所情報を入力します。従業員の住所が標準の形式でない場合に、この情報が必要になります。
雇用の詳細	HS_EMPLOYMENT	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[被災者/証人の確認]、[雇用情報]、[雇用の詳細]	カナダ人およびイギリス人が業務中に保険事故に遭った場合、ここで追加の雇用詳細情報を入力します。

従業員の追加住所情報の入力

“従業員の詳細情報” ページにアクセスします。

従業員の詳細情報

Darlene Bergsten

個人 ID: K0G003

追加住所情報

▼  カナダ

番地:

ストリート名:

ユニット番号:

私書箱:

特別地域:

デフォルト住所に設定

▼  ドイツ

社会保険の取扱機関:

☐ 担当者

“従業員の詳細情報”ページ

[追加住所情報] この自由形式のフィールドに、従業員の住所の追加情報を入力します。

(CAN) [カナダ]

[カナダ] グループ ボックスを使って、保険事故に遭ったカナダ人従業員の住所の追加情報を入力します。またここで、ブリティッシュ コロンビア州の WCB に提出する電子レポートを作成する際に必要な住所情報を入力します。WCB は、住所の番地とストリート名を分けて記載するよう義務付けています。住所情報の番地とストリート名を自動的に分けるには、システムに既に住所情報が登録されていることが前提となります。

(DEU) [ドイツ]

このボックスの情報は、事業主責任保険協会へ提出するレポートを作成するために必要です。

[社会保険の取扱機関] 従業員の社会保険の取扱機関の名称を選択します。有効値は社会保険テーブルに保存されています。

[担当者] その従業員が会社の担当者の場合には、[担当者] チェック ボックスをオンにします。

雇用の詳細情報の入力

“雇用の詳細” ページにアクセスします。

雇用の詳細

Catherine MooreEMPID: KC0005雇用コード番号: 0

肩書:

▼  カナダ

雇用

事業開始日: 31

職業コード:

職務可能月数: ☒ 雇用保障

続柄

☐ パートナ ☐ 家長 ☐ 親族

従業員との続柄:

カテゴリ

☒ 常勤 ☒ 終身 ☐ 季節就労

☐ ボランティア ☐ 自由労働者 季節就労終了日:

☐ 下請契約者 ☐ 学生

雇用内容詳細:

▼  イギリス

外部プログラム:

“雇用の詳細” ページ

(CAN) [カナダ]

カナダの WCB では、負傷した全ての従業員について特定の追加雇用情報が必要となります。しかしその定義によれば、危険事象とされる保険事故であっても、負傷者が出ない場合には危険に遭った従業員の雇用情報を入力する必要はありません。

[雇用]

[職務可能月数]

従業員が期限付きで職務に復帰する場合、このフィールドを使って、勤務可能な月数を指定します。

[雇用保障]

従業員が復帰する仕事があることを示すには、[雇用保障] チェック ボックスをオンにします。

[続柄]

[パートナ]

従業員が他の従業員のパートナの場合は、[パートナ] チェック ボックスをオンにします。

[家長]	従業員が他の従業員の家長の場合は、[家長] チェック ボックスをオンにします。
[親族]	従業員が他の従業員の親族の場合は、[親族] チェック ボックスをオンにします。
[従業員との続柄]	[続柄] のチェック ボックスをどれか 1 つでもオンにした場合は、この自由形式フィールドに続柄を詳しく記入します。この情報は、WCB に提出するレポートを作成する際に必要となります。
[カテゴリ]	
[常勤]、[終身]、[季節就労]、[ボランティア]、[自由労働者]、[下請契約者]、[学生]	該当するチェック ボックスをオンにして従業員の雇用の分類を指定します。
[雇用内容詳細]	このフィールドは、[下請契約者] チェック ボックスがオンになっている場合にのみ使用されます。下請契約者の職務についての説明を入力します。
[季節就労終了日]	季節就労者の場合、雇用の終了日を指定します。[季節就労] チェック ボックスがオフの場合、このフィールドは使用できません。

注: ブリティッシュ コロンビア州の WCB に電子レポートを提出する場合に、負傷した従業員について提供する雇用情報には、その従業員の事業開始日、職業コード、および適切なカテゴリの情報を含める必要があります。

(GBR) [イギリス]

イギリス人従業員が参加する外部プログラムに関する情報を入力します。

[外部プログラム]	有効なオプションからプログラム コードを選択します。有効値は、イギリス固有機能の外部プログラム ページに保存されています。
------------------	---

従業員健康保険証情報の管理

このセクションでは、従業員健康詳細情報の記録方法について説明します。

従業員の年次の安全衛生プロファイルを作成するには、Health Card コンポーネント (GVT_HEALTH_CARD) と健康保険証情報の確認コンポーネント (HEALTH_CARD_RVW) を使用します。法制遵守、職業上の汚染への対応、検査結果などを追跡するレポートを作成する際、あるいは予防措置のヘルスケア プログラムを作成する際には、これらのページに表示されるデータを参照してください。

注: 健康保険証のページには、Health Card コンポーネントおよび健康保険証情報の確認コンポーネントの両方でアクセスします。健康保険証情報の確認コンポーネントでは、身体検査、視力検査、聴力検査などの健康診断の結果も管理できます。

関連項目:

第 6 章、「リハビリ、保険事故請求および健康診断データの処理」、「従業員健康診断結果の管理」、123 ページ

従業員健康保険証情報の管理に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
Health Card – Health Card 1	GVT_HEALTH_CARD_1	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[健康診断結果の記録]、[Health Card]、[Health Card 1]	従業員の医師に関する連絡先情報を記録します。
Health Card – Health Card 2	GVT_HEALTH_CARD_2	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[健康診断結果の記録]、[Health Card]、[Health Card 2]	薬物アレルギー、特有の検査名、日付などを記録します。
健康保険証確認 1	GVT_HEALTH_RVW_1	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[健康診断結果の記録]、[健康保険証情報の確認]、[健康保険証確認 1]	従業員の個人データを表示します。
健康保険証確認 2	GVT_HEALTH_RVW_2	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[健康診断結果の記録]、[健康保険証情報の確認]、[健康保険証確認 2]	従業員のポジション情報を表示します。
健康保険証確認 3	GVT_HEALTH_CARD_1	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[健康診断結果の記録]、[健康保険証情報の確認]、[健康保険証確認 3]	従業員に関する医師情報を確認します。
健康保険証確認 4	GVT_HEALTH_CARD_2	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[健康診断結果の記録]、[健康保険証情報の確認]、[健康保険証確認 4]	薬物アレルギー、特有の検査名、日付などを確認します。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「PeopleSoft Enterprise HRMS の設定とインストール」、「国コードの管理」

従業員健康情報詳細の記録

Health Card – Health Card 2 ページにアクセスします。

注: このページの形式と表示内容は、Health Card 1、Health Card 3、Health Card 4 の各ページと類似しています。

Health Card 1

Health Card 2

Charles Baran

個人 ID: KU0002

Drug Sensitivities

Drug Name:

検索

全件表示

最初

1/1

最後

+

-

Previous Tests Administered

*Test Date:

検索

全件表示

最初

1/1

最後

+

-

*Test Name:

検索

全件表示

最初

1/1

最後

+

-

アレルギー詳細

*法定区域:

USA

アフリカ

アレルギーコード

名称

*開始日

終了日

コメント

1

検索

31

31

+

-

従業員健康保険証情報 - Health Card 2 ページ (1/2)

予防接種詳細

*法定区域:

USA

アフリカ

予防接種コード

名称

*開始日

終了日

コメント

1

検索

31

31

+

-

薬剤詳細

*法定区域:

USA

アフリカ

薬剤コード

名称

*開始日

終了日

コメント

1

検索

31

31

+

-

疾病詳細

*法定区域:

USA

アフリカ

Disease Code

名称

開始日

終了日

コメント

1

検索

31

31

+

-

従業員健康保険証情報 - Health Card 2 ページ (2/2)

従業員が過敏性を示す薬物があれば、その名前と、以前に実施した検査について記録します。アレルギー、予防接種、薬剤詳細、疾病詳細なども記録することができます。

家族の詳細情報の入力

このセクションでは、家族情報の設定方法について説明します。

従業員と非従業員の詳細データを設定し終わったら、家族詳細ページを使って家族についての情報を入力します。

家族の詳細情報の設定に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
家族詳細	HS_FAMILY	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[被災者/証人の確認]、[家族情報]	保険事故に遭った従業員または非従業員の家族に関する追加情報を入力します。

家族情報の入力

家族詳細ページにアクセスします。

家族詳細

従業員 ID: KC0005 Catherine Moore

家族: Moore, Jeremy

家族詳細				
カスタマイズ 検索 全件表示 最初 1/1 最後				
	*名前	*生年月日	就学中	研修中
1	Moore, Jeremy	1985/02/02	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

18 歳未満の子供: 0

18 - 25 歳で就学中の子供: 1

家族詳細ページ

[家族] PeopleSoft の標準名称フォーマット (姓、名の順) を使って、家族の氏名を入力します。

[生年月日] 子供の生年月日を入力します。

[就学中] 子供が学生である場合には、[就学中] チェック ボックスをオンにします。

[研修中]

子供が研修中である場合には、[研修中] チェック ボックスをオンにします。

注: 就学中、または研修中であるかどうかの情報は、レポート作成に必要なことがあります。

[18 歳未満の子供]

入力した生年月日や選択したチェック ボックスに応じて、18 歳未満の子供の数が自動的に算出され、表示されます。

[18 - 25 歳で就学中の子供]

入力した生年月日や選択したチェック ボックスに応じて、18 ~ 25 歳で就学中または研修中の子供の数が自動的に算出され、表示されます。

第 5 章

保険事故情報の作成と管理

この章では、保険事故の概要、および以下の作業を行う方法について説明します。

- 保険事故情報詳細の入力
- 傷病詳細の入力
- 車両と装置に関連する保険事故データの入力
- 保険事故の事後措置の管理
- 従業員別の保険事故と傷病データの管理
- (GBR) イギリス固有レポート用の RIDDOR データの収集
- (MEX) メキシコ合同委員会の定義

保険事故について

このセクションでは、以下について説明します。

- 新規保険事故情報の入力
- 保険事故番号
- 保険事故についてのレポート

新規保険事故情報の入力

傷病関連のページを使って、会社の保険事故への対応を管理します。従業員と非従業員を管理し、複数の関係者を 1 つの保険事故に関連付けます。

傷病の詳細情報がまだわからない場合は、傷病関連のページに後で情報を入力することもできます。ここで情報を入力すると、従業員別の傷病の概要を表示できるようになります。

保険事故番号

新規の保険事故情報を入力する際には、まずその保険事故に ID 番号を割り当てます。この番号は、後で保険事故情報を参照したり追加したりする際、該当する保険事故レコードを特定するために使います。保険事故番号は、自動採番機能を使って割り当てることも、手動で割り当てることもできます。

自動採番機能を使うと、番号は初め "00000000" と表示されますが、保険事故の詳細コンポーネントに入力した情報を保存すると、この保険事故に割り当てられた実際の番号が表示されます。保険事故に割り当てられた最後の番号は、インストール テーブルに自動的に保存されます。

ヒューマン リソース管理で割り当てられる保険事故番号は単純な連番です。これらの連番は、管轄の法定区域の官公庁が定める保険事故番号の指定方法と一致しているとは限りません。官公庁が定めている保険事故番号の指定方法を正しく理解し、それに準拠していることを確認してください。保険事故番号の指定方法が法定区域の官公庁によって定められている場合は、自動採番機能を使わずに手動で番号を入力します。その場合は、番号の指定と入力のしかたについて、明記したマニュアルを作成してください。

警告: 番号が重複して設定されてしまわないように、採番は常に手動または自動のどちらかで行うよう統一してください。

保険事故についてのレポート

レポートがいくつか生成されます。その中には、政府機関に報告する情報を記載したレポートもあります。

保険事故詳細の入力

このセクションでは、以下の方法について説明します。

- 保険事故の追加と更新
- 届出の詳細情報の記録
- 保険事故詳細の記録
- 保険事故の発生場所の記録
- 移動中の保険事故の記録
- 追加の経路詳細の入力
- 保険事故関係者の特定
- 届出義務の管理

保険事故の入力に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
保険事故の詳細 - 保険事故データ	HS_INCIDENT	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[保険事故情報の取得]、[保険事故の詳細]、[保険事故データ]	新規の保険事故情報の追加および既存の保険事故情報の更新を行います。
車両/装置事故詳細	HS_INCIDENT_SEC	保険事故データページで [詳細] リンクをクリックします。[詳細] リンクは、[保険事故タイプ] フィールドの値が [車両/装置事故] の場合にのみ表示されます。	車両や装置が関係する保険事故の詳細情報を入力します。
保険事故の詳細 - 届出	HS_INC_NOTIFY	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[保険事故情報の取得]、[保険事故の詳細]、[届出]	従業員により作成された保険事故の詳細を記録します。

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
保険事故の詳細 - 詳細	HS_INC_DESCRIPTION	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[保険事故情報の取得]、[保険事故の詳細]、[詳細]	保険事故について説明し、関連データを記録します。
保険事故の詳細 - 発生場所	HS_INC_LOCATION	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[保険事故情報の取得]、[保険事故の詳細]、[発生場所]	保険事故の発生場所を指定します。
事故現場住所	HS_INC_LOCADDR_SEC	“保険事故の詳細” - 発生場所ページで [住所の表示] リンクをクリックします。	事業所外で発生した保険事故の発生場所と住所の情報を入力します。
住所編集	EO_ADDR_USA_SEC	発生場所ページで [住所編集] リンクをクリックします。	保険事故に関連付けられている既存の住所情報を編集します。
保険事故の詳細 - 移動中の保険事故	HS_INC_TRAVEL	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[保険事故情報の取得]、[保険事故の詳細]、[移動中の保険事故]	移動中の保険事故の詳細情報を記録します。
経路詳細	HS_INC_ROUTE_SEC	“移動中の保険事故” ページで [詳細] リンクをクリックします。	保険事故の移動経路詳細を追加します。
休憩詳細	HS_INC_BREAK_SEC	“移動中の保険事故” ページで [休憩詳細] リンクをクリックします。	移動中に保険事故に遭った場合、その移動中にとった休憩の詳細を入力します。
事故に関連する動物	HS_INC_ANIMAL_SEC	“移動中の保険事故” ページで [動物詳細] リンクをクリックします。	保険事故に関係した動物に関する情報を入力します。
保険事故の詳細 - 関係者	HS_INC_PEOPLE	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[保険事故情報の取得]、[保険事故の詳細]、[関係者]	保険事故に関連する証人、調査担当者などの関係者を指定します。関係者には、その保険事故での負傷者は含まれません。
保険事故の詳細 - 関係者 - 連絡先住所	HS_INC_PPLADDR_SEC	関係者ページで [住所編集] リンクをクリックします。	<p>“保険事故の詳細” の関係者ページに入力した証人、調査担当者などの関係者の連絡先住所を入力します。</p> <p>注: (CAN) ブリティッシュコロンビア州のユーザーで、保険事故をブリティッシュコロンビア州労働基準局 (BC WCB) に電子レポートで報告する場合には、保険事故の関係者全員の住所情報を提出する必要があります。</p>

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
保険事故の詳細 - レポート	HS_INC_REPORT	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[保険事故情報の取得]、[保険事故の詳細]、[レポート]	保険事故を適切な管理当局に報告した証拠となる文書を管理します。

保険事故の追加と更新

“保険事故の詳細” - 保険事故データ ページにアクセスします。

保険事故データ	届出	詳細	発生場所	移動中の保険事故	関係者	レポート
<p>保険事故番号: 19240003</p> <p>*発生日: 2002/05/18 </p> <p>*保険事故タイプ: 車両/装置事故 詳細</p> <p>発生時刻: <input type="text"/> PST <input checked="" type="checkbox"/> 時刻不明</p> <p>*法定区域: IND インド</p> <p><input type="checkbox"/> 再発事故</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 傷病原因</p> <p><input type="checkbox"/> 調査対象</p>						

“保険事故の詳細” - 保険事故データ ページ (1/3)

▼ カナダ
<p>安全衛生担当者</p> <p>担当者 ID: <input type="text"/> </p>
<p>保険事故</p> <p>結果: <input type="checkbox"/> 正確な日時</p>
<p>露出期間</p> <p>開始日: <input type="text"/> 開始時刻: <input type="text"/></p> <p>終了日: <input type="text"/> 終了時刻: <input type="text"/></p>
<p>障害</p> <p><input type="checkbox"/> 障害プログラム選択可</p> <p>担当者 ID: <input type="text"/> </p> <p>説明: <input type="text"/> </p>
<p>その他の情報</p> <p><input type="checkbox"/> RTW プログラム選択可 <input checked="" type="checkbox"/> WCB 管轄内</p> <p>クラス/サブクラス: <input type="text"/> </p> <p>ビジネス タイプ: <input type="text"/></p>

“保険事故の詳細” - 保険事故データ ページ (2/3)

▼

フランス

保険事故サマリー*

☐ 業務
☐ 旅行
☐ 職業病

報告者

☐ 事業主
☐ 監督者
☐ 被災者

場所:

承認者: 

警察報告書

☐ 警察報告書

作成者:

保険事故ステータス

☐ 確定
☐ 既知

社内調査結果

▼

メキシコ

☐ 合同委員会による認定済

▼

インド

保険事故サマリー*

☒ 業務
☐ 旅行
☐ 職業病
☐ その他

* 保険事故の詳細 - 保険事故データ ページ (3/3)

[保険事故番号]

入力した保険事故番号が表示されます。

ブリティッシュ コロンビア州労働基準局 (BC WCB) にレポートを提出する場合は保険事故番号を入力します。

[保険事故タイプ]

このフィールドにはデフォルトで [事件] が表示されますが、変更できます。ここで選択する値によって、コンポーネント内で使用されるフィールドが決まります。

保険事故レポートを BC WCB に電子ファイルで提出する場合で、結果が、“報告のみ”、“治療のみ”、“短期就業不能”、または“死亡”の場合は、[保険事故タイプ] の値を [事件] のままにしておきます。保険事故の結果が“危険事象”の場合は、[危険事象] を選択します。

[詳細]

[車両/装置事故] を選択すると、[詳細] リンクが表示されます。[詳細] リンクをクリックして、車両/装置事故詳細ページにアクセスします。

[発生日]

デフォルト値は今日の日付ですが、変更も可能です。

[発生時刻]

保険事故が発生した時刻を入力します。

BC WCB にレポートを提出する場合、発生時刻を入力します。

[時刻不明]	保険事故が発生した時刻を特定できない場合は、このチェック ボックスをオンにします。
[法定区域]	<p>保険事故の法定区域を入力します。保険事故情報を追加する際、ユーザー基本設定でこのユーザーに指定された法定区域がデフォルトとして表示されます。この値は上書きできます。</p> <hr/> <p>注: 法定区域の値によって、安全衛生モニター管理でセットID がキーとなっている各設定テーブルから取り込まれる値が変わります。</p> <hr/> <p>警告: 既存の保険事故情報の法定区域を変更する場合、新しい法定区域のセットID が以前のものと異なると、以前のセットID に関連付けられた設定テーブルの値は全て自動的に消去されます。変更する前に、変更するかどうかを確認するメッセージが表示されます。元の情報が消去されると、保険事故に関するデータの再入力が必要です。</p> <hr/>
[再発事故]	この保険事故が以前に発生したことがある場合、[再発事故] チェック ボックスをオンにします。
[傷病原因]	<p>この保険事故が負傷や疾病の原因となり、傷病関連のページで傷病データを管理したい場合、[傷病原因] チェック ボックスをオンにします。</p> <p>このチェック ボックスをオンにしたら、保険事故データを保存する前に、届出ページの [報告先の従業員 ID] フィールドに従業員番号を入力します。</p> <p>BC WCB レポートの場合、結果が、“報告のみ”、“治療のみ”、“短期就業不能”、または“死亡” のときは、[傷病原因] チェック ボックスをオンにします。結果が“危険事象” の場合、[傷病原因] チェック ボックスはオフにします。</p>
[調査対象]	この保険事故が調査されている場合、[調査対象] チェック ボックスをオンにします。

注: (DEU) ドイツでは、事業主が職業病に関する詳細データを管理してレポートを作成することが、法律および保険業者によって義務付けられています。法律で定められた職業病の処理手順およびレポート作成方法は保険事故の手順と異なるため、ドイツの業務に関連する職業病は全て、ドイツ固有機能の疾病管理コンポーネント (HS_ILLNESS_GER) を使って処理します。

(CAN) [カナダ]

BC WCB に保険事故の電子レポートを提出する場合は、次の情報が必要になります。[担当者 ID]、[クラス/サブクラス]、[ビジネス タイプ] の各フィールドは、保険事故の結果にかかわらず必須です。

警告: 警告を全て有効にするには、保険事故の法定区域を CANBC (カナダ – ブリティッシュ コロンビア州) に設定する必要があります。この設定によりブリティッシュ コロンビア州の保険事故だけが対象となるため、この設定をしないと抽出ファイルも作成されません。

[結果]	<p>このフィールドに表示される値は、“傷病の詳細” ページで入力した、最も重度な傷病結果がロードされます。</p> <p>CANBC 法定区域の保険事故では、保険事故の結果と傷病結果との関係に基づいて、[結果] フィールドがアクティブになるかどうかが決まります。[傷病原因] チェック ボックスがオンになっている場合は、保険事故データを保存する前に、傷病が入力されているかどうかの確認が行われます。</p>
------	--

保険事故情報を保存すると、保険事故の結果が各傷病結果に関連付けられます。負傷者が 1 人の場合は、[結果] フィールドには傷病結果と同じ値がロードされます。複数の負傷者が出た場合は、最も重度の負傷の結果が保険事故の結果になります。

[結果] フィールドに表示される値は、次のとおりです。

報告のみ: 負傷者は出たが、治療や休業の必要がなかった場合。

治療のみ: 負傷者は医師の診断を受けたが、保険事故当日以降の欠勤時間はなかった場合。WCB 管轄区域によっては、医療手当と呼ぶ場合もあります。

短期就業不能: 負傷した従業員が保険事故当日以降も欠勤した場合。WCB 管轄区域によっては、賃金損失と呼ぶ場合もあります。

死亡: 死亡事故。

危険事象: 負傷者が発生せず、したがって、負傷結果もない場合。

[正確な日時]	主要ページに入力した発生日と発生時刻が正確である場合は、[正確な日時] チェック ボックスをオンにします。
[露出期間]	メイン ページで [保険事故タイプ] に [露出] を選択した場合、露出開始日時と終了日時がわかれば入力します。
[障害プログラム選択可]	会社に障害プログラムがある場合、[障害プログラム選択可] チェック ボックスをオンにします。
[担当者 ID]	このフィールドに入力するには、[障害プログラム選択可] チェック ボックスをオンにする必要があります。
[説明]	このフィールドに入力するには、[障害プログラム選択可] チェック ボックスをオンにする必要があります。
[RTW プログラム選択可]	会社で復職プログラムが利用できる場合、このチェック ボックスをオンにします。
[WCB 管轄内]	WCB 管轄下で業務を行っている場合、選択します。
[クラス/サブクラス]	産業のクラスまたはサブクラスのコードを入力します。 クラス/サブクラス ページを使って、カナダにある業務所在地に標準の産業クラスとサブクラスを定義します。
(FRA) [フランス]	
[場所]	保険事故が報告された場所を指定します。
[承認者]	社内報告書を承認および署名した従業員の ID を入力します。
[警察報告書]	警察報告書を作成した場合、[警察報告書] チェック ボックスをオンにします。
[作成者]	警察報告書の作成者を指定します。
[社内調査結果]	社内調査の結果を記述します。

(MEX) [メキシコ]

[合同委員会による認定済] この保険事故が安全衛生合同委員会によって認定された場合に、[合同委員会による認定済] チェック ボックスをオンにします。

[合同委員会] 合同委員会の名称を選択します。このフィールドは、[合同委員会による認定済] チェック ボックスをオンにした場合のみ表示されます。合同委員会は、メキシコ固有機能の合同委員会ページで定義します。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「法定区域の使い方」

届出の詳細情報の記録

“保険事故の詳細” - 届出ページにアクセスします。

保険事故データ	届出	詳細	発生場所	移動中の保険事故	関係者	レポート
保険事故番号: 19240003 日付: 2002/05/18 車両/装置事故						
保険事故の届出						
届出日:		2002/05/18				
届出時刻:		12:00				
報告先の従業員 ID:		KP0005		Diya M		
報告者の従業員 ID:		GP0006		Harjeet Singh		
報告者の非従業員 ID:		<input type="text"/>				
保険事故追跡調査						
登録日:		2002/05/20				
登録時刻:		<input type="text"/>				

“保険事故の詳細” - 届出ページ

[届出日]、[届出時刻] 会社の担当者や従業員への届出日時を入力します。

[報告先の従業員 ID] 報告を受けた会社の担当者または従業員の従業員 ID を入力するか、個人データに保存されている値のリストから従業員 ID を選択します。

[報告者の従業員 ID]、[報告者の非従業員 ID] この保険事故を報告した従業員または非従業員の ID を入力します。

注: (CAN) ブリティッシュ コロンビア州のユーザーで、保険事故の情報を BC WCB に電子ファイルで報告する場合は、[届出日]、[届出時刻]、[報告先の従業員 ID]、および [報告者の従業員 ID] は入力必須フィールドです。

[保険事故追跡調査] このグループ ボックスはユーザーの記録専用です。たとえば、保険事故報告や届出の文書が会社の担当者によって最初に作成された日時を管理できます。その場合は、[登録日] と [登録時刻] に値を入力し、この情報を社内で管理します。

このフィールドを使って、他の日付を管理することもできます。たとえば、事故に結びつく状況が始まった日付や、従業員の欠勤が始まった日付などを追跡できます。また、事故についての報告書を作成するための社内報告書、注記、メモが書かれた日付を追跡することもできます。職業安全衛生管理局 (OSHA: Occupational Safety and Health Administration) の管轄にあるアメリカのユーザーは、保険事故情報を PeopleSoft システムに最初に入力した日付を「登録日」に記録することもできます。

注: [保険事故追跡調査] グループ ボックスのフィールドを使用する場合は、使用方法を明記したマニュアルを作成し、それに従ってトレーニングを行い、一貫した方法でフィールドを使用してください。

保険事故詳細の記録

“保険事故の詳細” - 詳細ページにアクセスします。

保険事故データ	届出	詳細	発生場所	移動中の保険事故	関係者	D
---------	----	-----------	------	----------	-----	---

保険事故番号: 19240003 日付: 2002/05/18 車両/装置事故

危険事象

コード:

グループ* メッセージ*

▼ カナダ

加22マイ22

検索

全件表示

最初

1/1

最後

発生要因	その他の詳細
<input type="text"/>	<div><div></div><div></div></div>

▼ インド

アルコール/薬物使用 ☒

“保険事故の詳細” - 詳細ページ

[コード]

ほとんどの保険事故タイプで、このフィールドは使用できません。保険事故データ ページで [保険事故タイプ] に [危険事象] を選択すると、[コード] フィールドが入力可能になります。危険事象テーブルで設定した値のリストからコードを選択します。

(CAN) [カナダ]

[発生要因]

保険事故の発生要因を指定します。この情報はカナダの WCB に提出するレポートを作成する際に使われます。

ブリティッシュ コロンビア州のユーザーで、保険事故の情報を BC WCB に電子ファイルで報告する場合は、報告のみの場合を除く全ての保険事故結果について、最終レポートに発生要因を入力する必要があります。

カナダ固有機能の発生要因ページで設定したプロンプト値のリストから発生要因を選択します。[その他の詳細] フィールドが入力不可の状態になります。

[その他の詳細]

このフィールドには通常、入力することはできません。[発生要因] コードが 00996 (OTHER) の場合は、[その他の詳細] フィールドが入力可能な状態になり、その他の発生要因の説明を入力する必要があります。

(IND) [インド]

[アルコール/薬物使用]

保険事故発生時にアルコールか薬物が使用されていた場合は、[アルコール/薬物使用] チェック ボックスをオンにします。

保険事故の発生場所の記録

“保険事故の詳細” - 発生場所ページにアクセスします。

保険事故データ	届出	詳細	発生場所	移動中の保険事故	関係者	▶
保険事故番号: 19240003 日付: 2002/05/18 車両/装置事故						
保険事故発生場所データ						
<input checked="" type="checkbox"/> 事業所内で発生						
所在地セットID:		<input type="text" value="KPIND"/> 🔍	India SetID			
所在地コード:		<input type="text" value="KPBLR01"/> 🔍	<input type="text" value="M G Road, Branch"/>			
住所の表示						
事業所 ID:		<input type="text"/> 🔍				
発生場所詳細:		<div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>				

“保険事故の詳細” - 発生場所ページ (1/3)

▼  カナダ

番地:

ストリート名:

ユニット番号:

私書箱:

特別地域: デフォルト住所に設定

事業所規模:

☐ 仮作業場での保険事故

☐ 事業所内での保険事故

事故現場説明

“保険事故の詳細” - 発生場所ページ (2/3)

▼  フランス

発生場所区分:

▼  イギリス

地方自治体: 公共の場所 ☐

▼  インド

事業所 ID:  Estab 1 of GP1

州保険/労災保険:

▼  スペイン

☐ 自動車事故

“保険事故の詳細” - 発生場所ページ (3/3)

[事業所内で発生]

保険事故が事業所内で発生した場合に、[事業所内で発生] チェック ボックスをオンにします。

[所在地セットID]

[事業所内で発生] チェック ボックスをオンにしたら、会社テーブルのプロンプト値リストから所在地セットID を選択してください。このフィールドを使って、所在地のプロンプト値を設定します。たとえば、ある従業員は通常カナ

	ダに勤務しているが、保険事故の発生場所がフランスである場合、[所在地セットID] フィールドを使ってフランスのセットID を指定すれば、保険事故が発生したフランスの所在地コードを選択することができます。
[所在地コード]	選択した所在地セットID に対して所在地テーブルから取得されるプロンプト値リストから選択します。
[住所の表示] または [住所編集]	このリンクをクリックすると、保険事故の発生場所の住所を表示または編集することができます。 <ul style="list-style-type: none"> 保険事故が事業所内で発生した場合、住所は表示だけができます。住所情報は所在地テーブルからロードされます。 保険事故が事業所外で起こった場合、このリンクをクリックして事故現場住所ページにアクセスし、保険事故が発生した事業所外の住所データを入力します。
[発生場所詳細]	保険事故が発生した場所の詳細を、120 字（半角 240 字）以内に記録します。
(CAN) [カナダ]	
[番地]、[ストリート名]、[ユニット番号]、[私書箱]、[特別地域]	この従業員の所在する番地とストリート名情報が登録されていない場合は、住所の詳細をフィールドに直接入力します。保険事故の発生場所が遠隔地や特別地域などの標準形式でない住所の場合には、この情報が必要になります。
[デフォルト住所に設定]	この従業員の所在する番地とストリート名の情報が既に登録されている場合は、[デフォルト住所に設定] ボタンをクリックすると、このページのフィールドに情報がロードされます。
[事業所規模]	トランスレート テーブルに保存されている値の中から、事業所規模（従業員数）を選択します。
[仮作業場での保険事故]	仮作業場で発生した保険事故の場合は、[仮作業場での保険事故] チェック ボックスをオンにします。
[事業所内での保険事故]	事業所で発生した保険事故の場合は、[事業所内での保険事故] チェック ボックスをオンにします。

注: ブリティッシュ コロンビア州のユーザーで、BC WCB に保険事故を電子ファイルで報告する場合、保険事故タイプにかかわらずこのページのほとんどが必須項目となります。番地とストリート名は分けて入力してください。ユニット番号、私書箱、特別地域の情報は、発生場所が標準形式でない住所の場合にのみ入力する必要があります。[事業所規模] フィールドの入力は必須です。発生場所ページで [事業所内で発生] チェック ボックスをオンにした場合には、[仮作業場での保険事故] または [事業所内での保険事故] のどちらかのチェック ボックスをオンにする必要があります。WCB のメインフレーム コンピュータでは、住所と郵便番号の組み合わせの有効性がチェックされるため、電子レポートが BC WCB によって拒否されないように、正しい情報が入力されていることを確認してください。

(FRA) [フランス]

[発生場所区分]	ドロップダウン リストから該当するアイテムを選択し、保険事故が発生した場所と状況に関する追加情報を指定します。
----------	---

(GBR) [イギリス]

イギリスで発生した保険事故の事故現場情報の詳細を追加します。この情報は、負傷・疾病・危険事態報告規則 (RIDDOR) に準拠したレポートを作成する際に必要です。

[地方自治体]

保険事故が特定の郵便番号コード以外の場所で起きた場合には、地方自治体を入力する必要があります。たとえば、車で移動中に保険事故が発生し、事故現場が“ルート A33 の Reading から 5 マイル離れた場所”とだけしか説明できない場合などです。このように、事故が発生したときの状況によっては、説明のために所轄の安全衛生庁 (HSE) 事務所に連絡が必要になることもあります。

[公共の場所]

保険事故発生場所が公共の場所の場合にこのチェック ボックスをオンにします。

(IND) [インド]

[事業所 ID]

保険事故が発生した事業所の ID を入力します。

[州保険/労災保険]

その事業所に適用される保険の登録タイプが表示されます。

(ESP) [スペイン]

[自動車事故]

この保険事故が自動車事故である場合は、[自動車事故] チェック ボックスをオンにします。この場合は、[事業所内で発生] チェック ボックスをオフにします。次に、[住所編集] リンクをクリックして、事故の正確な発生場所についてできるだけ詳細に入力します。[発生場所詳細] フィールドを使って、自動車事故現場の具体的な詳細情報を入力します。

参照: PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 人事・労務管理、「(ESP) スペイン機能レポートの管理」、「Delt@ 通信の管理」

移動中の保険事故の記録

“保険事故の詳細” – “移動中の保険事故” ページにアクセスします。

◀	届出	詳細	発生場所	移動中の保険事故	関係者	レポート
---	----	----	------	----------	-----	------

保険事故番号: 19240003 日付: 2002/05/18 車両/装置事故

移動詳細

開始日: 2002/05/17  開始時刻: 8:00 GMT 

到着日: 2002/05/19  到着時刻: 12:00 GMT 

目的地: London [経路詳細](#)

交通手段: K00002  Automobile-Company Car

☒ 移動中に休憩 [休憩詳細](#)

☐ 動物関連 [動物詳細](#)

コメント:

“保険事故の詳細” - “移動中の保険事故” ページ (1/2)

▼  ドイツ

アルコール/薬物詳細

アルコール/薬物使用:

確認者:

事故レポート

検索 | 全件表示 最初  1/1  最後

事故レポート タイプ: 警察   

参照番号:

国: USA  アメリカ

住所: [住所編集](#)

“保険事故の詳細” - “移動中の保険事故” ページ (2/2)

[開始日]、[開始時刻]、[到着日]、[到着時刻]	これらのフィールドの値を、わかる範囲で入力します。
[目的地]	目的地を入力して、フィールドからカーソルを移動すると、[経路詳細] リンクが使用可能になります。このリンクをクリックすると、経路詳細ページにアクセスします。
[交通手段]	有効なオプションから交通手段を選択します。値は、交通手段テーブルに保存されています。
[移動中に休憩]	移動中に休憩した場合は、[移動中に休憩] チェック ボックスをオンにします。フィールドからカーソルを移動すると、[休憩詳細] リンクが使用可能になります。リンクをクリックして、休憩詳細ページにアクセスします。
[動物関連]	保険事故に動物が関わった場合に選択します。
[動物詳細]	[動物関連] チェック ボックスをオンにすると、[動物詳細] リンクが使用可能になります。リンクをクリックして、“事故に関連する動物” ページにアクセスします。
(DEU) [ドイツ]	
[アルコール/薬物使用]	このフィールドには、必要に応じて、薬物やアルコールがどのように事故に関係しているかを入力します。
[確認者]	[アルコール/薬物使用] フィールドの情報を確認する担当者や機関を入力します。
[事故レポート タイプ]	必要に応じて、ドイツの管轄官公庁のリストから、事故レポート タイプを選択します。
[参照番号]	管轄官公庁でレポートを保管する際に使用する参照番号を入力します。

経路詳細の入力

経路詳細ページにアクセスします。

経路詳細

経路詳細	
実際の経路:	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 最短経路使用	
最短経路:	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 通常の経路使用	
通常の経路:	<input type="text"/>
異なる経路の理由:	<input type="text"/>
経路詳細:	<input type="text"/>
距離 (km):	<input type="text"/>

経路詳細ページ

- [実際の経路]** 実際の移動経路の説明を入力します。
- [最短経路使用]** 実際の経路が最短経路の場合は、[最短経路使用] チェック ボックスをオンにします。
- [最短経路]** [最短経路使用] チェック ボックスがオフの場合にこのフィールドが使用できます。最短経路の説明を入力します。
- [通常の経路使用]** 実際の経路と通常の経路が同じ場合にこのチェック ボックスをオンにします。
- [通常の経路]** [通常の経路使用] チェック ボックスがオフの場合にこのフィールドが使用できます。通常の経路の説明を入力します。
- [距離 (km)]** 実際の経路の距離を入力します。

保険事故関係者の特定

“保険事故の詳細” - 関係者ページにアクセスします。

保険事故データ

届出

詳細

発生場所

移動中の保険事故

関係者

レポート

保険事故番号: 19240003

日付: 2002/05/18

保険事故タイプ: 車両/装置事故

保険事故関係者

検索 | 全件表示

最初

1/1

最後

従業員 ID: KP0005

Diya M

+

-

事故との関連: 目撃者

証人報告内容確認:

☐ 保険事故の責任者

☐ 薬物使用

☒ 信頼性有

薬物区分:

☐ 質疑応答可能

住所編集

コメント:

▼ カナダ

調査人

☐ 経営者側代表

☐ 労働者側代表

“保険事故の詳細” - 関係者ページ (1/2)

▼ ドイツ

事故障害保険内容:

▼ フランス

事故障害保険:

“保険事故の詳細” - 関係者ページ (2/2)

[保険事故関係者]

[従業員 ID]、[非従業員 ID] 従業員 ID または非従業員 ID のいずれかを入力します。ID を入力しなかった方のフィールドは非表示になります。

注: 従業員を登録するには、人事・労務管理ビジネス プロセスを使います。非従業員を登録するには、非従業員情報コンポーネント (HS_NE_PERS_DATA) を使用します。

参照: PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 人事・労務管理、「PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理での個人情報 の追加」

保険事故の関係者ごとに 1 行を追加します。

[事故との関連]	トランスレート値リストを使って、関係者の保険事故との関連を指定します。 [事故との関連] に選択された値によって、このページで使用されるその他のフィールドが決まります。
[証人報告内容確認]	このフィールドは、[事故との関連] フィールドで [証人] を選択した場合に使用できます。トランスレート値リストを使って、証人から保険事故関係者の供述の裏付けがとれたかどうかを指定します。
[保険事故の責任者]、[信頼性有]、[質疑応答可能]、[薬物使用]	該当するチェック ボックスをオンにします。関係者の事故との関連が [調査人] または [証人] の場合は、[保険事故の責任者] チェック ボックスは使用できなくなります。 証人は保険事故の関係者ではなく、単に状況を証言する人物を指します。目撃者は保険事故の関係者です。
[薬物区分]	[薬物使用] チェック ボックスをオンにする場合、有効なオプションから該当する薬物区分を選択します。
[住所編集]	このリンクをクリックして、“保険事故の詳細” – 連絡先住所ページにアクセスします。

(CAN) [カナダ]

ブリティッシュ コロンビア州のユーザーで、保険事故の情報を BC WCB に電子ファイルで報告する場合、最終レポートの [事故との関連] フィールドには [調査人] を指定する必要があります。報告のみの場合を除く全ての保険事故結果について、必ずこの情報を指定します。さらに、[経営者側代表] チェック ボックスまたは [労働者側代表] チェック ボックスをオンにします。保険事故の結果が“報告のみ”の場合は、調査人の情報は必要ありません。

保険事故の関係者全員の住所情報を入力するには、[住所編集] リンクをクリックして連絡先住所ページにアクセスします。

[調査人]	該当するチェック ボックスをオンにして、調査人が経営者側代表か労働者側代表かを指定します。
--------------	---

(DEU) [ドイツ]

[事故障害保険内容]	このページを使って、ドイツでの保険事故の関係者の保険情報を追加入力します。
-------------------	---------------------------------------

(FRA) [フランス]

[事故障害保険]	フランスでの保険事故の関係者の保険情報を追加入力します。
-----------------	------------------------------

届出義務の管理

“保険事故の詳細” – レポート ページにアクセスします。

◀	届出	詳細	発生場所	移動中の保険事故	関係者	レポート
---	----	----	------	----------	-----	------

保険事故番号: 19240003 日付: 2002/05/18 車両/装置事故

レポート

検索 | 全件表示 最初 1/1 最後

*法定区域: IND インド

報告日: 2002/05/18 報告時刻: PST

*報告先: KP0004

レポート作成者:

所在地セットID: KPIND

レポート作成場所:

コメント:

カナダ

レポート ステータス

☒ 暫定
☐ 最終

報告

法人番号:

所在地:

インド

レポート情報

報告者: 警察報告書

“保険事故の詳細” - レポート ページ

[レポート]

複数の自治体や機関に提出するなどの目的で、最初の保険事故レポートを複数作成する場合は、データ行を追加します。

[法定区域]

最初の保険事故が発生した区域を選択します。

保険事故を追加または更新する際にデフォルトの法定区域を変更する必要がある場合は、プロンプト値のリストから値を選択します。法定区域は、法定区域ページとトランザクション タイプ ページで設定します。安全衛生のトランザクションには、HANDS 法定トランザクション タイプが使われます。このトランザクション タイプには、システムでサポートする主要国の法定区域とカナダの州の法定区域が含まれます。

警告: 既存の保険事故情報の法定区域を変更する場合、新しい法定区域のセットID が以前のものと異なると、以前のセットID に関連付けられた設定テーブルの値は全て自動的に消去されます。変更する前に、変更するかどうかを確認するメッセージが表示されます。元の情報が消去されると、保険事故に関するデータの再入力が必要です。

[レポート作成者] レポート作成者の従業員 ID を選択します。値は、人事・労務管理ビジネスプロセスで設定されます。

[所在地セットID] レポート作成者の所在地セットID を選択します。プロンプト値は、テーブルセットID テーブルに保存されています。

[レポート作成場所] 正式にレポートを作成している場所を選択します。

(CAN) [カナダ]

ブリティッシュ コロンビア州のユーザーで、保険事故の情報を BC WCB に電子ファイルで報告する場合には、保険事故の全ての結果について、レポート ページの [法定区域]、[報告日]、および [報告時刻] のフィールドへの入力が必要です。また、[法定区域] フィールドで CANBC を選択します。この設定でないと BC WCB の EDI ファイル機能の警告メッセージがアクティブにならないため、この設定は非常に重要です。

[レポート ステータス] オプション ボタンをクリックして、レポートが暫定版か最終版かを指定します。

[報告] カナダ WCB の法人番号と所在地コードを入力します。

注: (CAN) ブリティッシュ コロンビア州のユーザーで、保険事故の情報を BC WCB に電子ファイルで報告する場合には、[レポート ステータス]、[法人番号]、[所在地] のフィールドへの入力が必要です。レポート ステータスが最終の場合には、関係者ページで調査人を指定する必要があります。

(IND) [インド]

[報告者] 保険事故の報告者を [航空局]、[警察報告書]、[鉄道局]、[州運輸局]、[その他] から選択します。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「法定区域の使い方」

傷病詳細の入力

傷病の詳細コンポーネント (HS_INJURY_ILL) を使って、保険事故が原因の傷病についての情報を入力します。

この章では事前設定と共通フィールドを示した後、以下の方法について説明します。

- 業務関連の傷病の記録
- (ESP) PAT 一般情報の入力
- (ESP) RAF 詳細の入力
- 傷病内容の入力
- 傷病に関する主張の記録
- 傷病の詳細情報の入力
- (ESP) PAT 詳細情報の入力
- (ESP) RATSБ 詳細データの入力

- 治療情報の入力
- 診断詳細の記録
- (ESP) 医療扶助および経済 PAT データの指定
- 業務関連の保険事故の記録
- (CAN) 長期支給の入力
- レポート詳細の管理

注: (CAN) 保険事故の結果が“危険事象”の場合、傷病情報は入力しません。危険事象とは傷病が発生しない状況と定義されているためです。この場合は改善/予防措置の設定に関するページにアクセスし、保険事故に対する改善措置と予防措置を入力します。

事前設定

傷病の情報を入力する前に、“保険事故の詳細” – 保険事故データ ページで、保険事故データを作成し、保険事故タイプを割り当て、[傷病原因] チェック ボックスをオンにします。

このセクションで使用する共通フィールド

事故タイプ	傷病の原因が事故の場合、事故タイプ テーブルからロードされる事故タイプを選択します。
身体部位	身体部位テーブルに保存されているプロンプト値のリストから身体部位コードを選択します。
傷病区分	コードを選択して、傷病の主な物理的特徴、たとえば従業員が負った傷病の内容を記録します。値は、傷病区分テーブルに保存されています。
PAT (ESP)	Partes de Accidentes de Trabajo.
主要傷病	この傷病詳細が主要傷病に関連付けられている場合は、[主要傷病] チェック ボックスをオンにします。
RATSB (ESP)	Relación de Accidentes de Trabajo Sin Baja médica.
身体の傷病部位	必要に応じて、トランスレート値のリストから身体の傷病部位を選択します。
傷病原因	コードを選択して、傷病の原因となった物体、有害物、露出、行為を指定します。傷病原因テーブルに保存されているプロンプト値のリストを使います。
危険行為	必要に応じてコードを選択し、危険行為によって保険事故が発生したかどうかを指定します。

傷病詳細の入力に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
届出	HS_INJ_NOTIFY	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[保険事故情報の取得]、[傷病の詳細]、[届出]	業務関連の傷病を負った従業員または非従業員の情報を入力します。

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
届出 - PAT 詳細データ	HS_PAT1_ESP_SEC	“傷病の詳細” - 届出ページで [病気証明書付きの事故] リンクをクリックします。	(ESP) PAT 事故について従業員、勤務先、事故の場所を入力します。
RAF 詳細データ	HS_RAF1_ESP_SEC	“傷病の詳細” - 届出ページで [傷病または死亡による解職] リンクをクリックします。	(ESP) RAF 事故について解職の理由、傷病レベル、診断結果コードを入力します。
傷病の詳細 - 内容	HS_INJ_DESCRIPTION	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[保険事故情報の取得]、[傷病の詳細]、[内容]	保険事故に関連する負傷、疾病またはその両方についての詳細情報を入力します。
傷病の詳細 - 記録	HS_INJ_STATEMENT	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[保険事故情報の取得]、[傷病の詳細]、[記録]	負傷または疾病の当事者、事業主、および証人の主張を記述します。
傷病の詳細 - 詳細	HS_INJ_DETAIL	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[保険事故情報の取得]、[傷病の詳細]、[詳細]	保険事故の各傷病者が受けた負傷や疾病の詳細を入力します。
傷病の詳細 - 詳細 - “傷病 - 身体部位”	HS_INJ_BP_SEC	“傷病の詳細” - 詳細ページの [身体部位] リンクをクリックします。	負傷や疾病のある身体部位を指定します。
傷病の詳細 - 詳細 - “傷病 - 傷病区分”	HS_INJ_NOI_SEC	“傷病の詳細” - 詳細ページの [傷病区分] リンクをクリックします。	負傷や疾病の内容を定義します。
傷病の詳細 - 詳細 - “傷病 - 傷病原因”	HS_INJ_SOI_SEC	“傷病の詳細” - 詳細ページの [傷病原因] リンクをクリックします。	傷病の原因を指定します。
傷病の詳細 - 詳細 - “傷病 - 事故タイプ”	HS_INJ_ACC_SEC	“傷病の詳細” - 詳細ページの [事故タイプ] リンクをクリックします。	負傷または疾病に事故タイプを割り当てます。
傷病の詳細 - 詳細 - “傷病 - 危険行為”	HS_INJ_ACT_SEC	“傷病の詳細” - 詳細ページの [危険行為] リンクをクリックします。	危険行為が負傷や疾病の原因であるかどうかを指定します。
傷病の詳細 - 詳細 - PAT 詳細データ	HS_PAT2_ESP_SEC	“傷病の詳細” - 詳細ページで [病気証明書付きの事故] リンクをクリックします。	(ESP) PAT レポート用に、傷病の原因となった事故に関する詳細情報を入力します。 注: 届出ページで、[保険事故タイプ ESP] フィールドの値として [PAT] を選択すると、このリンクが使用可能になります。

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
RATSB 詳細データ	HS_RATSB_ESP_SEC	“傷病の詳細” - 詳細ページで[病気証明書なしの事故]リンクをクリックします。	(ESP) RATSB レポート用の詳細データを入力します。 注: 届出ページで、[保険事故タイプ ESP] フィールドの値として [RATSB] を選択すると、このリンクが使用可能になります。
応急処置	HS_INJ_AID	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[保険事故情報の取得]、[傷病の詳細]、[応急処置]	保険事故の被災者全員に対する応急処置と治療に関する情報を入力します。
傷病の詳細 - 応急処置 - 救急車詳細	HS_INJ_AID_AMB_SEC	“傷病の詳細” - 応急処置ページの[救急車詳細]リンクをクリックします。	被災者が救急車で病院に運ばれたときの詳細を入力します。
過去の障害	HS_INJ_PDSCAN_SEC	“傷病の詳細” - 応急処置ページで[カナダ]グループボックスの[過去の障害]チェックボックスをオンにします。 [障害]リンクをクリックします。	負傷または疾病のある被災者の、過去の障害について詳細を入力します。
過去の健康状態	HS_INJ_PHCCAN_SEC	“傷病の詳細” - 応急処置ページで[カナダ]グループボックスの[過去の健康状態]チェックボックスをオンにします。 [健康状態]リンクをクリックします。	負傷または疾病のある被災者の、過去の健康状態について詳細を入力します。
診断	HS_INJ_DIAGNOSIS	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[保険事故情報の取得]、[傷病の詳細]、[診断]	保険事故の負傷や疾病のある従業員を診断した医師、医療施設、および医療診断の詳細を記録します。
傷病の詳細 - 診断 - 医療施設住所	HS_INJ_MEDFAC_SEC	“傷病の詳細” - 診断ページで[住所の表示]リンクをクリックします。	医療施設の住所を表示します。
傷病の詳細 - 診断 - PAT 詳細データ	HS_PAT3_ESP_SEC	“傷病の詳細” - 診断ページで[病気証明書付きの事故]リンクをクリックします。	(ESP) PAT 事故について、医療扶助と経済データを指定します。 注: 届出ページで、[保険事故タイプ ESP] の値として [PAT] を選択すると、このリンクが使用可能になります。
傷病の詳細 - 業務関連	HS_INJ_WORK	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[保険事故情報の取得]、[傷病の詳細]、[業務関連]	業務に関連した活動に従事している間に発生した保険事故を記録します。

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
傷病の詳細－業務関連－賃金内	HS_INJ_WICAN_SEC	“傷病の詳細”－業務関連ページで[賃金内]リンクをクリックします。	業務関連の傷病のある従業員に対する賃金内手当についての情報を入力します(カナダ機能)。
傷病の詳細－業務関連－追加賃金	HS_INJ_WACAN_SEC	“傷病の詳細”－業務関連ページの[追加賃金]リンクをクリックします。	業務関連の傷病のある従業員に対する追加賃金手当についての情報を入力します(カナダ機能)。
傷病の詳細－業務関連－措置	HS_INJ_ACTCAN_SEC	“傷病の詳細”－業務関連ページで[措置]リンクをクリックします。	WCB レポート作成に必要な、保険事故発生時の従業員の措置に関する情報を入力します(カナダ機能)。
傷病の詳細－業務関連－復職	HS_INJ_RTWCAN_SEC	“傷病の詳細”－業務関連ページで[復職]リンクをクリックします。	業務関連の傷病のある従業員の復職についての情報を入力します(カナダ機能)。
傷病の詳細－業務関連－長期支給	HS_INJ_LTECAN_SEC	“傷病の詳細”－業務関連ページで[長期支給]リンクをクリックします。	業務関連の傷病のある従業員に対する長期支給手当についての情報を入力します(カナダ機能)。
傷病の詳細－業務関連－WCB フォーム 7 詳細	HS_INJ_WCBCAN_SEC	“傷病の詳細”－業務関連ページの[WCB フォーム 7 詳細]リンクをクリックします。	保険事故について WCB に報告の必要がある追加情報を入力します(カナダ機能)。
傷病の詳細－公的レポート	HS_INJ_REPORT	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[保険事故情報の取得]、[傷病の詳細]、[公的レポート]	法定区域の機関の基準で保険事故が報告対象であるかどうかを管理します。

業務関連の傷病の記録

届出ページにアクセスします。

届出	内容	記録	詳細	応急処置	診断	業務関連	公的レポート
保険事故番号: 19240003 日付: 2002/05/18 車両/装置事故							
関係者 検索 全件表示 最初 1/1 最後							
従業員 ID: KP0003 Rajkumar Goenka 雇用コード番号: 0							
生年月日: 1965/01/06 死亡日: 性別: 男性							
保険事故発生日の従業員データ							
ビジネス ユニット: KP01 India Business Unit 部門: KP0001 Human Resources 職務コード: 910010 Trainee - Management 所在地コード: KPBLR01 M G Road, Branch アクティブ							
届出 - 本人							
届出日: 2002/05/18 届出時刻: 00:00 PST							
カナダ							
傷病				露出期間			
傷病日: 2002/05/18 発生時刻: <input type="checkbox"/> 正確な日時				開始日: 開始時刻: 終了日: 終了時刻:			
指定者 検索 全件表示 最初 1/1 最後							
連番: 指定 ID: 届出日: 届出時刻: ポジション タイプ: その他の詳細: 応急処置証明書番号: <input type="checkbox"/> 第 1 指定者							

届出ページ (1/2)

▼  ドイツ

☐ 共同所有者
☐ パートナ
☐ 不適任者
☐ 続柄

作業エリアコード: 

▼  フランス

時間テーブル

	開始	終了
午前	<input type="text"/>	<input type="text"/>
午後	<input type="text"/>	<input type="text"/>

▼  イギリス

☐ 部外者
☐ 自営業

▼  スペイン

保険事故タイプ* ESP
☐ 再発

休暇欠勤イベント開始日: 
 終了日: 

[病気証明書付きの事故](#)

届出ページ (2/2)

[従業員 ID]

保険事故に遭った各被災者について、従業員 ID または非従業員 ID を選択します。このフィールドの隣に、名前、生年月日、性別が表示されます。該当する場合は、死亡日も表示されます。

注: 死亡者が出た場合、従業員であれば人事・労務管理ビジネス プロセスに、非従業員であれば“非従業員情報”の個人情報ページの[死亡日]に日付を入力します。

〔雇用レコード番号〕

複数の職務を持つ従業員の情報を入力する場合は、保険事故発生時に従業員が従事していた職務の雇用レコード番号を選択します。

[保険事故発生日の従業員データ]

ここに表示される情報は、保険事故当日の時点で有効な職務データの情報です。

[届出 - 本人]

被災者の傷病が会社の担当者に報告された日時を入力します。

(CAN)「カナダ」

[傷病] グループ ボックスに、傷病を負った日時を入力します。それが正確な日時である場合は [正確な日時] チェック ボックスをオンにします。

[露出期間] グループ ボックスに、露出の開始日、開始時刻、終了日、終了時刻を、わかる範囲で入力します。

[指定者] グループ ボックスを使って、保険事故の指定者についての詳細情報を記録します。保険事故の指定者は、保険事故の報告を受ける側の人です。保険事故の指定者は、保険事故関係者とは異なります。保険事故関係者は、通常、保険事故に関係し、保険事故を報告する側の人です。

- [連番] これは、指定者を識別するために自動的に割り当てられる連続番号です。レコードを保存すると、ここで指定された連番は応急処置ページの [応急処置者の指定連番] フィールドで使用できます。
- [指定 ID] 指定者の従業員 ID を選択します。
- [届出日]、[届出時刻] 保険事故が報告された日時を入力します。
- [ポジション タイプ] 選択したタイプにより、このページで使用されるその他のフィールドが決まります。[ポジション タイプ] に何も選択しないか [本人の監督者] を選択すると、[その他の詳細] フィールドと [応急処置証明書番号] フィールドには入力できなくなります。
- [応急処置証明書番号] ポジション タイプに [応急処置担当者] を選択した場合は、このフィールドに指定者の応急処置証明書番号を入力します。
- [その他の詳細] [ポジション タイプ] に [その他] を選択した場合は、このフィールドに指定者のポジション名称を入力します。
- [第 1 指定者] この指定者が、最初に保険事故の報告を受けた人の場合はこのチェックボックスをオンにします。

(DEU) [ドイツ]

[共同所有者]、[パートナ]、
[不適任者]、[続柄] 保険事故の通知を受けた人が被災者に対してどのような立場にあるかを指定します。[続柄] チェック ボックスをオンにすると、関連フィールドが選択可能になります。

[作業エリア コード] 作業エリア テーブルに設定した値からオプションを選択します。

(FRA) [フランス]

[時間テーブル] 届出の時刻を入力します。

(GBR) [イギリス]

[部外者]、[自営業] 保険事故の被災者が非従業員の場合には、部外者か自営業者かを指定します。

(ESP) [スペイン]

[保険事故タイプ ESP] 労働災害の保険事故タイプを選択します。

- PAT: 労働災害で、従業員が病気証明書を会社に提出していることを示します。
- RATS: 労働災害で、従業員が病気証明書を会社に提出していないことを示します。

[休暇欠勤イベント開始日] 労働災害のために従業員の欠勤が開始された日を入力します。これが再発の場合は、最初の欠勤の開始日を入力します。このフィールドは、保険事故タイプが PAT のときのみ表示されます。

- [再発]** この労働災害が、以前の一時障害による再発である場合は、このチェックボックスをオンにします。このフィールドは、保険事故タイプが PAT のときのみ表示されます。
- [終了日]** 従業員の解職または死亡によって従業員の欠勤が終了した日を入力します。傷病または死亡による解職の日付を入力すると、PAT は RAF (Relación de Altas o Fallecimientos de accidentados つまり高度傷病または死亡関連) 事故になります。このフィールドは、保険事故タイプが PAT のときのみ表示されます。
- [病気証明書付きの事故]** このリンクをクリックして PAT 詳細データ ページにアクセスし、PAT 事故について従業員、勤務先、事故の場所を入力します。このリンクは、保険事故タイプが PAT のときのみ表示されます。
- [傷病または死亡による解職]** このリンクをクリックして RAF 詳細データ ページにアクセスし、RAF 事故について解職の理由、傷病レベル、診断結果コードを入力します。このフィールドは、保険事故タイプが PAT のときに、休暇欠勤の終了日を入力して保険事故タイプを RAF にした場合にのみ表示されます。

参照: PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 人事・労務管理、「(ESP) スペイン機能レポートの管理」、「Delt@ 通信の管理」

(ESP) PAT 一般情報の入力

届出 - PAT 詳細データ ページにアクセスします。

PAT 詳細データ	
スケジュール データ	
勤務時間	00 - 通勤
従業員	
職務コード (CNO):	00 Armed Forces
年功データを取得	年功月数: 57
勤務先	
<input type="checkbox"/> 正規採用 <input type="checkbox"/> ETT	スタッフ データを取得 スタッフ数: 63

届出 - PAT 詳細データ ページ (1/2)

場所	
場所コード:	<input type="text" value="その他の作業場所"/>
<input checked="" type="checkbox"/> PS 管理外会社	
PS 管理外会社データ	
会社タイプ:	<input type="text" value=""/> 会計 ID: <input type="text" value=""/>
会社名:	<input type="text" value=""/>
事業主 SSN:	<input type="text" value=""/> スタッフ数: <input type="text" value=""/>
IA コード:	<input type="text" value=""/> 
住所:	<input type="text" value=""/>
市区町村:	<input type="text" value=""/>
郵便番号:	<input type="text" value=""/> 都道府県/州: <input type="text" value=""/>

届出 - PAT 詳細データ ページ (2/2)

[スケジュール データ]

[勤務時間]

勤務中に発生した事故であるため労働災害となる一時障害の場合、その事故が発生した勤務時間を選択します。このフィールドは、保険事故タイプが PAT のときのみ表示されます。

[従業員]

このグループ ボックスを使って、労働災害が発生した場所と時刻を指定します。

[職務コード (CNO)]

レポート用に、全国職業分類コードを従業員に割り当てます。

[年功データを取得]

この従業員に関して記録されている年功月数または日数を取得する場合は、このボタンをクリックします。このデータは、ヒューマン リソース管理の人事・労務管理ビジネス プロセスから取得されます。

[年功月数]

レポート用に、従業員の年功月数を示します。このフィールドは、年功月数が 1 か月以上ある場合にのみ表示されます。

[年功日数]

レポート用に、従業員の年功日数を示します。このフィールドは、年功月数が 1 か月に満たない場合にのみ表示されます。

[勤務先]

このグループ ボックスを使って、労働災害が発生した場所に関する勤務先情報を入力します。

[正規採用]

労働災害が発生した時点で、この勤務先が従業員を直接または下請け契約する採用会社であることを示す場合は、このチェック ボックスをオンにします。

[ETT]

会社が従業員の一時的な勤務地であることを示す場合は、このチェック ボックスをオンにします。

[スタッフ データを取得] [スタッフ数] フィールドの値が、ヒューマン リソース管理の人事・労務管理ビジネス プロセスから取得されます。このフィールドは、XML ファイル (Delt@) に必要です。

[スタッフ数] 労働災害が発生した事業所の従業員数です。このフィールドは、XML ファイル (Delt@) に必要です。

[場所]

このグループ ボックスを使って、労働災害が発生した場所をレポートします。労働災害が、この従業員の勤務先とその他の会社のどちらで発生したかを指定します。

[場所コード] 労働災害が発生した場所を選択します。有効値は以下のとおりです。

- 通勤/帰宅中: 従業員が出勤中または帰宅中に労働災害が発生した場合。
- その他の作業場所: 他の作業場所で労働災害が発生した場合。
- 移動中: 勤務時間内において従業員が移動中に労働災害が発生した場合。
- 通常の作業場所: 従業員の通常の作業場所で労働災害が発生した場合。

このフィールドの値は、XML ファイルの <codigo> タグにロードされます。

[PS 管理外会社] 労働災害が従業員の会社以外の会社で発生したことを示す場合は、このチェック ボックスをオンにします。PS 管理外会社に関する詳細を入力する [PS 管理外会社データ] グループ ボックスが表示されます。

[PS 管理外会社データ]

このグループ ボックスを使って、労働災害が発生した PS 管理外会社、または従業員の会社の他の勤務地に関する情報を入力します。

[会社タイプ] 労働災害が発生した PS 管理外会社のタイプを選択します。有効値は以下のとおりです。

- 正規採用: PS 管理外会社が採用会社。この値は、XML ファイルの <codigo> タグにロードされます。
- ETT: PS 管理外会社が、従業員の一時的な勤務地。この値は、XML ファイルの <citett> タグにロードされます。
- その他: PS 管理外会社がここにリストされている以外のタイプ。この値は、XML ファイルの <cifotra> タグにロードされます。

この値は、会計 ID 値を選択したとき XML ファイルに読み込まれます。

[会計 ID] PS 管理外会社の会計 ID を選択します。[会社タイプ] フィールドの選択に基づいて、XML ファイルの <cifcontrata> タグ、<cifett> タグ、または <cifotra> タグに値がロードされます。

[会社名] 労働災害が発生した会社の名前を入力します。

[事業主 SSN] 労働災害が従業員の通常の事業所以外で発生した場合、その労働災害が発生した会社の社会保障番号を入力します。

- [スタッフ数]** 労働災害が従業員の通常の事業所以外で発生した場合、その労働災害が発生した会社のスタッフ数を入力します。
- [IA コード]** 労働災害が従業員の通常の事業所以外で発生した場合、その労働災害が発生した会社の IA コードを入力します。
- [住所]、[市区町村]、[郵便番号]、[都道府県/州]** 労働災害が従業員の通常の事業所以外で発生した場合、その労働災害が発生した会社の住所を入力します。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 人事・労務管理、「(ESP) スペイン機能レポートの管理」、「Delt@ 通信の管理」

(ESP) RAF 詳細の入力

RAF 詳細データ ページにアクセスします。

RAF 詳細データ ページ

[RAF データ]

このグループ ボックスで、RAF レポートに必要な情報を入力します。

- [解職理由]** 解職の理由を選択します。この値は、XML ファイルの <causa> タグにロードされます。
- [RAF 傷病レベル]** 社会保障管理コードに従って、傷病の程度を示す RAF 傷病レベルを選択します。この値は、XML ファイルの <gradoreal> タグにロードされます。
- [診断結果コード]** 社会保障管理コードに従って診断結果コードを選択します。この値は、XML ファイルの <diagnostoco> タグにロードされます。

関連項目:


PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 人事・労務管理、「(ESP) スペイン機能レポートの管理」、「Delt@ 通信の管理」

傷病内容の入力

“傷病の詳細” - 内容ページにアクセスします。

届出	内容	記録	詳細	応急処置	診断	業務関連	公的レポート
保険事故番号: 19240002 日付: 2002/05/10 負傷							
関係者 検索 全件表示 最初 ◀ 1/1 ▶ 最後							
従業員 ID: KP0002		Naveen Patil		雇用コード番号: 0			
生年月日: 1972/01/05		死亡日:		性別: 男性			
結果 <input type="radio"/> 負傷 <input checked="" type="radio"/> 疾病 <input type="radio"/> 死亡				必要処置 <input checked="" type="radio"/> 一般治療 <input type="radio"/> 応急処置 <input type="radio"/> 入院 <input type="radio"/> 不要			
職業病コード 疾病コード: <input type="text"/> <input type="button" value="検索"/>							
負傷/疾病内容 <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>							

“傷病の詳細” - 内容ページ (1/2)

▼  カナダ

傷病結果:

ビジネス タイプ:

事故現場説明

被災者 検索 | 全件表示 最初 ◀ 1/1 ▶ 最後


従業員 ID:

非従業員 ID:

役割:

☐ 保険事故の責任者

コメント:

▼  イギリス

職業病の診断日:

“傷病の詳細” - 内容ページ (2/2)

- 【結果】** この保険事故の結果が [負傷]、[疾病]、[死亡] のいずれであるかを指定します。
- 【必要処置】** 処置が [一般治療]、[応急処置]、[入院]、または [不要] のいずれであるかを指定します。

注: (DEU) ドイツでの業務が関係する全ての疾病は、疾病管理 DEU コンポーネント (HS_ILLNESS_GER) を使って管理します。

[職業病コード] [結果] グループ ボックスで [疾病] を選択すると、[職業病コード] グループ ボックスで [疾病コード] フィールドへのデータ入力が可能になります。値は職業病テーブルに保存されています。

[負傷/疾病内容] 疾病の詳細を入力します。

(CAN) [カナダ]

ブリティッシュ コロンビア州のユーザーで、保険事故を BC WCB に電子ファイルで報告する場合、保険事故の結果が“危険事象”のときには傷病情報は必須ではありません。傷病の詳細 - 内容ページで必須の項目は傷病の結果で、それによって保険事故の詳細 - カナダ ページの結果が決定されます。[結果] および [必要処置] のグループ ボックスで選択する内容と、傷病結果のタイプとが矛盾しないようにします。

[傷病結果] 選択できる値は、[死亡]、[治療のみ]、[報告のみ]、[短期就業不能]です。

[ビジネス タイプ] 管轄の WCB オフィスが承認している値を使って、ビジネス タイプを入力します (必須)。

[被災者]

被災者、またはその傷病について知っている人を登録します。保険事故について知っている人については、“保険事故の詳細”の関係者ページに入力します。

[従業員 ID]、[非従業員 ID] 従業員 ID または非従業員 ID を入力します。

注: 人事・労務管理ビジネス プロセスを使って従業員を、また非従業員コンポーネントを使って非従業員をあらかじめ登録しておくことが必要です。

保険事故の関係者ごとに別のデータ行を用意します。

[役割] 指定した各被災者について役割を選択します。[証人]、[その他] から選択します。ここで選択した値によって、このページで使用されるその他のフィールドが決まります。

[保険事故の責任者] [役割] フィールドで [その他] を選択すると、[保険事故の責任者] チェックボックスが使用可能になります。

注: ブリティッシュ コロンビア州のユーザーで、保険事故を BC WCB に電子ファイルで報告する場合、保険事故の結果が“危険事象”のときにはこのページの情報は必須ではありません。その他の場合には、[傷病結果] および [ビジネス タイプ] の入力は必須です。この保険事故による全ての被災者の傷病結果のうち最も重度のものが、保険事故データ ページの [カナダ] セクションで [保険事故] グループの [結果] フィールドの値に使われます。

(GBR) [イギリス]

[職業病の診断日] このフィールドは、[結果] フィールドに [疾病] が選択されたときに使用可能になります。

傷病に関する主張の記録

“傷病の詳細” - 記録ページにアクセスします。

届出	内容	記録	詳細	応急処置	診断	業務関連	公的レポート
保険事故番号: 19240002 日付: 2002/05/10 負傷							
<div> <div>関係者</div> <div> <div>従業員 ID: KP0002 Naveen Patil</div> <div>雇用コード番号: 0</div> <div>生年月日: 1972/01/05 死亡日:</div> <div>性別: 男性</div> </div> </div>							
<div> <div>事業主の反論</div> <div> <input checked="" type="checkbox"/> 被災者側の主張に対する反論 workplace had employed all safety measures </div> </div>							
<div> <div>被災者側の主張</div> <div> <input checked="" type="checkbox"/> 証人による主張の確認 I concur with Naveen's statement. R. Sanders </div> </div>							
<div> <div>事業主側の主張</div> <div></div> </div>							

“傷病の詳細” - 記録ページ

[事業主側の主張] 事業主の主張を入力します。

[被災者側の主張] 被災者側の主張を入力します。証人が被災者の主張に同意する場合、[証人による主張の確認] チェック ボックスをオンにします。

[事業主の反論] 被災者側の主張に対する事業主の反論があることを示すには、[被災者側の主張に対する反論] チェック ボックスをオンにして、その反論を記入します。

注: (CAN) ブリティッシュ コロンビア州のユーザーで、保険事故の情報を BC WCB に電子ファイルで報告する場合、保険事故の結果が“危険事象”または“報告のみ”のときには、このページの情報は必須ではありません。事業主側の主張は、保険事故の結果が“治療のみ”、“短期就業不能”、“死亡”の場合には必須です。

傷病の詳細情報の入力

“傷病の詳細” - 詳細ページにアクセスします。

届出	内容	記録	詳細	応急処置	診断
保険事故番号: 19240002 日付: 2002/05/10 負傷					
関係者 検索 全件表示 最初 1/1 最後					
従業員 ID: KP0002		Naveen Patil		雇用コード番号: 0	
生年月日: 1972/01/05		死亡日:		性別: 男性	
傷病詳細					
身体部位 傷病区分 傷病原因 事故タイプ 危険行為					
主要傷病詳細					
身体部位: 傷病区分: Loss of a hand and a foot 傷病原因: 事故タイプ: 危険行為:					

“傷病の詳細” - 詳細ページ (1/2)

▼ カナダ								
リンク カスタマイズ 検索 全件表示 最初 1/1 最後								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>傷病区分</th> <th>名称</th> <th>身体部位コード</th> <th>名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> </tr> </tbody> </table>	傷病区分	名称	身体部位コード	名称	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
傷病区分	名称	身体部位コード	名称					
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>					
▼ ドイツ								
危険物: <input type="text"/>								
▼ フランス								
防災服説明 カスタマイズ 検索 全件表示 最初 1/1 最後								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>防災服</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="text"/></td> </tr> </tbody> </table>	防災服	<input type="text"/>						
防災服								
<input type="text"/>								
▼ イギリス								
落下高度: <input type="text"/> メリッパ								
▼ スペイン								
病氣証明書付きの事故								

“傷病の詳細” - 詳細ページ (2/2)

[傷病詳細]

各リンクをクリックして、傷病の属性を説明する詳細ページにアクセスします。

注: 傷病 - 身体部位、傷病 - 傷病区分、傷病 - 事故タイプの各ページへの情報の入力、保険事故の結果が“報告のみ”の場合には必須です。傷病 - 身体部位、傷病 - 傷病区分、傷病 - 傷病原因、傷病 - 事故タイプの各ページへの情報の入力、保険事故の結果が、“治療のみ”、“短期就業不能”、“死亡”の場合には必須です。

(CAN) [カナダ]

ブリティッシュ コロンビア州のユーザーで、保険事故を BC WCB に電子ファイルで報告する場合、保険事故の結果が“危険事象”のときにはこのページの情報は必須ではありません。

[傷病区分] 身体部位に関連付けるコードを入力します。BC WCB では傷病区分が身体部位に直接関係するものと見なしているため、このリンクを作成します。

[身体部位コード] 傷病区分に関連付ける身体部位コードを入力します。
リンクを有効にするには、傷病 - 身体部位ページと傷病 - 傷病区分ページで入力した情報を保存し、さらにこのページの情報も保存します。

(DEU) [ドイツ]

[危険物] 該当する場合、危険物コードを選択します。値は、危険物テーブル DEU に保存されています。

(FRA) [フランス]

[防災服] 保険事故時の従業員の防災服を指定します。新規のデータ行を挿入して項目を追加します。

(GBR) [イギリス]

[落下高度] 被災者が落下の保険事故に遭った場合、落下高度をメートル単位で入力します。

(ESP) [スペイン]

[病気証明書付きの事故] 保険事故のタイプが PAT の場合、このリンクが表示されます。このリンクをクリックして PAT 詳細データ ページにアクセスし、PAT 事故についての詳細を指定できます。

[病気証明書なしの事故] 保険事故のタイプが RATS B の場合、このリンクが表示されます。このリンクをクリックして RATS B 詳細データ ページにアクセスし、RATS B 事故についての詳細を指定できます。

参照: PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 人事・労務管理、「(ESP) スペイン機能レポートの管理」、「Delt@ 通信の管理」

(ESP) PAT 詳細情報の入力

傷病の詳細 - 詳細 - PAT 詳細データ ページにアクセスします。

PAT 詳細データ


リスク評価

☐ リスク評価


通常作業

☒ 通常作業



事故発生場所

場所タイプ: 12  Area of maintenance, repair shop

事故発生時の作業

作業タイプ: 10  Tasks of production, transformation, treatment,

事故発生時の状況

タスク: 13  To feed the machine, to drain the machine通常の作業ツール: 10.01.00.00  Machines for extraction and work of the ground

事故発生時の異常状況

原因: hand injury

異常度: 00  No information傷病原因: 10.01.01.00  Machines for extraction and work of the ground

傷病の詳細 - 詳細 - PAT 詳細データ ページ (1/2)

事故発生理由

連絡: 00  No information通常でない作業ツール: 

保険事故に関係する従業員

☒ 複数の従業員☐ 証人

傷病の詳細 - 詳細 - PAT 詳細データ ページ (2/2)

[リスク評価]

[リスク評価]

労働災害が発生した会社でリスク評価が実施されたことを示す場合は、このチェック ボックスをオンにします。この値は、XML ファイルの <evaluacion> タグにロードされます。

[通常作業]

[通常作業]

労働災害が発生したとき従業員が通常の作業中であったことを示す場合は、このチェック ボックスをオンにします。この値は、XML ファイルの <habitual> タグにロードされます。

[事故発生場所]

[場所タイプ] 労働災害が発生した場所のタイプを選択します。有効な値は、XML コード テーブル ページで定義します。

[事故発生時の作業]

[作業タイプ] 労働災害が発生したとき従業員が行っていた作業のタイプを選択します。有効な値は、XML コード テーブル ページで定義します。

[事故発生時の状況]

[タスク] 労働災害が発生したとき従業員が行っていたタスクを選択します。有効な値は、XML コード テーブル ページで定義します。

[通常の作業ツール] 労働災害が発生したとき従業員が行っていたタスクに関連するツールのカテゴリを選択します。有効な値は、XML コード テーブル ページで定義します。

[事故発生時の異常状況]

[原因] 保険事項の原因となった異常状況を説明します。

[異常度] 保険事項の原因となった異常状況を選択します。有効な値は、XML コード テーブル ページで定義します。

[傷病原因] 傷病の原因になったツールのカテゴリを選択します。有効な値は、XML コード テーブル ページで定義します。

[事故発生理由]

[接触] (画面上では [連絡]) 労働災害に関する接触タイプを選択します。

[通常でない作業ツール] 保険事項の原因となった異常状況に関連するツールのカテゴリを選択します。有効な値は、XML コード テーブル ページで定義します。

[保険事故に関係する従業員]

[複数の従業員] この事故に複数の従業員が関係する場合は、このチェック ボックスをオンにします。

[証人] この事故に証人がいる場合は、このチェック ボックスをオンにします。

[証人データ] 証人の詳細を入力します。この値は、XML ファイルの <datostes> タグにロードされます。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 人事・労務管理、「(ESP) スペイン機能 レポートの管理」、「Delt@ 通信の管理」

(ESP) RATSB 詳細データの入力

RATSB 詳細データ ページにアクセスします。

RATSB 詳細データ

RATSB データ

連絡: 15 Contact with dangerous substances

身体部位: 12 Face Zone

傷病: 19 Other types of hurt and superficial injuries

勤務先

スタッフ数: 63 スタッフ データを取得

傷病の詳細 - 詳細 - RATSB 詳細データ

[RATSB データ]

[接触] (画面上では [連絡]) 労働災害に関する接触タイプを選択します。この値は、XML ファイルの <contacto> タグにロードされます。有効な値は、XML コード テーブル ページで定義します。

[身体部位] 労働災害によって影響を受ける身体部位を選択します。この値は、XML ファイルの <partesion> タグにロードされます。有効な値は、XML コード テーブル ページで定義します。

[傷病] 労働災害による傷病のタイプを選択します。この値は、XML ファイルの <tipolesion> タグにロードされます。有効な値は、XML コード テーブル ページで定義します。

[勤務先]

[スタッフ データを取得] このボタンをクリックすると、[スタッフ数] フィールドの値が、ヒューマン リソース管理の人事・労務管理ビジネス プロセスから取得されます。

[スタッフ数] 労働災害が発生した事業所の従業員数です。このフィールドは、XML ファイルに必要です。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 人事・労務管理、「(ESP) スペイン機能 レポートの管理」、「Delt@ 通信の管理」

治療情報の入力

応急処置ページにアクセスします。

届出	内容	記録	詳細	応急処置	診断	業務関連	公的レポート
保険事故番号: 19240002 日付: 2002/05/10 負傷							
関係者 検索 全件表示 最初 ◀ 1/1 ▶ 最後							
従業員 ID: KP0002		Naveen Patil		雇用レポート番号: 0			
生年月日: 1972/01/05		死亡日:		性別: 男性			
傷病詳細							
<input type="checkbox"/> 病院に搬送		時間 分		<input type="checkbox"/> 蘇生必要			
<input type="checkbox"/> 意識不明		<input type="text"/> <input type="text"/>		<input type="checkbox"/> 救急車必要			
<input type="checkbox"/> 致命傷							
応急処置と治療 検索 全件表示 最初 ◀ 1/1 ▶ 最後							
*日付: 2002/05/10				<input checked="" type="radio"/> 応急処置 <input type="radio"/> 医療行為 <input type="radio"/> なし		<input type="button" value="+"/> <input type="button" value="-"/>	
*時刻: 12:00							
従業員: KP0005		説明:		<input type="text"/>			

“傷病の詳細” - 応急処置ページ (1/3)

カナダ	
応急処置者情報	
応急処置者の指定連番: <input type="text"/>	
応急処置の場所への移動手段: <input type="text"/>	
応急処置の場所からの移動手段: <input type="text"/>	
<input type="checkbox"/> 意識不明時の付添	
救急車での輸送時間	
時間:	<input type="text"/>
分:	<input type="text"/>
事故前の状態	
<input type="checkbox"/> 過去の障害	障害
<input type="checkbox"/> 過去の健康状態	健康状態
近接地域情報	
最短距離 (開業医):	<input type="text"/>
最短距離 (病院):	<input type="text"/>
最短距離の病院名:	<input type="text"/>

“傷病の詳細” - 応急処置ページ (2/3)

▼ フランス

診療所登録

☐ 診療所に登録済

日付: 31

番号:

選替 検索 | 全件表示 最初 1/1 最後

医療施設コード/施設名:

搬送場所:

▼ イギリス

☐ 24時間以上入院

▼ インド

近接地域情報

最短距離 (開業医):

最短距離 (病院):

最短距離の病院名:

“傷病の詳細” - 応急処置ページ (3/3)

- [病院に搬送]** 被災者が病院に搬送された場合は、このチェック ボックスをオンにします。
- [意識不明]** このチェック ボックスをオンにすると、[時間] フィールドと [分] フィールドが入力可能になります。被災者が意識を失っていた時間を、時間と分単位で入力します。
- [致命傷]** このチェック ボックスをオンにした場合は、“傷病の詳細” の内容ページの [結果] が [死亡] になっていることを確認します。さらに、この被災者が従業員の場合は人事・労務管理ビジネス プロセスで死亡日を入力します。
- [蘇生必要]** 被災者が蘇生を必要とした場合にこのチェック ボックスをオンにします。
- [救急車必要]** このチェック ボックスをオンにすると、[救急車詳細] が表示されます。このリンクをクリックして救急車詳細ページにアクセスします。
- [日付]、[時刻]** 応急処置や治療が施された日時を入力します。
- [従業員]、[非従業員]** データ行の追加時は、従業員と非従業員の両方のフィールドが表示されます。応急処置や治療を施した従業員または非従業員のいずれかの ID を選択します。
- [応急処置]、[医療行為]、[なし]** 該当するオプションを選択して、施された治療のタイプを指定します。

(CAN) [カナダ]

- [応急処置者の指定連番]** 傷病者の治療や介助を行った応急処置者を選択します。有効値と連番は“傷病の詳細”の届出ページに保存されています。
- [応急処置の場所への移動手段]** 応急処置者のいるところまで患者を運んだ際の輸送手段を選択します。
- [応急処置の場所からの移動手段]** 必要に応じて、応急処置の場所から傷病者を運び出した際の輸送手段を選択します。
- [意識不明時の付添]** メイン ページで [意識不明] チェック ボックスをオンにすると、このチェックボックスが入力可能になります。意識不明の負傷者が処置を受けているときに、応急処置者が付き添っていた場合にこのチェック ボックスをオンにします。
- [時間]、[分]** 救急車での輸送時間を時間と分で入力します。これは、傷病者を救急車で病院へ搬送するのにかった時間です。

注: CANBC 法定区域内で発生する業務や保険事故では、救急車とは、ブリティッシュ コロンビア州の救急車を指します。

- [過去の障害]、[過去の健康状態]** 該当するチェック ボックスをオンにして、傷病者に対し、関連する過去の障害や過去の健康状態の情報の有無を指定します。チェック ボックスを選択すると、関連付けられている [障害] または [健康状態] リンクが使用できます。これらのリンクをクリックして、“過去の障害” および “過去の健康状態” の各ページにアクセスします。
- [最短距離 (開業医)]** 最寄りの開業医までの距離がわかれば、それを入力します。
- [最短距離 (病院)]、[最短距離の病院名]** 最寄りの病院名と、事故発生現場からの距離を入力します。

(FRA) [フランス]

- [診療所に登録済]** 傷病者が既に診療所に登録されている場合は、このチェック ボックスをオンにします。
- [日付]、[番号]** 診療所に登録した日付と登録番号を入力します。
- [医療施設コード/施設名]** 傷病者が運ばれた医療施設を選択します。値は、医療施設テーブルに保存されています。
- 傷病者がシステムに登録されている医療施設以外の場所へ運ばれた場合は、[医療施設コード/施設名] フィールドへの入力を省略して、搬送先を直接 [搬送場所] フィールドに入力します。

(GBR) [イギリス]

- [24 時間以上入院]** 傷病者が 24 時間以上入院した場合は、このチェック ボックスをオンにします。

(IND) [インド]

- [最短距離 (開業医)]** 負傷時の事業所から最寄りの開業医までの距離を入力します。

[最短距離 (病院)] 負傷時の事業所から最寄りの病院までの距離を入力します。

[最短距離の病院名] 負傷時の最寄りの病院名を入力します。

診断詳細の記録

診断ページにアクセスします。

届出	内容	記録	詳細	応急処置	診断	業務関連	公的レポート
保険事故番号: 19240002 日付: 2002/05/10 負傷							
関係者 検索 全件表示 最初 ◀ 1/1 ▶ 最後							
従業員 ID: KP0002		Naveen Patil		雇用コード番号: 0			
生年月日: 1972/01/05		死亡日:		性別: 男性			
医師/病院情報 検索 全件表示 最初 ◀ 1/1 ▶ 最後							
*治療タイプ:		会社指定医師 + -					
医師 ID:		00001924001		Ram Pandey			
医療施設コード/施設名:		KU03		John Muir Medical Facility 住所の表示			
電話番号:		<input type="text"/>					
医療診断 カスタマイズ 検索 全件表示 最初 ◀ 1/1 ▶ 最後							
診断結果コード:							
KP0003		Lower Back Pain (Lumbar)				+ -	


診断ページ (1/2)

▼ インド


障害

障害タイプ:

一時障害/完全障害

障害コード:  支給額損失率 (%):

職業病

疾病コード: 



その他

追加説明:

医師の所見



職務

職務タイプ:



職務開始日:  職務終了日: 

休職詳細

休職タイプ:

休職開始日:  休職終了日: 

承認

承認日:  ☒ 従業員 ID 
☐ 医師 ID

診断ページ (2/2)

[治療タイプ]

被災者が病院や診療所で受けた、[応急処置]、[通院/入院]などの治療タイプを選択します。

[医師 ID]

傷病者の治療を行った医師やその他の医療専門家の医師 ID を選択します。該当する名前が表示されます。

[医療施設コード/施設名]

傷病者が治療を受けた医療施設を選択します。施設の名称が表示されます。

[住所の表示]

このリンクをクリックすると、医療施設の住所を表示および編集できます。医療施設住所ページは表示専用です。医療施設の住所情報を編集するには、医療施設ページ (HS MEDICAL FAC) を使用します。

[診断結果コード]

医師の診断結果がわかったら、診断結果コードを選択します。コードは診断結果テーブルで定義します。今現在、診断結果がわからない場合、後日入力します。

新規データ行を挿入して、診断結果コードを追加します。

(IND) [インド]

[障害タイプ]	障害タイプとして [後遺/一時障害]、[後遺/完全障害]、[職業病]、[その他] のいずれかを選択します。
[障害コード]	障害タイプが一時障害または完全障害の場合、該当するコードを選択します。障害コードは、インド固有機能の障害タイプ ページで定義します。
[支給額損失率 (%)]	選択した障害コードに対する支給額損失率が表示されます。支給額損失率は、インド固有機能の障害タイプ ページで定義します。
[疾病コード]	障害タイプが [職業病] の場合は、疾病のタイプを選択します。
[追加説明]	障害タイプが [その他] の場合は、障害タイプの説明をこのフィールドに入力します。
[職務タイプ]	医師が [代替職務] または [軽業務] を勧めた場合は、[職務タイプ] フィールドの値を選択します。
[職務開始日]	代替職務または軽業務の開始日を入力します。
[職務終了日]	代替職務または軽業務の終了日を入力します。
[休職タイプ]	医師が [事故による休職] または [特別休職] を勧めた場合は、[休職タイプ] フィールドの値を選択します。
[休職開始日]	休職の開始日を入力します。
[休職終了日]	休職の終了日を入力します。
[承認日]	医師の所見が承認された日付を入力します。
[従業員 ID]	医師の所見を承認したのが従業員である場合は、[従業員 ID] オプション ボタンを選択してから、従業員 ID を選択します。
[医師 ID]	所見を承認したのが医師である場合は、[医師 ID] オプション ボタンを選択してから、医師 ID を選択します。

(ESP) 医療扶助および経済 PAT データの指定

傷病の詳細 - 診断 - PAT 詳細データ ページにアクセスします。

PAT 詳細データ

医療扶助

傷病レベル: 1 - 低

傷病: 11 superficial Injuries

身体部位: 10 Head, not described with more detail

医療扶助タイプ: ☒ 入院 ☐ 通院

経済データ

負担日数:

負担超過勤務:

一般的偶発事故ベース:

GP データを取得

傷病の詳細 - 診断 - PAT 詳細データ ページ

[医療扶助]

このグループ ボックスで、事故による傷病に対して支給された医療扶助の詳細を指定します。

[傷病レベル] スペインの社会保障管理コードに従って傷病の程度を選択します。選択肢は [低]、[中]、[高]、[死亡] です。

[傷病] 医療扶助の支給対象となった傷病を選択します。有効な値は、XML コード テーブル ページで定義します。

[身体部位] 医療扶助の支給対象となった身体部位を選択します。有効な値は、XML コード テーブル ページで定義します。

[医療扶助タイプ] 医療扶助の支給対象が入院か通院かを選択します。

[経済データ]

このグループ ボックスで、福利厚生計算に関する情報を入力またはロードします。

[負担日数] 労働災害発生の前月における負担日数を入力します。この値は、XML ファイルの <dias> タグにロードされます。

[負担超過勤務] 労働災害発生の前月における年間平均の超過負担を入力します。この値は、XML ファイルの <b1> タグにロードされます。

[一般的偶発事故ベース] 労働災害発生の前月における通常の負担を入力します。この値は、XML ファイルの <base> タグにロードされます。

[GP データを取得] このボタンをクリックすると、負担日数、負担超過勤務、一般的偶発事故ベースの値をコア グローバル ペイロール アプリケーションのテーブルからロードできます。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 人事・労務管理、「(ESP) スペイン機能 レポートの管理」、「Delt@ 通信の管理」

業務関連の保険事故の記録

業務関連ページにアクセスします。

届出	内容	記録	詳細	応急処置	診断	業務関連	公的レポート										
保険事故番号: 19240002 日付: 2002/05/10 負傷																	
関係者 検索 全件表示 最初 1/1 最後																	
従業員 ID: KP0002		Naveen Patil		雇用コード番号: 0													
生年月日: 1972/01/05		死亡日:		性別: 男性													
最終勤務日/時刻:				<input checked="" type="checkbox"/> 業務関連													
復職日/時刻:				<input type="checkbox"/> 従業員の復職													
*疾病結果:		該当なし															
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> 休業日数: <input type="text"/> 制限勤務日数: <input type="text"/> 一時転属の勤務日数: <input type="text"/> </div> <div><input checked="" type="checkbox"/> 詳細日付入力</div> </div> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>*開始日</th> <th>終了日</th> <th>注*</th> <th>コメント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>2007/04/01</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <div style="margin-top: 10px;"> ▼ アメリカ 今日現在の OSHA 休業日数: OSHA 制限/転属日数: </div>									*開始日	終了日	注*	コメント	1	2007/04/01			
	開始日	終了日	注	コメント													
1	2007/04/01																

業務関連ページ (1/3)

▼ カナダ	
<input type="checkbox"/> 障害時の給与支給 <input type="checkbox"/> 福利厚生継続 <input type="checkbox"/> 変動交代勤務	支給内容: <input type="text"/> 固定交代勤務の開始日: <input type="text"/> 最終勤務日の予定開始/終了時刻: <input type="text"/> <input type="text"/> 最終勤務日の賃金: <input type="text"/> 0.00
<input type="checkbox"/> 休暇手当の一括支給済 <input type="checkbox"/> 傷病日後の欠勤 クラス/サブクラス: <input type="text"/>	休暇手当レート (%): <input type="text"/> 開始/終了日: <input type="text"/> <input type="text"/> 顧客用コスト センター: <input type="text"/>
賃金内 追加賃金	措置 復職
長期支給 WCB フォーム 7 詳細	

業務関連ページ (2/3)

業務関連ページ (3/3)

従業員が休業した場合には、最終勤務日と時刻を入力します。

保険事故が業務に関連する場合は、[業務関連] チェック ボックスをオンにします。

従業員が休業した場合には、保険事故後復職した最初の日と時刻を入力します。

従業員が保険事故後に復職した場合は、[従業員の復職] チェック ボックスをオンにします。

疾病の結果を〔転属〕、〔雇用終了〕、〔該当なし〕の有効オプションから選択します。

保険事故が原因で従業員が休業した場合には、休業日数を入力します。

注: 官公庁によっては、休業日数と制限勤務日数について細かく定義しています。該当する法定区域に適用される定義を使用していることを確認してください。

[制限勤務日数]	医師が指示した制限内で勤務できる日数を入力します。
[詳細日付入力]	詳細な日付を入力できるようにする場合には、[詳細日付入力] チェックボックスをオンにします。このチェック ボックスがオフにされていると、[休業日数] と [制限勤務日数] の各フィールドだけが編集可能になり、詳細な日付を表示するグリッドは編集できません。このチェック ボックスがオンにされていると、詳細な日付を表示するグリッドが編集可能になります。詳細な日付を入力すると、[休業日数] と [制限勤務日数] の各フィールドが自動的に更新され、合計日数が表示されます。
[タイプ]	傷病による休業時間の説明となる値をリストから選択します。ここで選択した内容により、[休業日数] や [制限勤務日数] の各フィールドが自動的に更新されます。たとえば、[タイプ] で [傷病による休業] を選択すると、[開始日] と [終了日] に入力した日付から合計日数が計算され、[休業日数] フィールドに自動的に表示されます。
(CAN) [カナダ]	
[障害時の給与支給]	従業員が給与を支給されている場合にこのチェック ボックスをオンにし、[支給内容] フィールドに内容を記述します。
[福利厚生 of 継続]	従業員の福利厚生が継続される場合は、[福利厚生 of 継続] チェック ボックスをオンにします。
[変動交代勤務]	従業員が変動交代制で勤務している場合は、[変動交代勤務] チェック ボックスをオンにします。
[固定交代勤務の開始日]	従業員が固定交代勤務に戻る日付を入力します。
[最終勤務日の予定開始/終了時刻]	損失した勤務時間についての情報を記録します。
[最終勤務日の賃金]	従業員の最終勤務日の賃金を入力します。
[休暇手当の一括支給済]	従業員が休暇手当を一括で支給された場合は、[休暇手当の一括支給済] チェック ボックスをオンにします。
[休暇手当レート (%)]	従業員が休暇手当を一括で支給された場合、休暇手当のレートを入力します。
[傷病日後の欠勤]	従業員が傷病を負った後欠勤した場合にこのチェック ボックスをオンにし、欠勤期間に対して [開始/終了日] フィールドに日付を入力します。
[クラス/サブクラス]	従業員のビジネス ユニットに対し、正確なクラスまたはサブクラスを選択します。業務に該当する WCB 分類を使用します。
[顧客用コスト センター]	事業主の顧客用コスト センター コードを入力します。このコードは、従業員の属するコスト センターを示します。顧客用コスト センター コードは、事業主と連携して WCB によって割り当てられるもので、特定の組織レベルの保険請求費用を管理するのに役立ちます。

注: WCB への報告に必要な追加情報を入力するには、6 つのリンクのうち任意のリンクをクリックして他のカナダ用ページを開きます。

(CAN) [カナダ]

次の表に、ブリティッシュ コロンビア州のユーザーが入力する必要のあるフィールドを示します。

保険事故の結果	必須フィールド
報告のみ	[最終勤務日の賃金]
	[クラス/サブクラス]
治療のみ	[最終勤務日の賃金]
	[最終勤務日/時刻]
	[クラス/サブクラス]
短期就業不能、死亡	[最終勤務日の予定開始/終了時刻]
	[最終勤務日の賃金]
	[最終勤務日/時刻]
	[クラス/サブクラス]

(DEU) [ドイツ]

[継続支給] 従業員に給与受給の権利がある場合は、[継続支給] チェック ボックスをオンにして、支給が終了する日付を [終了日] フィールドに入力します。

[業務再開] 疾病で欠勤していた従業員が復職した場合に、[業務再開] チェック ボックスをオンにします。

[業務停止] 従業員が復職しない場合には、オプションから適切な業務停止時期を選択します。有効値には、[即時]、[後日]、[なし] があります。

[業務停止日] 従業員が勤務を停止した日付を入力します。

(FRA) [フランス]

[傷病結果] 事業主が傷病に対してとった措置を示します。

[期間] 傷病を負った従業員の障害が、[永続的な障害] か [一時的な障害] かを選択します。

[障害度 (%)] 障害の程度を指定します。障害度は、医師や医療専門家により判定されます。

[通知日] 従業員の障害について事業主が報告を受けた日付を入力します。

(IND) [インド]

[シフト] [一般シフト]、[シフト 1]、[シフト 2]、[シフト 3] のいずれかを選択します。
たとえば、会社には昼シフト勤務と夜シフト勤務がある場合、[シフト 1] を昼シフト勤務に使い、[シフト 2] を夜シフト勤務に使うことができます。シフトが 3 つ以上ある場合は、シフトの時間割に応じて [シフト 3] を使用できます。

[監督者の従業員 ID] 従業員のシフトの監督者の従業員 ID を選択します。

[開始時刻]、[終了時刻] 通勤区間の出発地と到着地を入力します。

(CAN) 長期支給の入力

“傷病の詳細” - 業務関連 - 長期支給ページにアクセスします。

“傷病の詳細” - 業務関連 - 長期支給ページ

WCB では、異なる 2 つの長期支給期間に着目します。それは、傷病の前 3 か月間と傷病の前 12 か月間です。

[連番] このページのレコードでは、連番 1 には傷病の 3 か月前の日付、連番 2 には 12 か月前の日付がデフォルトで表示されます。

[支給金額] 各連番の支給期間の支給金額を入力します。

[期間開始日]、[期間終了日] 被災者が 3 か月間または 12 か月間のどちらかの期間に在籍していなかった場合には、期間開始日と期間終了日を入力します。

[日付変更理由] 期間開始日と期間終了日を入力する場合は、日付を変更した理由を記録する必要があります。

レポート詳細の管理

“傷病の詳細” - 公的レポート ページにアクセスします。

届出	内容	記録	詳細	応急処置	診断	業務関連	公的レポート
保険事故番号: 19240002 日付: 2002/05/10 負傷							
被災者 検索 全件表示 最初 1/1 最後							
従業員 ID: KP0002 Naveen Patil		雇用コード番号: 0					
生年月日: 1972/01/05 死亡日:		性別: 男性					
<input type="checkbox"/> 要調査 <input checked="" type="checkbox"/> 報告対象事故							
ドイツ							
申立番号: <input type="text"/>							
担当者 ID:							
申立日: <input type="text"/> 31							
却下理由: <input type="text"/>							
事業主社会保険番号: <input type="text"/>							
アメリカ							
OSHA 申立番号: <input type="text"/> <input type="checkbox"/> フライハシー保護							
申立日: <input type="text"/> 31							
疾病タイプ: 職業的皮膚病							
コメント: <input type="text"/>							

“傷病の詳細” - 公的レポート ページ (1/2)

▼  オーストラリア			
申立番号:	<input type="text"/>	申立日:	<input type="text"/> 
▼  ニュージーランド			
申立番号:	<input type="text"/>	申立日:	<input type="text"/> 
▼  インド			
レポート詳細			
検査情報			
検査担当者名:	<input type="text"/>		
検査担当者肩書:	<input type="text"/>		
検査日:	<input type="text"/> 	検査時間:	<input type="text"/>
改善または予防措置:	<input type="text"/>		
措置:	<input type="text"/>	措置日:	<input type="text"/> 
担当責任者:	<input type="text"/>		
レポート情報			
報告先の従業員 ID:	<input type="text"/> 		
雇用者指定 ID:	<input type="text"/> 	部門 ID:	<input type="text"/> 
保険情報			
保険番号:	<input type="text"/>	契約日:	<input type="text"/> 

“傷病の詳細” - 公的レポート ページ (2/2)

[要調査]

報告対象かどうかを決めるためにさらに調査が必要な場合は、[要調査] チェック ボックスをオンにします。

[報告対象事故]

1つ以上の法定区域の1つ以上の機関の基準で保険事故が報告対象である場合は、[報告対象事故] チェック ボックスをオンにします。会社の所在地で法律によって報告対象事故の管理要件が定められていない場合でも、保険取扱機関または会社の届出要件に基づいて、事故が報告対象であるかどうかを管理することができます。

該当する法定区域、保険取扱機関、または会社の要件により、この事故を報告する必要がない場合には、[報告対象事故] チェック ボックスをオフにします。

警告: 業務を行っている法定区域の報告要件に従う必要があります。報告対象事故の判定にシステムを使う際の基準と方法をわかりやすく文書に記述し、ユーザー全員が同じ手順で操作できるよう指導してください。

注: アメリカの事業所で職業安全衛生管理局 (OSHA) の基準に従う場合、様式 OSHA-200 番 (職業性傷害と職業性疾病の記録と要約) 用に記録が必要な事故については、[報告対象事故] チェック ボックスをオンにします。

(DEU) [ドイツ]

[申立番号] 公的レポートの申立番号を入力します。

注: 官公庁、保険取扱機関、または会社、標準の採番方法がある場合には、その方法を使用して番号が自動的に割り当てられるようにヒューマン リソース管理を設定できます。

[担当者 ID] 担当者割当ページで登録した、保険事故被災者の担当者の ID が表示されます。担当者には、ドイツ固有機能の担当者ページで特定のセットID と所在地が設定されます。“従業員の詳細情報” ページの [ドイツ] セクションで、従業員を担当者に指定します。担当者は、担当者割当ページで各被災者に割り当てられます。

[申立日] 保険取扱機関にレポートが提出された日を入力します。この情報は、ドイツ固有機能の事故レポート ページで使用されます。

[却下理由] 該当する場合は、保険取扱機関により保険申請が拒否された理由を選択します。

(USA) [アメリカ]

[OSHA 申立番号] 申立番号を入力します。ここで入力する申立番号は、様式 OSHA-200 番職業病レポート (OHS001) 作成の際に使用されます。

[プライバシー保護] 保険事故のプライバシーを保護する場合には、このチェック ボックスをオンにします。これは、OSHA の要件に準拠するための機能です。プライバシーが保護されると、どのレポートにも従業員名が表示されません。ただし、OSHA に要求される場合に備えて名前のデータは保存されています。

[申立日] 報告対象が、様式 OSHA-200 番 (職業性傷害と職業性疾病の記録と要約) に登録された日付を入力します。

[疾病タイプ] 業務に関連する疾病がある場合に、該当する疾病タイプを入力します。OSHA がこの疾病タイプを定義しています。

[コメント] 画面に表示されているフィールドに収まる長さで、コメントを入力することができます。このフィールドの長さは、アメリカ合衆国政府の様式 OSHA-200 番 (職業性傷害と職業性疾病の記録と要約) のコメント欄と同じです。

[オーストラリア]

[申立番号] 申立番号を入力します。

(NZL) [ニュージーランド]

[申立番号] 申立番号を入力します。

(IND) [インド]

[検査担当者名]	検査を行っている担当者の氏名を入力します。
[検査担当者肩書]	検査担当者の肩書を入力します。
[検査日]	検査日を入力します。
[検査時間]	検査の時間を入力します。
[改善または予防措置]	検査担当者が [改善措置] か [予防措置] のどちらを指定したかを選択します。
[措置]	改善措置または予防措置の詳細を入力します。
[措置日]	改善措置または予防措置が完了する日付を入力します。
[担当責任者]	改善措置または予防措置を完了する担当責任者の氏名を入力します。
[報告先の従業員 ID]	傷病が報告される従業員の ID を入力します。
[雇用者指定 ID]	負傷した従業員に関する情報を受け取った社内の従業員の ID を入力します。
[部門 ID]	雇用者指定従業員が所属する部門 ID を選択します。
[保険番号]	従業員の保険番号を入力します。
[契約日]	従業員の保険が有効になった日付を入力します。

車両と装置の保険事故データの入力

このセクションでは、車両と装置に関連する保険事故データの入力方法について説明します。

車両と装置の保険事故データの入力に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
車両/装置	HS_INC_VEHICLE	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[保険事故情報の取得]、[関係車両/装置]	車両や装置が関係する保険事故の詳細を入力します。該当する保険事故を登録し、その事故に車両/装置事故のタイプを割り当てる必要があります。
[装置詳細]	EQUIP_SUM_SEC	車両/装置ページで [装置詳細] リンクをクリックします。	装置に関する追加情報を表示します。
車両/装置 - 車両詳細	CAR_DATA_SUM_SEC	車両/装置ページで [車両詳細] リンクをクリックします。	車両に関する追加情報を表示します。

車両と装置の保険事故データの入力

車両/装置ページにアクセスします。

車両/装置

保険事故番号: 19240002

日付: 2002/05/10

負傷

車両/装置データ

検索

全件表示

最初

1/1

最後

*資産コード: KC00000001

Ford Taurus

資産タイプ: 車両

装置詳細

車両詳細

ビジネス ユニット: CAN01

CAN01 BU for Canada

請求部門 ID: 13000

Finance

*通貨: USD

見積損害額

車両/装置: \$2000.00

資産: \$1500.00

実損害額

車両/装置: \$2342.11

資産: \$1279.00

アメリカ

☒ DMV にレポート済

☐ 運輸省にレポート済

被災者

加マイズ

検索

全件表示

最初

1/1

最後

従業員 ID	*事故時の状況
1 AA0001 Kimberly Adams	目撃者

車両/装置ページ

[資産コード]

会社資産テーブルで車両または大型装置として分類した値から、資産コードを選択します。

車両を選択すると、[車両詳細] リンクが使用できるようになります。大型装置を選択すると、[装置詳細] リンクが使用できるようになります。関連するページのリンクをクリックします。

[ビジネス ユニット]、[請求部門 ID]

会社資産テーブルでこの会社資産をビジネス ユニットおよび部門に割り当ててある場合は、この保険事故の費用が請求されるビジネス ユニットと請求部門 ID が表示されます。表示されない場合、必要に応じてビジネス ユニットを選択します。値は、ビジネス ユニット テーブルに保存されています。必要に応じて請求部門 ID を選択します。値は部門テーブルに保存されています。

[見積損害額]

保険事故で損傷した車両/装置や他の資産の見積損害額が算出されていれば、その金額を入力します。

[実損害額]

保険事故で損傷した車両/装置や他の資産の実際の損害額がわかっている場合は、その金額を入力します。

(USA) [アメリカ]

[DMV にレポート済]

保険事故が州の車両管理局 (DMV) に報告済みであれば、[DMV にレポート済] チェック ボックスをオンにします。

[運輸省にレポート済]

保険事故が運輸省 (DOT) に報告済みであれば、[運輸省にレポート済] チェック ボックスをオンにします。

[従業員 ID]、[非従業員 ID] 保険事故に関連した車両や大型装置の関係者である従業員または非従業員を指定します。

[事故時の状況] 事故の関係者のそれぞれの状況を指定します。

保険事故の事後措置の管理

このセクションでは、改善/予防措置を記録する方法の概要、および以下の作業を行う方法について説明します。

- 改善措置の入力
- 予防措置の入力

改善/予防措置の記録方法

改善/予防措置の設定コンポーネント (HS_INCIDENT_ACTION) を使って、次の 3 つの方法のいずれかにより安全衛生プログラムを管理します。

- 安全衛生関係の保険事故に対する発生要因、改善措置、予防措置の記録
- 危険管理の一環としての予防措置の記録
- 各職務や勤務地について行った危険項目の分析結果に基づき、社内で導入された改善措置と予防措置の記録

保険事故の改善/予防措置管理に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
改善措置	HS_INC_ACTION_CRCT	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[保険事故情報の取得]、[改善/予防措置の設定]、[改善措置]	改善措置を入力します。
予防措置	HS_INC_ACTION_PREV	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[保険事故情報の取得]、[改善/予防措置の設定]、[予防措置]	職場での保険事故を防ぐためにとる予防措置を入力します。

改善措置の入力

改善措置ページにアクセスします。

改善措置

予防措置

保険事故番号: 19240002

日付: 2002/05/10

負傷

原因

検索 | 全件表示

最初 1/1 最後

*危険管理 ID:

*原因:

事後措置

検索 | 全件表示

最初 1/1 最後

*措置連番:

1

カテゴリ:

安全研修

責任者の従業員 ID:

KOG001

Rebekah Jones

*ステータス:

推奨

措置:

Driver training

完了日

予定完了日:

2002/06/01

完了日:

ドイツ

改善措置:

改善措置ページ

- [危険管理 ID]** 危険環境/危険物テーブルに保存されている値からコードを選択します。選択した危険管理 ID に関連付けられている値が [原因] フィールドに表示されます。
- [措置連番]** 各データ行には、挿入した順に措置連番が自動的に割り当てられます。
- [カテゴリ]** 措置のカテゴリを選択します。
- [責任者の従業員 ID]** 措置を監督する責任のある従業員の ID を選択します。
- [ステータス]** 措置のステータスを選択します。
- [措置]** 各措置連番に対し、その内容を入力できます。
- [予定完了日]、[完了日]** 措置の実行が完了する予定完了日と実際の完了日を、日付がわかった時点で入力します。

注: (CAN) ブリティッシュ コロンビア州のユーザーで、保険事故の情報を BC WCB に電子ファイルで報告する場合には、改善措置ページの必須フィールドは、[危険管理 ID] と [措置] の記述内容です。

(DEU) [ドイツ]

- [改善措置]** 各措置について、ドイツ用の 改善措置テーブルに保存されている有効値から改善措置コードを選択します。

予防措置の入力

予防措置ページにアクセスします。

改善措置		予防措置	
保険事故番号: 19240002 日付: 2002/05/10 負傷			
原因 検索 全件表示 最初 1/1 最後			
*危険管理 ID: <input type="text"/> *原因: <input type="text"/>			
予防措置 検索 全件表示 最初 1/1 最後			
*措置連番: <input type="text" value="1"/>			
カテゴリ: <input type="text" value="点検実施"/>			
責任者の従業員 ID: <input type="text" value="AD1000"/> John Roberts			
*ステータス: <input type="text" value="推奨"/>			
措置: <input type="text" value="Check brake lines and fluids"/>			
完了日			
予定完了日: <input type="text" value="2002/06/01"/> 完了日: <input type="text"/>			

予防措置ページ (1/2)

▼ カナダ	
予防措置: <input type="text" value="00024"/>	<input type="text"/>
その他の措置内容: <input type="text"/>	
▼ ドイツ	
予防措置: <input type="text"/>	<input type="text"/>

予防措置ページ (2/2)

[原因]

[原因] グループ ボックスのフィールドは、改善措置ページにある [原因] グループ ボックスのフィールドと同じです。

(CAN) [カナダ]

[予防措置]

それぞれの措置に対する予防措置のコードを有効値から選択します。値はカナダ用の予防措置テーブルに保存されています。

[その他の措置内容]

このフィールドは、ブリティッシュ コロンビア州のユーザーが予防措置コード 00996 (OTHER) を入力する場合だけ使用できます。これは、ブリティッシュ コロンビア州のユーザーが標準外の予防措置コードを指定したときにその内容を入力するためのものです。入力された内容は、ブリティッシュ コロンビア州労働基準局 (BC WCB: British Columbia Workers Compensation Board) へのレポートに記述されます。

ブリティッシュ コロンビア州のユーザーは、まず、カナダ用の予防措置テーブルに入力されている予防措置コードが、BC WCB の使用する承認済みコードであることを確認する必要があります。これには 00996 (OTHER) も含まれます。

ユーザーがブリティッシュ コロンビア州のユーザーで、予防措置テーブルに承認済みコードが入力済みであり、かつ現在作業中の保険事故の法定地域にブリティッシュ コロンビア州 (CANBC) が指定されている場合、このページの [予防措置] フィールドで、予防措置コード 00996 (OTHER) を選択すると、[その他の措置内容] フィールドが入力可能になります。ここに、標準外の予防措置内容を入力します。

注: (CAN) ブリティッシュ コロンビア州のユーザーで、保険事故の情報を BC WCB に電子ファイルで報告する場合は、[危険管理 ID] と [予防措置] のフィールドへの入力が必要です。

(DEU) [ドイツ]

[予防措置] それぞれの措置に対する予防措置のコードを有効値から選択します。値はドイツ用の予防措置テーブルに保存されています。

従業員別の保険事故と傷病データの管理

このセクションでは、事前設定と、従業員傷病サマリの表示方法について説明します。この情報を使うと、各従業員が頻繁に遭遇する問題を特定することができます。

関連項目:

第 5 章、「保険事故情報の作成と管理」、「傷病の詳細情報の入力」、80 ページ

事前設定

従業員別の傷病データにアクセスするには、保険事故の詳細コンポーネント (HS_INCIDENT) であらかじめ保険事故データを作成し、保険事故と従業員を関連付けておく必要があります。

従業員傷病サマリの確認に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
従業員傷病サマリ	INJURY_SUMMARY	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[保険事故情報の取得]、[従業員傷病サマリの確認]	従業員が負った全ての傷病のサマリおよび関連する保険事故データを表示します。
従業員傷病サマリ - 詳細	HS_INJ_DETAIL	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[保険事故情報の取得]、[従業員傷病サマリの確認] 従業員傷病サマリページで [詳細表示] リンクをクリックします。	保険事故の各傷病者が受けた負傷や疾病の詳細を入力します。このページは、保険事故番号が手元がないときに便利です。

従業員傷病サマリの表示

従業員傷病サマリ ページにアクセスします。

従業員傷病サマリ							
Naveen Patil		EMP		ID: KP0002	雇用コード番号: 0		
ビジネス ユニット:		India Business Unit		採用日:	2002/01/01		
部門:		Human Resources		従業員ステータス:	アクティブ		
職務コード:		Staff					
所在地コード:		M G Road, Branch					
従業員傷病サマリ							
保険事故番号	発生日	保険事故タイプ	結果	傷病の処置	詳細表示	報告対象事故	
1 19240002	2002/05/10	負傷	疾病	一般治療	詳細表示	Y	

従業員傷病サマリ ページ

[詳細表示]

クリックすると、選択した保険事故に対応する傷病の詳細コンポーネントにアクセスします。傷病情報や傷病の詳細コンポーネントのページの確認および更新を行います。

ページを閉じる前に、変更を保存します。

(GBR) イギリス固有レポート用の RIDDOR データの収集

このセクションでは、RIDDOR データの収集の概要、および RIDDOR データの収集 (OHS501UK) SQR プロセスの実行に使用するページを説明します。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「PeopleSoft Enterprise HRMS アプリケーションの基礎のレポート群」、「安全衛生モニター管理レポート」

RIDDOR データの収集プロセスについて

RIDDOR データの収集プロセスにより、レポート作成のためのデータが収集されます。レポート作成を実行するには、レポート作成者を指定し、保険事故番号か日付範囲のどちらかを入力する必要があります。RIDDOR データの収集プロセスは、次のレポートの作成に先立って実行します。

- F2508 (負傷/危険事象 GBR)
- F2508A (疾病 GBR)

RIDDOR データの収集プロセスに使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
RIDDOR データ収集	RUNCTL_OHS_UK	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[安全衛生データの収集]、[RIDDOR データ GBR]、[RIDDOR データ収集]	イギリスの安全衛生管理レポート用の RIDDOR データを収集します。

(MEX) 合同委員会の定義

このセクションでは、安全衛生のための合同委員会の概要、および合同委員会の定義方法について説明します。

安全衛生のための合同委員会について

メキシコの企業では、合同委員会 (Comision Mixta de Seguridad e Higiene) を設け、安全衛生プロセスの監視と業務に関連する事故の調査を行います。従業員に対する教育と能力開発プロセスを監督するために、同様の合同委員会 (Comision Mixta de Capacitacion) があります。

合同委員会は労使とも同人数の代表で構成され、代表者は毎年選出されます。委員会の発足に伴い、委員会ではその活動目的、機能、および機構を定義します。

安全衛生合同委員会は、業務に関連する事故原因の調査、法定決議の確認、法律違反の登録、安全衛生の予防措置の提案を行います。

合同委員会ページで、安全衛生合同委員会の情報を入力することができます。

安全衛生合同委員会の詳細を定義した後は、追加のステップがあります。勤務中に保険事故に遭った場合、“保険事故の詳細” ページでその事故を記録します。

研修の法定要件の定義

合同委員会を設立する際には特定の法定様式を使用します。労働省 (STPS) は、合同委員会とその構成に関連する全ての情報を査察することができます (STPS 様式 DC-1)。

合同委員会の構成と研修プランの定義は、様式 DC-2 を使って STPS に提出します。

研修が終了したら、企業は従業員に職務能力証書を発行することができます。コースやイベントを終了した各従業員は、証書を受け取ります (STPS 様式 DC-3)。証書のコピーが STPS に送付されます。

これで、従業員研修の管理に使うあらゆる STPS レポートを作成できます。

合同委員会の定義に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
合同委員会	MIX_COM_TBL_MEX	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[安全衛生データの収集]、[合同委員会 MEX]、[同号委員会]	合同委員会の詳細を定義します。クラス、代表者、所在地、目標などが含まれます。

合同委員会の定義

合同委員会ページにアクセスします。

合同委員会	
合同委員会:	Trabajo
委員会の詳細 検索 全件表示 最初 ◀ 1/1 ▶ 最後	
*有効日:	2007/04/01
*名称:	<input type="text"/>
*年:	<input type="text"/>
*クラス:	安全衛生
*ステータス:	アクティブ
略称:	<input type="text"/>
*発足日:	2007/04/01
代表者 検索 全件表示 最初 ◀ 1/1 ▶ 最後	
*従業員 ID:	<input type="text"/>
*ステータス日:	2007/04/01
*タイプ:	従業員
*ステータス:	アクティブ
所在地 検索 全件表示 最初 ◀ 1/1 ▶ 最後	
*ビジネス ユニット:	<input type="text"/>
*所在地コード:	<input type="text"/>
目標の詳細 検索 全件表示 最初 ◀ 1/1 ▶ 最後	
*目標年:	<input type="text"/> 連番: <input type="text" value="0"/>
*タイプ:	目標
目標:	<input type="text"/>
説明:	<div style="border: 1px solid black; height: 40px;"></div>

合同委員会ページ

[委員会の詳細]

委員会の名称など、合同委員会の詳細を入力します。

[年] 合同委員会が有効である年を入力します。

[発足日] 合同委員会が発足した日付を入力します。

[クラス] 委員会クラスを選択します。有効な値は、[安全衛生] と [研修] です。

[代表者]

合同委員会の代表者の詳細を定義します。

[従業員 ID] 合同委員会の代表者の従業員 ID を選択します。

[タイプ] 代表者のタイプを指定します。値は [従業員] と [事業主] です。

[所在地]

[ビジネス ユニット] 合同委員会が属するビジネス ユニットを選択します。

[所在地コード]	合同委員会が開催される場所を指定します。
[目標の詳細]	合同委員会の目標、機能、および機構を定義します。
[目標年]	合同委員会の目標が有効である年を入力します。
[連番]	2 つ以上の目標を設定する場合、連番を付けることで各目標を識別できます。
[タイプ]	目標のタイプを選択します。有効値は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">• [機能]: 合同委員会が行う必要のあるアクティビティ• [機構]: 合同委員会の機能や目標を実行する方法• [目標]: 委員会が有効な期間の目標• [その他]: 合同委員会に関して入力する必要のある他の全ての情報
[目標]	合同委員会の目標を入力します。
[説明]	機能、機構、目標、その他に関する説明を入力します。

第 6 章

リハビリ、保険事故請求および健康診断データの処理

この章では、以下の内容について説明します。

- 保険事故請求の管理
- リハビリ プランの管理
- 従業員の健康診断結果の管理

保険事故請求の管理

このセクションでは、保険事故請求の管理とレポート、および、以下の項目について説明します。

- 請求の開始
- 請求詳細の入力
- 保険事故請求額の管理
- 請求支払情報の入力
- 取扱機関データの入力

保険事故請求の管理について

請求の開始コンポーネントを使って、各自のステータスの詳細と復職能力の査定結果を入力し、請求中にかかる直接および間接の費用を追跡します。この情報は、政府または保険会社に提出します。

保険事故データの前に、請求データを作成しなければならない場合もあります。たとえば、会社に対して実際に保険事故請求が行われるまで、その保険事故についての情報を持っていないことがあります。その場合は、まず保険事故請求データを作成します。後にその保険事故の詳細情報を入手した時点で情報をヒューマン リソース管理に入力し、請求の開始コンポーネントに保険事故番号を入力することで、その請求情報と保険事故を関連付けることができます。

注: ブリティッシュ コロンビア州のユーザーで、保険事故の情報をブリティッシュ コロンビア州労働基準局 (BC WCB) に電子ファイルで報告する場合には、[危険事象] タイプ以外の全ての保険事故結果について、請求の開始コンポーネントで請求情報を入力する必要があります。

保険事故請求レポート

以下の保険事故請求レポートを作成できます。

- OHS015 保険事故請求の詳細レポート
- OHS012 保険事故請求サマリ レポート

関連項目:

PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「PeopleSoft Enterprise HRMS アプリケーションの基礎のレポート群」、「安全衛生モニター管理レポート」

保険事故請求の管理に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
請求内容	HS_CLAIM_MGMT1	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[保険事故情報の取得]、[請求の開始]、[請求詳細]	保険事故請求の処理を開始します。
請求詳細 - 申立詳細	HS_CLAIM_APPL_SEC	請求詳細ページの [不服申立データ] リンクをクリックします。	不服申立の詳細を入力します。
請求額	HS_CLAIM_MGMT2	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[保険事故情報の取得]、[請求の開始]、[請求額]	保険事故請求に関する費用を管理します。1 回の治療や、長期にわたる複数回の治療のための費用が含まれます。
取扱機関	HS_CLAIM_MGMT3	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[保険事故情報の取得]、[請求の開始]、[取扱機関]	取扱機関に関するデータ、査定日、処理内容を入力します。
支払と入金	HS_CST_IND_SEC	“請求の開始” の請求額ページにある [インド] セクションで [請求支払詳細] リンクをクリックします。	請求支払に関する特定情報を入力します。
担当者の勤務先住所	HS_CM3CAN_SEC	取扱機関ページの [カナダ] セクションで [担当者住所] リンクをクリックします。	(カナダ機能) 保険事故請求の担当者住所の詳細を追加入力します。

請求の開始

請求詳細ページにアクセスします。

請求詳細	請求額	取扱機関
請求番号:	00094000	
*開始日:	2000/06/24	請求処理状況 <input checked="" type="radio"/> 保留 <input type="radio"/> 承認済 <input type="radio"/> 却下 <input type="radio"/> 取消
終了日:		
申請者		
従業員 ID:	KC0005 Catherine Moore	
保険事故データ		
保険事故番号:	00000011	発生日: 2000/06/15
保険事故タイプ:	事件	
所在地コード:	KCBC00 Vancouver Branch	
州:	BC フリティアッシュ コロンビア	
国:	CAN カナダ	
<input type="checkbox"/> 調査対象 不服申立データ		
▼ カナダ WCB 請求番号: <input type="text" value="22345"/>		

請求詳細ページ (1/2)

▼ フランス 請求者: <input type="text"/> 被請求者: <input type="text"/>	
▼ アメリカ 申立番号: 申立日:	
▼ インド 医療機関の認定 <input type="checkbox"/> 認定済 認定日: <input type="text"/>	
扶養家族の請求 扶養家族 ID: <input type="text"/> 続柄:	

請求詳細ページ (2/2)

警告: 請求番号が重複して作成されてしまわないように、採番方法を常に手動または自動のどちらかの方法に統一してください。

自動採番を選択すると、請求番号は初め“00000000”と表示されますが、請求の開始コンポーネントで情報を保存すると、その請求に対して割り当てられた実際の番号が表示されます。割り当て済みの最新の請求番号は、インストール テーブルに保存されます。

[請求処理状況]	請求ステータスとして [保留]、[承認済]、[却下]、[取消] のいずれかを選択します。
[開始日]	請求が開始された日付が表示されます。デフォルトは現在日付ですが、必要に応じて変更できます。
[終了日]	請求に対する処理が完了した日付を入力します。
[申請者]	申請者の従業員 ID、または非従業員 ID を選択します。
[調査対象]	請求が調査されている場合、[調査対象] チェック ボックスをオンにします。
[保険事故データ]	
[保険事故番号]	<p>この請求に関連付ける保険事故番号を選択します。選択肢には、この申請者が関わる保険事故だけが含まれます。保険事故番号を入力すると、[発生日]、[保険事故タイプ]、[所在地コード]、[都道府県/州]、および [国] の各フィールドの値がページ上に表示されます。</p> <p>最初に請求データを作成する際には、保険事故番号を入力しなくてもかまいません。ただし、保険事故データを追加して情報を保存してからでないと、請求処理状況を [承認済] に変更できません。</p>
[不服申立データ]	請求に対する処置に不服の申し立てがあった場合は、[不服申立データ] をクリックして申立詳細ページにアクセスします。

注: ブリティッシュ コロンビア州のユーザーで、保険事故の情報を BC WCB に電子ファイルで報告する場合には、危険事象タイプ以外の全ての保険事故の結果について [開始日]、[申請者]、[保険事故番号] の各フィールドにデータを入力する必要があります。

(CAN) [カナダ]

[WCB 請求番号] 労働基準局 (WCB) 請求番号を入力します。

(FRA) [フランス]

[請求者] 請求者タイプを選択します。

[被請求者] 被請求者のタイプを選択します。

(USA) [アメリカ]

[申立番号] この請求が、公的レポート ページの [アメリカ] セクションで既に OSHA 申立番号と申立日を割り当てた保険事故に関するものである場合、その申立番号と申立日が表示専用モードでこのページに表示されます。

(IND) [インド]

[認定済] 請求が医療機関によって認定されている場合、[認定済] チェック ボックスをオンにします。

[認定日] 認定日を入力します。

[扶養家族 ID] 扶養家族の請求に対して、扶養家族 ID を選択します。選択すると、[続柄] フィールドに値が自動的に入力されます。

請求詳細の入力

請求詳細 - 申立詳細ページにアクセスします。

申立詳細	
請求日:	<input type="text"/> 31
処理再開日:	<input type="text"/> 31
請求者:	該当なし

請求詳細 - 申立詳細ページ

[請求日] 申し立てが正式に申請された日付を入力します。

[処理再開日] 申し立てが再開された日付を入力します。

[請求者] 申し立ての申請者を有効値から選択します。

保険事故請求額の管理

請求額ページにアクセスします。

請求詳細

請求額

取扱機関

請求番号:

00094000

保険事故番号:

00000011

発生日:

2000/06/15

請求処理状況:

保留

開始日:

2000/06/24

終了日:

従業員 ID:

KC0005

Catherine Moore

請求額

検索 | 全件表示

最初

1/1

最後

請求額合計:

275.45

USD

+ -

*請求種別:

医療費

請求内容

加算マイズ | 検索 | 全件表示 |

最初

1/1

最後

	*請求日	請求額	*通貨		
1	2000/06/15	350.00	CAD	+ -	

合計:

275.45USD

インド

[請求支払詳細](#)

請求額ページ

- [請求額]

[請求額合計]

[請求種別]

[請求内容]

[請求日]

[請求額]

[合計]
- 保険事故請求に対する請求額合計（全種別の全費用）が、ユーザー基本設定テーブルで現在のユーザー ID に対して指定した通貨で表示されます。ユーザー基本設定テーブルで現在のユーザー ID に対して換算先通貨が指定されていない場合、インストール テーブルで指定した基本通貨が使われます。（[通貨] および [合計] フィールドについても同様です。）

[医療費]、[その他費用]、または [賃金損失] の中から 1 つ選択します。請求種別を追加するには、データ行を追加します。

この保険事故請求の請求日を入力します。

請求額を入力します。新しいデータ行を追加すれば、各種別について請求額を複数入力できます。

この請求種別の合計費用が表示されます。表示には、ユーザー基本設定テーブルで現在のユーザー ID に対して指定されている通貨が使用されます。
- 116

Copyright © 1988 – 2006, Oracle. All rights reserved.

(IND) [インド]

[請求支払詳細] リンクをクリックして、“支払と入金” ページにアクセスし、請求額についての詳細を入力します。

請求支払情報の入力

“支払と入金” ページにアクセスします。

“支払と入金” ページ

- [支払タイプ]** 支払タイプを [前払]、[請求入金]、[請求支払]、[仮払] から選択します。
- [支払日]** 支払日を入力します。
- [支払額]** 支払額を入力します。
- [受取人タイプ]** 支払いの受取人タイプを [従業員]、[非従業員]、[扶養家族] から選択します。選択したら、従業員、非従業員、または扶養家族の ID を選択します。
[扶養家族] を選択すると、[続柄] が表示されます。
- [コメント]** 支払いに関するコメントをオプションで入力します。

取扱機関データの入力

取扱機関ページにアクセスします。

請求詳細	請求額	取扱機関
請求番号:	00094000	
保険事故番号:	00000011	発生日: 2000/06/15
開始日:	2000/06/24	請求処理状況: 保留
従業員 ID:	KC0005	Catherine Moore
担当者:	KC0009	Stephanie A Mills
取扱機関の請求処理番号:	22346	取扱機関名: Pacific Blue Cross
処理担当者:	Check, Sam	
電話番号:	604 555 9384	
査定日:	2000/06/15	処理内容: 制限付で職場復帰可能
コメント:	Employee has bad back	
▼  カナダ		
担当者住所		

取扱機関ページ (1/2)

▼  インド			
請求申立日:	2005/05/31	請求金額:	<input type="text"/>
請求受領日:	<input type="text"/>	受領金額:	<input type="text"/>
		未承認金額:	<input type="text"/>
コメント:	<input type="text"/>		

取扱機関ページ (2/2)

[担当者] 社内に担当者がある場合は、担当者の従業員 ID を選択します。有効値は個人情報コンポーネントで設定されます。

[取扱機関の請求処理番号] 番号がわかっている場合は入力します。

取扱機関には、カナダの労働基準局 (WCB) などの官公庁や民間の保険会社などがあります。

[取扱機関名] 取扱機関名を入力します。

[処理担当者] 請求処理担当者の名前を入力します。

[査定日] 査定日を入力します。

[処理内容] 有効オプション値のリストから、請求の処理内容を選択します。

注: (CAN) ブリティッシュ コロンビア州のユーザーで、保険事故の情報を BC WCB に電子ファイルで報告する場合には、危険事象タイプ以外の全ての保険事故の結果について [担当者] フィールドにデータを入力する必要があります。[担当者住所] リンクをクリックして、“担当者の勤務先住所” ページにアクセスします。

(IND) [インド]

[請求申立日]	請求の申立日を入力します。
[請求金額]	請求金額を入力します。
[請求受領日]	請求が取扱機関によって受領された日付を入力します。
[受領金額]	金額が受領された日付を入力します。
[未承認金額]	金額が未承認の場合は、ここにその金額を入力します。
[コメント]	オプションでコメントを入力します。

リハビリ プランの管理

このセクションでは、以下の方法について説明します。

- 傷病事故のリハビリ プランへの関連付け
- 業務制限と業務変更の管理
- リハビリ措置詳細の管理
- 従業員業務制限サマリの表示

従業員や非従業員が負傷した場合や傷病請求が申請された場合に、リハビリ プランを作成します。従業員リハビリ プラン作成コンポーネントを使用すると、傷病事故に関連付けられている従業員に対してのみリハビリ プランを管理できます。非従業員リハビリ プラン作成コンポーネントを使用すると、傷病事故に関連付けられている非従業員に対してのみリハビリ プランを管理できます。リハビリ プランの情報は、特に官公庁に提出するレポートの作成や保険事故の手続きに役立ちます。

注: リハビリ プランのためのページの形式と使い方は、従業員用も非従業員用も同じです。

リハビリ プランの管理に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
保険事故請求	HS_INJ_REHAB1	<ul style="list-style-type: none"> • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[保険事故情報の取得]、[従業員リハビリプラン作成]、[保険事故請求] • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[保険事故情報の取得]、[非従業員リハビリプラン作成]、[保険事故請求] 	従業員または非従業員について、保険事故や請求の主要データをリハビリプラン詳細に関連付けます。
業務制限	HS_INJ_REHAB2	<ul style="list-style-type: none"> • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[保険事故情報の取得]、[従業員リハビリプラン作成]、[業務制限] • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[保険事故情報の取得]、[非従業員リハビリプラン作成]、[業務制限] 	リハビリプランに含まれる、従業員または非従業員の作業制限や業務内容変更を管理します。
措置	HS_INJ_REHAB3	<ul style="list-style-type: none"> • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[保険事故情報の取得]、[従業員リハビリプラン作成]、[措置] • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[保険事故情報の取得]、[非従業員リハビリプラン作成]、[措置] 	リハビリプランで実行する措置の詳細を管理します。
従業員業務制限サマリ	HR_WORK_RESTR_SUM	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[従業員業務制限サマリ]、[従業員業務制限サマリ]	有効かつ現在の業務制限サマリを従業員別にリストします。

傷病事故のリハビリ プランへの関連付け

保険事故請求ページにアクセスします。

保険事故請求(C)		業務制限(R)		措置(A)	
従業員 ID:	KC0005	Catherine Moore	雇用コード番号:	0	
保険事故番号:	00000011	発生日:	2000/06/15		
保険事故タイプ:	事件	法定区域:	CANBC		
傷病前の最終勤務日:	<input type="text"/>	31	復職日:	<input type="text"/>	31

請求内容		検索 全件表示		最初 1/1 最後	
請求番号:	00094000	開始日:	2000/06/24		
*請求処理状況:	保留	終了日:	<input type="text"/>		
取扱機関の請求処理番号:	22346	Pacific Blue Cross			
査定日:	2000/06/15	31			
処理内容:	制限付で職場復帰可能				

保険事故請求ページ

対象者が被った各保険事故について、傷病前の最終勤務日と保険事故請求の情報を入力することができます。

[傷病前の最終勤務日] 対象者が、傷病を負う前に最後に勤務した日の日付を入力します。

[復職日] 対象者が復職した日付を入力します。

[請求内容]

保険事故が既に申請されている場合は、“請求の開始” ページで入力した情報が表示されます。情報が登録されていない場合、この保険事故と関連付ける各請求について情報を入力します。最も重要なデータは、[査定日] フィールドと[処理内容] フィールドです。請求の提出先である官公庁または保険取扱機関は、この情報をリハビリ プランの詳細情報と共に使用します。

[終了日] 請求の終了日を入力します。

[請求処理状況] 有効なオプションのリストから値を選択します。

[取扱機関の請求処理番号] 取扱機関の請求処理番号を入力します。

[査定日] 査定日を入力します。

[処理内容] 有効なオプションのリストから値を選択します。

業務制限と業務変更の管理

業務制限ページにアクセスします。

保険事故請求(C)		業務制限(R)		措置(A)	
従業員 ID:	KC0005	Catherine Moore		雇用コード* 番号:	0
保険事故番号:	00000011	発生日:	2000/06/15	保険事故タイプ:	事件
業務制限 <div>検索 全件表示</div> <div>最初 1/1 最後</div> <div>開始日: [] 終了日: []</div>					
業務変更 <div>検索 全件表示</div> <div>最初 1/1 最後</div> <div>開始日: [] 終了日: []</div>					

業務制限ページ

[業務制限] 傷病の結果、対象者が受ける業務制限のコードを選択します。コードは、コードと有効日 - 業務制限項目テーブル ページで作成します。

[業務変更] 傷病の結果、対象者が受ける業務変更のコードを選択します。コードは、業務内容変更テーブル ページを使用して作成します。

[開始日]、[終了日] 各業務変更が適用される期間の開始日と終了日を入力します。

リハビリ措置詳細の管理

措置ページにアクセスします。

保険事故請求(C)		業務制限(R)		措置(A)	
従業員 ID:	KC0005	Catherine Moore		雇用コード* 番号:	0
保険事故番号:	00000011	発生日:	2000/06/15	保険事故タイプ:	事件
リハビリ プラン <div>検索 全件表示</div> <div>最初 1/1 最後</div>					
*措置連番:	1	措置タイプ:	[]		
責任者の従業員 ID:	[]				
医師:	[]				
取扱機関:	[]				
診断結果コード:	[]				
*措置ステータス:	推奨	終了予定日:	[]		
		終了日:	[]		
改善措置詳細:	[]				

措置ページ

[措置連番]	各データ行に順に措置連番が割り当てられます。
[措置タイプ]	有効なオプションのリストから措置タイプを選択します。
[責任者の従業員 ID]	リハビリ プランを管理している担当者が社内にいる場合は、その担当者の従業員 ID を直接入力するか、リストから選択します。有効値は個人情報コンポーネントで設定されます。
[医師]	有効なオプションのリストから値を選択します。値は医師テーブルから取得されます。医師テーブルにある医師を選択しない場合は、医師名を右のフィールドに直接入力します。
[取扱機関]	取扱機関の名称を入力します。
[診断結果コード]	この措置での診断のタイプを選択します。値は、診断結果テーブル ページを使用して作成します。
[措置ステータス]	実際の終了日も変更する場合は、措置ステータスを変更します。
[終了予定日]	措置の終了予定日を入力します。
[終了日]	措置が完了したら、実際の終了日を入力します。

従業員業務制限サマリの表示

従業員業務制限サマリ ページにアクセスします。

従業員業務制限サマリ

指定日 

業務制限							
従業員 ID	名前	業務制限コード	名称	制限終了日	保険事故番号	発生日	詳細
1							詳細

従業員業務制限サマリ ページ

従業員健康診断結果の管理

このセクションでは、健康診断結果の管理で使用する共通フィールドと以下の方法について説明します。

- 健康診断情報の入力
- 健康診断結果の入力
- 聴力検査詳細の入力
- 視力検査詳細の入力
- 呼吸器官検査詳細の入力
- 薬物検査情報の設定
- 検査結果と紹介先の入力

会社の従業員は、さまざまな理由で健康診断を受けるよう義務付けられています。

検診結果を管理することによって、作業環境や担当職務により職業病のリスクにさらされている従業員の健康に注意し、職業病を予防することができます。また、検診結果を使用して、リスク要因の管理や傾向の分析ができ、またワークグループどうしを比較することで、作業環境を管理できます。さらに、この情報を使用して予防措置のヘルスケア プログラムを作成し、業務による健康の問題について従業員を指導します。

この情報は、従業員についてのみ管理します。

健康診断結果の管理に使用する共通フィールド

基本検査

基本検査の場合は、[基本検査] チェック ボックスをオンにします。

紹介先

有効なオプション値のリストから医師の紹介先コードを選択するか、紹介先を直接入力します。

健康診断結果の管理に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
健康診断 - 住所/電話番号	HS_EXAM_PHYSICAL1	<ul style="list-style-type: none"> • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[健康診断結果の記録]、[健康診断]、[住所/電話番号] • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[健康診断結果の記録]、[健康保険証情報の確認]、[健康診断 1] 	健康診断の検査日と検査タイプを入力し、次の検査日を指定します。また、医師情報を入力します。
健康診断 - 検査結果	HS_EXAM_PHYSICAL2	<ul style="list-style-type: none"> • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[健康診断結果の記録]、[健康診断]、[検査結果] • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[健康診断結果の記録]、[健康保険証情報の確認]、[健康診断 2] 	健康診断の検査結果を管理します。
聴力検査 - 住所/電話番号	HS_EXAM_AUDIO1	<ul style="list-style-type: none"> • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[健康診断結果の記録]、[聴力検査]、[住所/電話番号] • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[健康診断結果の記録]、[健康保険証情報の確認]、[聴力検査 1] 	聴力検査の検査結果、紹介先、コメントを管理します。聴力検査の検査日と検査タイプを入力し、次の検査日を指定します。また、医師情報を入力します。

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
聴力検査 - 検査結果	HS_EXAM_AUDIO2	<ul style="list-style-type: none"> • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[健康診断結果の記録]、[聴力検査]、[検査結果] • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[健康診断結果の記録]、[健康保険証情報の確認]、[聴力検査 2] 	聴力検査の検査結果を管理します。
視力検査 - 検査結果	HS_EXAM_EYE2	<ul style="list-style-type: none"> • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[健康診断結果の記録]、[視力検査]、[検査結果] • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[健康診断結果の記録]、[健康保険証情報の確認]、[視力検査 2] 	視力検査の検査日と検査タイプを入力し、次回の検査日を指定します。また、医師情報を入力します。
視力検査 - 住所/電話番号	HS_EXAM_EYE1	<ul style="list-style-type: none"> • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[健康診断結果の記録]、[視力検査]、[住所/電話番号] • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[健康診断結果の記録]、[健康保険証情報の確認]、[視力検査 1] 	視力検査の検査日と検査タイプを入力し、次回の検査日を指定します。また、医師情報を入力します。
呼吸器官検査 - 検査結果	HS_EXAM_RESPIRE2	<ul style="list-style-type: none"> • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[健康診断結果の記録]、[健康保険証情報の確認]、[呼吸器官検査 2] • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[健康診断結果の記録]、[呼吸器官検査]、[検査結果] 	呼吸器官検査の検査日と検査タイプを入力し、次回の検査日を指定します。また、医師情報を入力します。
呼吸器官 - 住所/電話番号	HS_EXAM_RESPIRE1	<ul style="list-style-type: none"> • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[健康診断結果の記録]、[健康保険証情報の確認]、[呼吸器官検査 1] • [職場環境管理]、[安全衛生管理]、[健康診断結果の記録]、[呼吸器官検査]、[住所/電話番号] 	呼吸器官検査の検査日と検査タイプを入力し、次回の検査日を指定します。また、医師情報を入力します。

健康診断情報の入力

健康診断 - 住所/電話番号ページにアクセスします。

住所/電話番号

検査結果

Douglas Lewis
個人 ID: KU0001

健康診断データ

検索 | 全件表示

最初 1/1 最後

*検査日:

2007/04/01

*検査タイプ:

次回検査:

医師 ID:

国:

USA

アメリカ

住所:

住所編集

電話番号:

▼ フランス

医療組織コード:

健康診断 - 住所/電話番号ページ

注: 健康診断、聴力検査、視力検査、および呼吸器官検査の住所/電話番号ページの内容は同じです。以下の情報は、全ての住所/電話番号ページに当てはまります。

- [検査日]** 検査日を入力します。デフォルトは現在の日付です。これは、必要に応じて上書きできます。検診結果データ行は検査日順にソートされます。
- [検査タイプ]** 有効値からオプションを選択します。
- [次回検査]** 指定した検査タイプの次回検査日が、デフォルトで表示されます。実際の日付と異なる場合は、デフォルトを上書きできます。
- [年次検診]: 次回検査は 1 年後です。
 - [汚染検査]: 次回検査は 6 週間後です。
 - [定期検診]: 次回検査は 6 か月後です。
- [医師 ID]** 医師テーブルの有効値から選択します。
- 医師 ID を選択すると、医師テーブルに保存された医師の住所情報が自動的に住所欄に入力されます。この住所は編集可能です。
- [住所編集]** 住所を入力または修正する場合は、[住所編集] リンクをクリックします。国テーブルで事前に設定された標準フォーマットで、該当する住所フィールドが表示されます。

(FRA) [フランス]

[医療組織コード] 健康診断を行った医療組織を選択します。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「PeopleSoft Enterprise HRMS の設定とインストール」、「国コードの管理」

健康診断結果の入力

健康診断 - 検査結果ページにアクセスします。

住所/電話番号		検査結果	
Douglas Lewis		個人 ID:	KU0001
<div>健康診断詳細</div> <div>検索 全件表示 最初 1/1 最後</div>			
検査日:	2007/04/01		
<input type="checkbox"/> 基本検査			
<input type="checkbox"/> 臓器提供者			
<input type="checkbox"/> 血液提供者			
*血液型:	不明		
紹介先:			
コメント:			
<div>▼ ドイツ</div>			
検査結果			
	雇用レポート No.	結果	
1	0		

健康診断 - 検査結果ページ (1/2)

▼ フランス

検査時間

検査日: 次回検査日: タイムゾーン: PST

業務遂行力

☒ 通常勤務可能 ☐ 制限勤務可能 ☐ 勤務不可能

法定区域: 🔍

業務制限 カスタマイズ 🔍 検索 | 全件表示 | 📅 最初 1/1 最後

	開始日	終了日
<input type="text"/> 🔍	<input type="text"/> 📅	<input type="text"/> 📅

業務変更 カスタマイズ 🔍 検索 | 全件表示 | 📅 最初 1/1 最後

	開始日	終了日
<input type="text"/> 🔍	<input type="text"/> 📅	<input type="text"/> 📅

▼ フランス公的機関

障害日数:

健康診断 - 検査結果ページ (2/2)

ページ上部に、従業員名と従業員 ID が表示されます。

[臓器提供者] 従業員が臓器提供者の場合は、[臓器提供者] チェック ボックスをオンにします。

[血液提供者] 従業員が血液提供者の場合は、[血液提供者] チェック ボックスをオンにします。

[血液型] 有効なオプションのリストから値を選択します。

(FRA) [フランス]

[検査日] 今回検査の時間を入力します。

[次回検査日] 次回検査の時間を入力します。

[業務遂行力] 従業員の職務遂行力についての情報を入力するには、[通常勤務可能]、[制限勤務可能]、[勤務不可能] の中で該当するオプション ボタンをクリックします。

[法定区域] 従業員の勤務地の法定区域を入力します。法定区域テーブルの有効値から選択します。

[業務変更] 業務変更テーブルの有効値オプションから業務変更内容を選択します。次に、業務変更が適用される期間の [開始日] と [終了日] を入力します。

[業務制限] 業務制限テーブルの有効値オプションから、業務制限内容を選択します。次に、業務制限が適用される期間の [開始日] と [終了日] を入力します。

(DEU) [ドイツ]

[雇用レコード No.],[結果] 入力する各雇用レコード番号に対して、有効な値のリストから値を選択して検査結果を入力します。

聴力検査詳細の入力

聴力検査 - 検査結果ページにアクセスします。

住所/電話番号

検査結果

Douglas Lewis

個人 ID: KU0001

検査情報

検索 | 全件表示

最初 1/1 最後

検査日: 2007/04/01

聴力計測番号:

検査タイプ: ☐ 基本検査

左耳

	250	500	1K	2K	3K	4K	5K	6K	7K	8K
デシベル:	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
問題あり	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

右耳

デシベル:	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
問題あり	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

聴力レベル:

紹介先:

コメント:

聴力検査 - 検査結果ページ

[デシベル] 従業員が聴き取れないデシベル値を、右耳、左耳についてそれぞれ入力します。

[問題あり] 問題のあったデシベルについて、[問題あり] チェック ボックスをオンにします。

[聴力レベル] 聴力レベルを選択します。

視力検査詳細の入力

視力検査 - 検査結果ページにアクセスします。

住所/電話番号		検査結果																			
Douglas Lewis		個人 ID: KU0001																			
<div>検査情報</div> <div>検索 全件表示 最初 1/1 最後</div>																					
検査日: 2007/04/01		検査タイプ: + -																			
<div>遠視</div> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>左</th> <th>右</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>矯正:</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>非矯正:</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>			左	右	矯正:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	非矯正:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<div>近視</div> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>左</th> <th>右</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>矯正:</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>非矯正:</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>			左	右	矯正:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	非矯正:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	左	右																			
矯正:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																			
非矯正:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																			
	左	右																			
矯正:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																			
非矯正:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																			
<input type="checkbox"/> 基本検査 <input type="checkbox"/> 矯正必要 紹介先: <input type="text"/>		<div>色覚</div> <input checked="" type="radio"/> 正常 <input type="radio"/> 異常																			
コメント: <input type="text"/>																					

視力検査 - 検査結果ページ

- [遠視]、[近視]** 左目と右目の検査結果を、矯正および非矯正の両方について入力します。
- [矯正必要]** 検査の結果、この従業員に眼鏡などの視力矯正が必要な場合は、[矯正必要] チェック ボックスをオンにします。
- [色覚]** 検査を受けた従業員の色覚が正常か異常かを表します。

呼吸器官検査詳細の入力

呼吸器官検査 - 検査結果ページにアクセスします。

住所/電話番号		検査結果	
Douglas Lewis		個人 ID: KU0001	
<div>検査情報</div> <div>検索 全件表示 最初 1/1 最後</div>			
<input type="checkbox"/> 喫煙者			
検査日:	2007/04/02	検査タイプ:	<input type="checkbox"/> 基本検査
汚染日:	<input type="text"/>		
汚染タイプ:	<input type="text"/>		
汚染物質:	<input type="text"/>		
ビジネス ユニット:	GBIBU	Global Business Institute BU	
所在地コード:	<input type="text"/>		
紹介先:	<input type="text"/>		
コメント:	<input type="text"/>		

呼吸器官検査 - 検査結果ページ

[喫煙者]	従業員の喫煙履歴の情報は個人情報の一部であるため、このチェック ボックスはここでは使用できません。従業員が喫煙者ではない場合、チェック ボックスはオフになっています。チェック ボックスがオンの場合、従業員が喫煙者であることを示します。
[汚染日]	該当する場合、汚染日を入力します。
[汚染タイプ]	該当する場合、有効な値のリストから値を選択します。
[汚染物質]	該当する場合、有効な値のリストから値を選択します。
[ビジネス ユニット]	従業員の勤務地のビジネス ユニットを選択します。ビジネス ユニットは、ビジネス ユニット テーブルで定義します。該当する名称が自動的に表示されます。
[所在地コード]	従業員の勤務地の所在地コードを選択します。所在地コードは所在地コード テーブルで定義します。該当する名称が自動的に表示されます。

第 7 章

(BRA) ブラジルの安全衛生管理レポートの実行

この章では、以下の内容について説明します。

- ブラジルの業務リスク レポートの実行
- ブラジルの PPP レポートの実行

関連項目:

PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「PeopleSoft Enterprise HRMS アプリケーションの基礎のレポート群」、「(BRA) ブラジル法定提出書類用レポート」

ブラジルの業務リスク レポートの実行

このセクションでは、ブラジルの業務リスク レポートの実行方法について説明します。

ブラジルの業務リスク レポートの実行に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
CAT レポート BRA	CATRC_INCIDENT_BRA	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[レポート]、[CAT レポート BRA]	事業所 ID、部門 ID、従業員、保険事故 ID 別に業務リスクをモニターします。

ブラジルの業務リスク レポートの実行

CAT レポート BRA ページにアクセスします。

CAT レポート BRA

ラン コントロール ID: PS

レポート マネージャ

プロセス モニター

実行

パラメータ

*会社コード:

KYS

Compañía de Servicios

*部数:

1

開始日:

2006/01/01

終了日:

2006/09/30

発行データ

発行者:

組合

*日付

2006/09/08

*発生場所:

選択条件

☐ 事業所 ID を選択

☒ 部門 ID を選択

☐ 従業員を選択

☐ 保険事故 ID を選択

☐ 除外データ

部門データ

*セットID

KRSII

*部門

ALL_DEPTS

検索

最初

1/1

最後

CAT レポート BRA ページ

ページに表示される各フィールドで適切な値を選択します。ページの下部には、[選択条件] グループ ボックスで選択したオプションによって異なるフィールド セットが表示されます。

ブラジルの PPP レポートの実行

このセクションでは、ブラジルの PPP レポートの実行方法について説明します。

ブラジルの PPP レポートの実行に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
PPP レポート BRA	PPP_RC_BRA	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[レポート]、[PPP レポート BRA]	事業所 ID、部門 ID、グループ ID、または従業員別にプロファイル情報をシステムに追加します。

ブラジルの PPP レポートの実行

PPP レポート BRA ページにアクセスします。

PPP レポート BRA

ラン コントロール ID: PS

[レポート マネージャ](#)
[プロセス モニター](#)

実行

パラメータ

*会社コード: KYS Compañía de Servicios

*開始日: 2006/01/01

*終了日: 2006/09/30

*発行日: 2006/09/08

*パラメータ ID:

*PPP 責任者: AA0001 Kimberly Adams

PPP 異動区分/理由

*異動区分

詳細説明

*異動理由

名称

FSC		CHL	新規扶養家族		
-----	--	-----	--------	--	--

審査オプション

☐ 審査なし
☒ 審査の出力
☐ 審査上書き

選択条件

☐ 事業所 ID を選択
☒ 部門 ID を選択
☐ グループ ID を選択
☐ 従業員を選択

部門データ

セットID: KRSII

部門 ID: ALL_DEPTS

検索

全件表示

最初

1/1

最後

PPP レポート BRA ページ

ページに表示される各フィールドで適切な値を選択します。ページの下部には、[選択条件] グループ ボックスに表示されるオプションによって異なるフィールド セットが表示されます。

[審査上書き] オプションを選択すると、[詳細説明] フィールドが表示されます。このフィールドを使って、審査を上書きする理由を記載します。

第 8 章

(CAN) 労働基準局 (WCB) へのレポート

この章では、ブリティッシュ コロンビア州労働基準局 (BC WCB) へ電子的に提出するレポートの概要、および、WCB EDI レポート作成でのデータの処理方法について説明します。

ブリティッシュ コロンビア州労働基準局 (BC WCB) の 電子レポート システムについて

ブリティッシュ コロンビア州労働基準局 (BC WCB) では、事故や傷病に関するレポートを電子的に提出できます。ヒューマン リソース管理を使って、ブリティッシュ コロンビア州での業務について、この電子提出用のレポートを作成できます。

電子レポート提出の承認取得

以下の処理を行うには、管轄の WCB オフィスから事前に承認を得る必要があります。

- 電子レポートの提出
- レポート作成用の特定の電子メールシステムの使用
- ヒューマン リソース管理の電子レポート作成機能を使った WCB レポート作成

レポート データの編集

BC WCB は、提出するレポートについて編集とチェックの作業を入念に行い、記入漏れや間違いがなく、WCB のメイン フレーム システムの形式に準拠していることを確認するように要求しています。記入漏れのあるファイルを WCB に提出すると、追加情報が必要となってしまうファイルが返却されます。

このため、ヒューマン リソース管理には編集チェックと警告の機能が組み込まれています。警告に従い入力を進めていけば、BC WCB へ送信したレポート ファイルが返却される可能性を減らすことができます。

ただ、BC WCB のメインフレーム コンピュータでは、ヒューマン リソース管理ではチェックが及ばない項目についてもチェックします。たとえば、BC WCB のシステムは、関連する郵便番号と住所が正確な組み合わせであるかどうかを識別します。住所は正確であるのに郵便番号が間違っている住所情報を送信した場合、エラーになり、提出したレポート ファイルは却下されます。多くの場合、レポート ファイルを修正し、BC WCB に再提出することで問題を解決できます。

保険事故結果に基づく WCB レポートについて

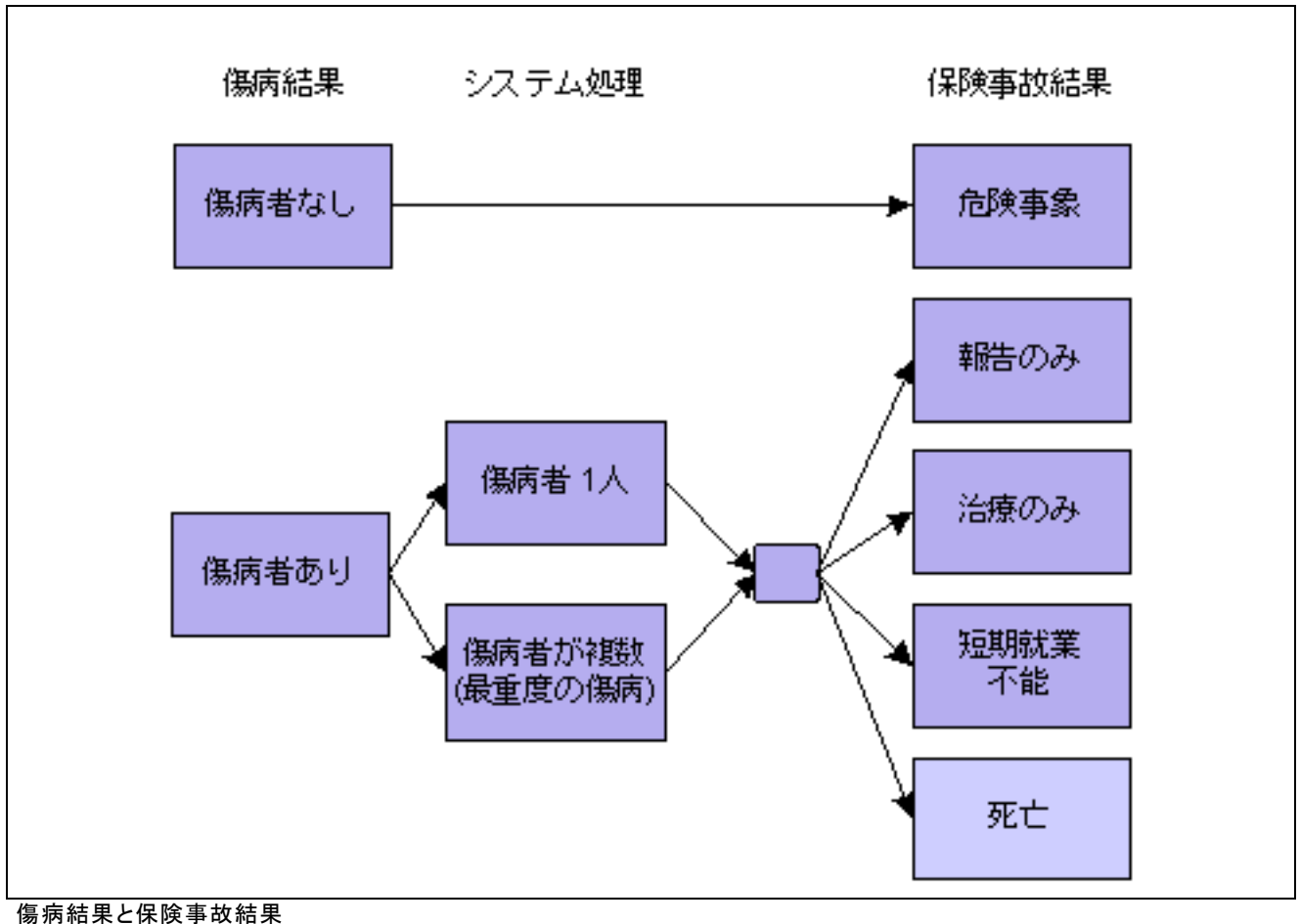
BC WCB では、保険事故の結果は、5 種類に分類されます。以下の表に、軽度のものから順に保険事故の結果を示します。

保険事故結果	定義
危険事象	最も軽度の保険事故結果。傷病を負った従業員はいないが、将来深刻な傷病をもたらす可能性がある保険事故。傷病の情報ではなく保険事故の情報をレポートのページに入力します。
報告のみ	1 人以上の従業員が傷病を負っているが、治療や休職の必要がない保険事故。従業員が応急処置を受けている場合、受けていない場合の両方が含まれます。このタイプの保険事故は、事業主の自発的意志や従業員の要求により報告されます。
治療のみ	1 人以上の従業員が傷病を負っており、1 人以上の従業員に医師による処置が施されているが、休職の必要がない保険事故。従業員が応急処置を受けている場合、受けていない場合の両方が含まれます。
短期就業不能	1 人以上の従業員が傷病を負っており、1 人以上の従業員に医師による処置が施されているが、休職が必要とされる保険事故。従業員が応急処置を受けている場合、受けていない場合の両方が含まれます。
死亡	1 人以上の従業員が傷病を負っており、そのうち 1 人以上の従業員が死亡している保険事故。応急処置、および医師による治療の両方が含まれます。

一般に、保険事故結果が重度になるほど、BC WCB に報告しなければならない情報が増えます。保険事故に必要な情報量が増えると、WCB のメインフレーム システムが実行するチェック処理が増えるので、ヒューマン リソース管理でのチェックや警告の数も増えます。このため、ある 1 つの情報を PeopleSoft のシステムに入力すると、他のさまざまな情報を入力するように求められる場合もあります。

危険事象は、傷病者が発生しない保険事故だけに限られます。その他の保険事故結果は、傷病者が発生した保険事故であり、対応する傷病結果が存在します。WCB の保険事故レポートでは、傷病を負った従業員が 1 人だけの場合は、その従業員の傷病結果により保険事故結果のカテゴリや重度が決まります。複数の従業員が傷病を負った場合、保険事故結果は、それら従業員の中で最も重度の傷病結果により自動的に決まります。

傷病結果から保険事故結果を導く方法を次の図に示します。



ブリティッシュ コロンビア州労働基準局 (BC WCB) への EDI レポート用のデータ処理

このセクションでは、レポートを電子的に提出する準備の概要と以下の方法について説明します。

- WCB レポートのためのデータ入力
- WCB レポートのための EDI ファイル作成

レポート送信の事前設定

ヒューマン リソース管理を使って作成する EDI レポートは、BC WCB による要件を満たしており、傷病、応急処置、事故という 3 種類の WCB レポートに必要な情報が全て記載されるように構成されています。必要な承認を取得していれば、EDI ファイルを作成して管轄の WCB オフィスに電子メールでファイルを送信できます。

レポートを電子的に送信するには、以下の準備作業を行います。

1. 必要なデータの入力
2. WCB EDI データ収集プロセス (OHS501BC) の実行

3. WCB EDI ファイル作成プロセス (OHS701BC) の実行

WCB EDI レポートのためのデータ処理に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
WCB EDI データ収集	RUNCTL_OHS501BC	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[安全衛生データの収集]、[WCB EDI データ CAN]、[WCB EDI データ収集]	WCB 電子レポートの作成に必要なデータを入力します。
WCB EDI ファイルの作成 CAN-プロセスランコントロール	PRCSRUNCNTL	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[安全衛生データの収集]、[WCB EDI ファイルの作成 CAN]、[WCB EDI ファイルの作成 CAN]	管轄の BC WCB オフィスに提出するための EDI データファイルを作成します。

WCB レポートのためのデータ入力

実際に使用することのできる EDI ファイルを作成するには、入念かつ不備のないデータ入力が必要です。通常は、以下の種類の情報を全て入力します。

- 傷病データ
- 改善/予防措置
- 非従業員情報
- 従業員情報
- 雇用情報
- 保険事故請求情報

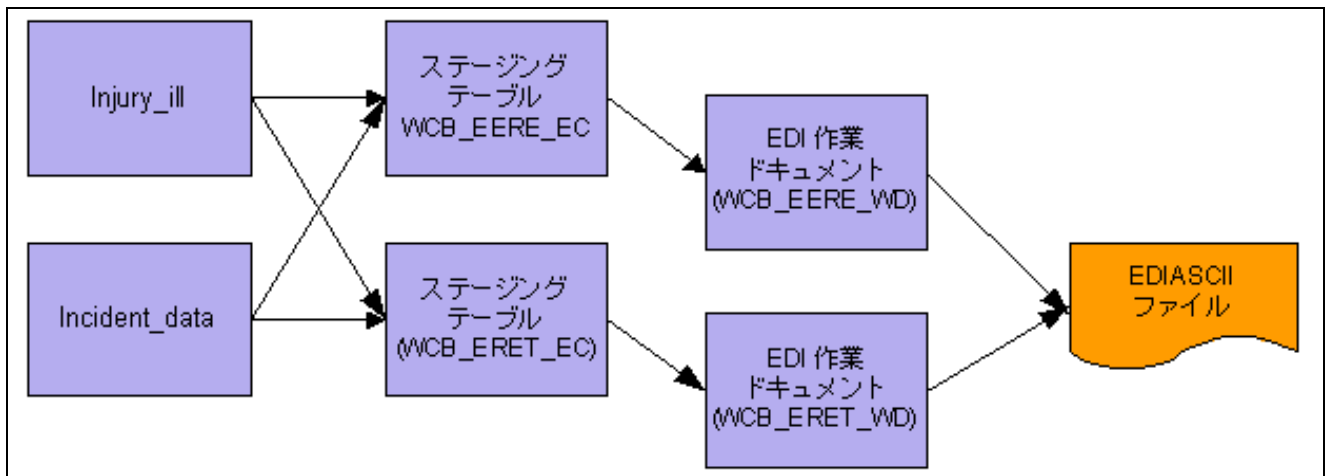
EDI ファイルに収集される情報の大部分は、保険事故の関係者についてのものです。関係者は、従業員 ID または非従業員 ID によって識別されます。WCB は、従業員の傷病を重視します。非従業員の傷病は、その非従業員が証人または調査人の場合に報告されます。

WCB では、さらに電話番号や住所などの連絡先情報が必要となります。たとえば、この PeopleBook では、カナダ特有の住所情報のためのページが随所に示されています。保険事故の関係者全てについて情報をこれらのページに入力する必要があります。これらの情報を使用して、WCB が EDI ファイルに記載するよう義務付けている記録を作成できます。

警告: 一連のデータ入力チェック機能と警告メッセージがキー フィールドにあらかじめ関連付けられているので、BC WCB のレポート要件を満たすのに必要な重要情報を確実に入力できるようになっています。データ入力の際、保険事故の法定区域とセットID を CANBC に設定すると、データ入力チェック機能および警告メッセージを実行できるようになります。間違った法定区域およびセットID を使用すると、フォーマットは正しいが情報が欠落したり有効でなかったりする EDI ファイルが作成されることがあります。この場合は、WCB に却下されます。

WCB レポートのための EDI ファイル作成

EDI レポートに必要なデータを収集したら、WCB EDI ファイル作成プロセス (OHS701BC) を実行して EDI ファイルを作成して送信します。SQR と EDI マネージャを組み合わせ使用し、ASCII ファイルを作成します。以下の図に、プロセスの機能を示します。



WCB EDI ファイル作成プロセス

データの入力や変更は、ページとオリジナルのテーブルを使用して行います。途中のステージング テーブルでは、データ編集はできません。SQR により、通常のアプリケーション テーブルから EC というサフィックスが付いたステージング テーブルへのデータ移動に必要な処理が実行されます。ステージング テーブルは、WD というサフィックスが付いた作業ドキュメント テーブルと 1 対 1 で対応しています。これらのテーブルにより、EDI ASCII ファイルに必要なレコードフォーマットが詳細に定義されます。EDI マネージャによって SQR が実行され、実際の EDI ASCII ファイルが作成されます。ファイル名には WCB で定義されているものを使用します。形式は、xxxxxyyy.yyb です。xxxx は電子通信 ID を表し、yyyyy はメッセージ番号の下 5 桁の数字を表しています。また、b は圧縮または暗号化されているかどうかを示すための識別子です (ファイルは、WCB に電子メールで送信する際に ZIP 形式で圧縮します)。

プロセス スケジューラでは、この WCB EDI ファイル作成のためのプロセスをユーザーの定義した間隔で実行できます。ファイルが作成されると、別のディレクトリを指定しない限り、ファイルはクライアント ワークステーションの C:\Temp ディレクトリに保存されます。ASCII ファイルのデータが正しくない場合は、元のページに戻りデータを変更してから再度 EDI SQR を実行して新たに ASCII ファイルを作成する必要があります。

第 9 章

(DEU) 保険事故と傷病の事業主用モニター管理

この章では、ドイツ固有機能の保険事故データと傷病データの事業主用モニター管理の概要、および、以下の方法について説明します。

- 従業員チェックリスト データの確認
- 従業員の疾病管理
- 担当者情報の入力
- ドイツ固有のレポート用のデータ収集

保険事故と傷病に関する事業主用のデータについて

ほとんどのドイツの事業主責任保険協会では、事業主に対し総合的な安全衛生プログラムの導入（特に危険な作業場や危険物質に接する従業員に対するプログラムの導入）を義務付けています。ヒューマンリソース管理には、ドイツでの業務に関わる保険事故に限定して情報を管理する機能が用意されています。

保険事故や傷病を管理し、事業主責任保険協会に報告するのに必要なドイツ固有機能のほとんどは、主要なグローバル ページに含まれています。

ドイツ固有のレポート

この章で説明するページにデータを入力し終わると、ドイツの従業員のためのレポートを作成できます。以下のレポートを作成できます。

- 事故レポート (OHS001GR)
- レポート対象の事故/疾病レポート (OHS002GR)
- 保険事故発生場所サマリ レポート (OHS003GR)
- 疾病レポート (OHS004GR)

関連項目:

PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「PeopleSoft Enterprise HRMS アプリケーションの基礎のレポート群」、「安全衛生モニター管理レポート」

従業員チェックリスト データの確認

このセクションでは、チェックリスト データの確認の事前設定、および、チェックリストを使って健康診断情報を更新する方法を説明します。

事前設定

会社指定の医師は、従業員チェックリスト ページを使用して、[チェックリスト] グループ ボックスで従業員の健康診断の日付や健康診断のステータスの入力と表示ができます。

会社指定の医師が、従業員チェックリスト ページで健康診断の日付やステータスの表示や更新を行う前に、チェックリスト テーブル、チェックリスト アイテム、従業員チェックリストの各ページを使用して従業員の健康診断チェックリストを作成します。

人事・労務管理コンポーネントの従業員チェックリスト ページでは、[チェックリスト更新日]、[チェックリスト]、[責任者の従業員 ID]、[コメント]、[連番]、[チェックリスト アイテム コード] の各フィールドが表示されます。これらのフィールドを使って、従業員のチェックリストを設定します。

参照: PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 人事・労務管理、「人事・労務管理のビジネス プロセスの設定」、「チェックリストについて」

健康診断情報の更新に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
従業員チェックリスト	HS_EMPL_MEDCHK_GER	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[安全衛生詳細 DEU]、[従業員チェックリスト]	健康診断の日付とステータスの表示と更新を行います。

健康診断情報の更新

従業員チェックリスト ページにアクセスします。

従業員チェックリスト ページ

チェックリスト アイテム (検査タイプ) を追加するには、追加の行を挿入します。

[確認ステータス]

確認ステータスを更新するには、[完了]、[開始]、[通知済]、[受領] の有効なオプションから確認ステータスを選択します。

従業員の疾病管理

このセクションでは、以下の方法について説明します。

- 疾病プロフィールの設定
- 従業員の職務詳細の入力
- 職務関連の疾病に関する情報の入力
- 給与と保険情報の入力
- 治療詳細の入力
- 改善措置の入力
- 予防措置の入力

ドイツでは、事業主が職業病に関する詳細データを管理してレポートを作成することが、法律および保険業者によって義務付けられています。ドイツでの業務が関係する全ての疾病は、疾病管理コンポーネントを使って管理します。これらのページに入力した情報は、ドイツの疾病レポートで使用されます。

疾病の管理に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
疾病プロフィール	HS_ILLNESS1_GER	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[安全衛生詳細 DEU]、[疾病管理]、[疾病プロフィール]	疾病番号を設定し、従業員の疾病の詳細情報を管理します。
職務詳細	HS_ILLNESS2_GER	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[安全衛生詳細 DEU]、[疾病管理]、[職務詳細]	従業員の職務詳細を入力します。
職務関連要因	HS_ILLNESS3_GER	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[安全衛生詳細 DEU]、[疾病管理]、[職務関連要因]	従業員の疾病ごとに、職務に関連した発生要因の情報を入力します。
支給/業務	HS_ILLNESS4_GER	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[安全衛生詳細 DEU]、[疾病管理]、[支給/業務]	疾病に関連する従業員への支給や保険についてのデータを入力します。
治療詳細	HS_ILLNESS5_GER	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[安全衛生詳細 DEU]、[疾病管理]、[治療詳細]	医師、病院、医療診断、検死の情報を入力します。
改善措置	HS_ILLNESS6_GER	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[安全衛生詳細 DEU]、[疾病管理]、[改善措置]	職業病の原因と改善措置を入力します。
予防措置	HS_ILLNESS7_GER	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[安全衛生詳細 DEU]、[疾病管理]、[予防措置]	職業病の原因と予防措置を入力します。予防措置ページは、改善措置ページとほぼ同一です。

疾病プロフィールの設定

疾病プロフィール ページにアクセスします。

疾病プロフィール		職務詳細		職務関連要因		支給/業務		治療詳細		改善措置		予防措置	
従業員 ID:		KD0001		Heiner Breit-Gossmann		雇用コード No.:		0					
<div>プロフィール</div> <div>検索 全件表示 最初 1/1 最後</div>													
疾病番号:		00000001											
*法定区域:		DEU											
担当者 ID:													
職業病コード:													
疾病区分:		<input type="checkbox"/> 保険事故関連 保険事故番号:											
発病日:		2007/04/01		疾病結果:		該当なし							
症状:		Chills, Sneezing, Coughing											
診断結果:		Flu											

疾病プロフィール ページ

[疾病番号]

疾病番号を手動で入力するか、自動採番機能を使います。

注: 疾病番号が重複して作成されてしまわないように、採番方法を常に手動または自動のどちらかの方法に統一してください。

従業員が複数の疾病を持つ場合は、データ行を追加し、疾病を追加します。

[法定区域]

法定区域を選択します。

[担当者 ID]

[担当者 ID] で担当者の ID を選択します。有効な値のリストには、この従業員と同じセットID と所在地コードを持っており、担当者タイプに [会社指定医師] が指定されている従業員の ID が表示されます。

担当者情報は、担当者テーブル DEU で設定し、“従業員の詳細情報” ページで指定します。従業員への担当者の割り当ては、担当者割り当てページで行います。

[職業病コード]

職業病コードを選択します。値は、職業病テーブルに保存されています。

[疾病区分]

このフィールドには、職業病と関連付けられている疾病区分が表示されます。疾病区分の値は、疾病区分 DEU コンポーネントに保存されています。職業病と疾病区分には、事業主責任保険協会が定義した値を使用します。

[保険事故関連]

疾病が保険事故に関連したものである場合は、[保険事故関連] チェックボックスをオンにします。

[保険事故番号]

[保険事故関連] チェック ボックスをオンにすると、[保険事故番号] フィールドが入力可能になります。保険事故番号は、保険事故の詳細コンポーネントを使用して定義します。

[発病日]

発病日を入力します。

- [疾病結果] [該当なし]、[雇用終了]、[転属] の有効なオプションから値を選択します。
- [症状] 簡単な説明を入力します。
- [診断結果] 検査結果を入力します。

従業員の職務詳細の入力

職務詳細ページにアクセスします。

疾病プロフィール	職務詳細	職務関連要因	支給/業務	治療詳細	改善措置	予防措置						
<p>従業員 ID: KD0001 Heiner Breit-Gossmann 雇用レポート No.: 0</p> <p>生年月日: 1941/12/01 死亡日: 性別: M</p>												
<p>職務データ 検索 全件表示 最初 1/1 最後</p> <p>疾病番号: 00000001</p>												
<p>従業員職務データ</p> <table border="1"> <tr> <td>部門 ID: 10200</td> <td>Headquarters</td> <td>アクティブ</td> </tr> <tr> <td>職務コード: 350000</td> <td>Country Manager</td> <td></td> </tr> </table>							部門 ID: 10200	Headquarters	アクティブ	職務コード: 350000	Country Manager	
部門 ID: 10200	Headquarters	アクティブ										
職務コード: 350000	Country Manager											
<p><input type="checkbox"/> 共同所有者</p> <p><input type="checkbox"/> パートナ</p> <p><input type="checkbox"/> 不適任者</p> <p><input type="checkbox"/> 続柄</p>												

職務詳細ページ

このページには、疾病の対象者が従業員の場合は、個人情報コンポーネントに保存されているデータが表示されます。疾病の対象者が非従業員の場合は、非従業員情報 - 個人情報コンポーネントに保存されているデータが表示されます。

- [疾病番号] 複数の疾病の情報を入力するには、新規の行を挿入します。疾病番号は、疾病管理 - 疾病プロフィール ページで入力します。
- [職務名] 疾病の対象者が非従業員の場合は、現在の仕事の簡単な説明を入力します。
- [共同所有者] 該当する場合は、[共同所有者] チェック ボックスをオンにします。オンにすると、[パートナ] と [続柄] の各チェック ボックスが選択不可になります。
- [パートナ] 該当する場合は、[パートナ] チェック ボックスをオンにします。オンにすると、[共同所有者] と [続柄] の各チェック ボックスが選択不可になります。
- [不適任者] 該当する場合は、[不適任者] チェック ボックスをオンにします。
- [続柄] 該当する場合は、[続柄] チェック ボックスをオンにします。オンにすると、[共同所有者] と [パートナ] の各チェック ボックスが選択不可になります。
[続柄] チェック ボックスをオンにすると、関連する続柄のフィールドが表示されます。有効なオプションから、対象者の続柄を選択します。

職務関連の疾病に関する情報の入力

職務関連要因ページにアクセスします。

The screenshot displays the '職務関連要因' (Job-Related Factors) page. At the top, there are tabs for '疾病プロフィール' (Disease Profile), '職務詳細' (Job Details), '職務関連要因' (Job-Related Factors), '支給/業務' (Payment/Work), '治療詳細' (Treatment Details), '改善措置' (Improvement Measures), and '予防措置' (Preventive Measures). The '職務関連要因' tab is active. Below the tabs, the employee ID is KD0001, the name is Heiner Breit-Gossmann, and the job code No. is 0. The '職務関連要因' section includes a search bar, a list of factors (currently showing 1/1), and a form for entering details. The form includes fields for '疾病番号' (Disease Number) 00000001, '現在の職務内容を使用' (Use current job content) checkbox, '開始/終了' (Start/End) dates (2007/04/02 to 2007/04/09), '職務コード' (Job Code) 350000, '現在の職務' (Current Job) Country Manager, '業務責任' (Job Responsibilities), '危険業務' (Dangerous Tasks) infecting others, and a 'コメント' (Comments) field with the text 'recommended sick leave'.

職務関連要因ページ

**[現在の職務内容を使用]、
[職務コード]、[現在の職務]**

対象者が従業員の場合、[現在の職務内容を使用] チェック ボックスをオンにすると、[職務コード] と [現在の職務] の各フィールドに従業員の最新の職務データが自動表示されます。このとき、これらのフィールドは入力不可になります。対象者が従業員で [現在の職務内容を使用] チェック ボックスをオンにしない場合は、[現在の職務] フィールドに直接に情報を入力してください。

非従業員の場合、[現在の職務内容を使用] と [職務コード] の各フィールドは使用できません。[現在の職務] フィールド直接情報を入力できます。

[開始/終了]

対象者の職務の開始日と終了日を入力します。

[業務責任]、[危険業務]

疾病の原因となった業務や危険環境に関する詳しい情報を入力します。

給与と保険情報の入力

支払/業務ページにアクセスします。

疾病プロフィール	職務詳細	職務関連要因	支給/業務	治療詳細	改善措置	予防措置
----------	------	--------	--------------	------	------	------

従業員 ID: KD0001 Heiner Breit-Gossmann 雇用レコード No.: 0

支給/業務詳細 検索 | 全件表示 最初 ◀ 1/1 ▶ 最後

疾病番号: 00000001

支給

☒ 継続支給 終了日: 2007/04/09 31

業務

☐ 業務再開 開始日: 31

業務停止: 即時 業務停止日: 2007/04/02 31

患者の住居:

支給/業務ページ

[支給]**[継続支給]、[終了日]**

従業員が支給を受ける権利がある場合は、[継続支給] チェック ボックスをオンにし、支給が終了する予定日を [終了日] フィールドに指定します。

[業務]**[業務再開]**

疾病で欠勤していた従業員が復職した場合は、[業務再開] チェック ボックスをオンにします。

[開始日]

[業務再開] チェック ボックスをオンにした場合、従業員が職場復帰した日付を入力します。

[業務停止]、[業務停止日]

有効なオプションのリストから値を選択し、従業員が業務を停止した時点を示します。[業務停止日] フィールドにその日付を入力します。

[患者の住居]

患者が療養している場所を入力します。

治療詳細の入力

治療詳細ページにアクセスします。

疾病プロフィール

職務詳細

職務関連要因

支給/業務

治療詳細

改善措置

予防措置

従業員 ID: KD0001

Heiner Breit-Gossmann

雇用コード No.: 0

医師/治療詳細

検索 | 全件表示

最初 1/1 最後

疾病番号: 00000001

+

-

検死

☐ 検死

検死日:

医師名:

☐ 致命傷

検死結果:

医師/病院情報

検索 | 全件表示

最初 1/1 最後

*治療タイプ: 会社指定医師

+

-

医師 ID: 00000000001

Henry Gerald

医療施設コード/施設名: KD06

電話番号:

住所編集

診断

加マイズ | 検索 | 全件表示

最初 1/1 最後

	*診断結果コード		
1	K00020	Common cold	<div><div>+</div><div>-</div></div>

治療詳細ページ

- [検死]

検死が実施された場合は、[検死] チェック ボックスをオンにします。
- [検死]

職業病の結果、死亡に至った場合は、[致命傷] チェック ボックスをオンにします。
- [致命傷]

検死日を入力します。
- [検死日]

検死を行った医師の名前を入力します。
- [医師名]

検死結果を入力します。
- [検死結果]

[医師/病院情報]
- [治療タイプ]

患者が治療を受けている場合は、有効な値のリストから治療タイプを選択します。
- [医師 ID]

医師 ID (非従業員 ID) を選択します。このページのデータは、医師テーブルに保存されています。医師 ID を選択すると、医師名が表示されます。
- [医療施設コード/施設名]

有効なオプションから医療施設コードを選択します。このページのデータは、医療施設テーブルに保存されています。医療施設を選択すると、施設名が表示されます。
- [住所編集]

[住所編集] リンクをクリックすると、“傷病の詳細” – 治療詳細の住所ページにアクセスできます。医療施設のデフォルトの住所は、医療施設ページ (HS_MEDICAL_FAC) に保存されています。要り草施設の住所情報は編集可能ですが、医療施設ページの情報は更新されません。

[診断]

[診断結果コード]

医師の下した診断結果に対する診断コードを、有効なオプションから選択します。これらの値は診断結果テーブルに保存されています。診断結果が複数の場合は、データ行を挿入して、診断結果ごとに診断結果コードを割り当てます。

改善措置の入力

改善措置ページにアクセスします。

The screenshot displays the 'Improvement Measures' (改善措置) page. At the top, there are tabs for 'Medical Profile' (疾病プロフィール), 'Job Details' (職務詳細), 'Job-Related Factors' (職務関連要因), 'Payment/Work' (支給/業務), 'Treatment Details' (治療詳細), 'Improvement Measures' (改善措置), and 'Preventive Measures' (予防措置). Below the tabs, the 'Employee ID' (従業員 ID) is KD0001 and the 'Name' is Heiner Breit-Gossmann. The 'Employment Code No.' (雇用コード No.) is 0.

The main section is titled 'Cause/Improvement Measures' (原因/改善措置). It contains a search bar and a list of items. The 'Cause' (原因) section includes a search for 'Danger Management ID' (危険管理 ID) and a list of causes. The 'Improvement Measure' (改善措置) section includes a search for 'Measure Code' (措置連番) and a list of measures. The 'Status' (*ステータス) section includes a dropdown menu with '推奨' (Recommendation) selected. The 'Completion Date' (完了日) section includes 'Planned Completion Date' (予定完了日) and 'Actual Completion Date' (完了日).

改善措置ページ

[原因]

[危険管理 ID]、[原因]

有効値のリストから危険管理 ID を選択します。値は、危険環境/危険物テーブルに保存されており、個人の法定区域とセットIDに基づいています。危険管理 ID を入力した場合、[原因] フィールドは表示専用になります。

[改善措置]

[措置連番]

データ行を挿入した順に、番号が自動的に割り当てられます。

[改善措置]

有効値のリストからコードを選択します。これらの値は、改善措置 DEU テーブルに保存されています。

[責任者の従業員 ID]

措置を監督する責任のある従業員の ID を選択または入力します。

[措置]

措置の内容を入力します。

[完了日]

[予定完了日]、[完了日] 措置の予定完了日と実際の完了日がわかる場合、各フィールドに入力します。

予防措置の入力

予防措置ページにアクセスします。

予防措置ページは、[改善措置] フィールドが [予防措置] に変わる以外は、改善措置ページと同一です。予防措置で利用可能なオプションは、予防措置 DEU テーブルに保存されています。

担当者情報の入力

このセクションは、ドイツの従業員が関連する保険事故の担当者に関する情報の入力方法について説明します。

担当者の割り当てに使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
担当者割当	HS_JOB_DATA_GER	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[安全衛生詳細 DEU]、[担当者割当]	この従業員と同じセットIDと所在地コードが割り当てられている担当者から、傷病を負った従業員の保険事故を担当する担当者 ID を選択します。

担当者の割当

担当者割当ページにアクセスします。

担当者割当

Heiner Breit-GossmannEMPID: KD0001雇用コード番号: 0

詳細

検索 | 全件表示 | 最初 | 1/2 | 最後

有効日: 2002/01/01同一有効日連番: 0

担当者

加算マイズ | 検索 | 全件表示 | 最初 | 1/1 | 最後

担当者タイプ*	担当者 ID	担当者
会社指定医師	KD0004	<input type="checkbox"/>

担当者割当ページ

[担当者]

[担当者タイプ]

有効なオプションから担当者のタイプを選択します。

[担当者 ID]

従業員と同じセットID と所在地を担当者テーブル DEU で指定されている担当者のリストから、担当者の ID を選択します。

注: “従業員の詳細情報” ページで、組織の従業員を担当者に指定します。これらの担当者は、担当者タイプごとに分類され、担当者テーブル DEU で特定のセットID と所在地に関連付けられます。

[担当者]

[担当者タイプ] で [会社指定医師] を選択し、[担当者] チェック ボックスをオンにした場合、この担当者はドイツ固有機能の疾病レポートで使用されます。

[担当者タイプ] で [安全衛生専門家] を選択し、[担当者] チェック ボックスをオンにした場合、この担当者はドイツ固有機能の事故レポートで使用されます。

ドイツ固有のレポート用のデータ収集

このセクションでは、疾病レポート作成のためのデータ収集に使用するページを紹介します。

疾病レポートのデータ収集に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
疾病レポート	RUNCTL_OHS504GR	[職場環境管理]、[安全衛生管理]、[レポート]、[疾病DEU]、[疾病レポート]	疾病レポート DEU (OHS004GR) を作成するための疾病データを収集します。 注: 疾病レポート (OHS004GR) を実行するには、まず、疾病レポートデータの収集 SQR プロセス (OHS504GR) を実行する必要があります。これらのどちらのプロセスも、疾病レポートページから利用可能です。

PeopleSoft Enterprise 用語一覧

EIM 元帳	Enterprise Incentive Management 元帳の略。PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、参加者のスコープ内の増分結果を処理するオブジェクトのことです。元帳には、データオリジンと、元になった処理ステップに対する全ての適切な追跡を含んだ結果セットがキャプチャされます。
GDS	“Global Distribution System (グローバル販売システム)” の略です。旅行計画を作成するためのコンピュータ予約システム全般を示す広義的な用語です。
GL ビジネス ユニット/GL ユニット	一般会計ビジネスユニットのことです。会計処理上、独立している組織内のエンティティを指します。GL ユニットごとに固有の会計帳簿が管理されます。 ビジネス ユニットの説明も参照してください。
KPI	“Key Performance Indicator (主要業績評価指標)” の略です。組織の重要成功要因の達成度を測るための、上位レベルの尺度です。KPIにより、評価の基準となるデータ値や計算方法が定義されます。
KVI	“Known Value Item (価格や価値が消費者によく知られている商品)” の略です。販売価格を上げたり下げたりすることができない製品または製品グループに使用する用語です。
LDIF ファイル	“LDAP (Lightweight Directory Access Protocol) Data Interchange Format (LDAP データ交換フォーマット) ファイル” の略です。このファイルには、PeopleSoft Enterprise のデータとディレクトリ データとの差異が記録されます。
MCF サーバー	PeopleSoft MultiChannel Framework (マルチチャネルフレームワーク) サーバーの略です。ユニバーサル キュー サーバーと MCF ログ サーバーで構成されます。どちらのプロセスも、アプリケーション サーバードメイン設定で MCF サーバーが選択されたときに開始されます。
NDP	“Non-Discountable Products (割引対象外の製品)” の略です。販売価格を下げるできない製品または製品グループに使用する用語です。
PeopleCode	PeopleSoft Enterprise コンポーネントプロセッサによって実行される固有の言語です。PeopleCode は、既存のデータやユーザーのアクションに基づいて結果を生成します。PeopleTools で提供されるさまざまなツールを使用すると、PeopleCode を実行可能な全ての PeopleSoft Enterprise アプリケーションで外部サービスが利用できるようになります。
PeopleCode イベント	“イベント” の説明を参照してください。
PeopleSoft ピュア インターネット アーキテクチャ (PIA)	リレーショナル データベース管理システム (RDBMS)、アプリケーション サーバー、Web サーバー、およびブラウザで構成される、PeopleSoft 8 の基本アーキテクチャです。
REN サーバー	PeopleSoft マルチチャネルフレームワークの Real-time Event Notification サーバーの略です。
RFI イベント	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、情報の依頼を指します。
RFx イベント	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、入札者間の競争が少なく、複数の入札者が予算内の最高金額で入札した場合に行われる提案依頼または見積イベントの依頼を指します。
SCP SCBM XML メッセージ	SCP = サプライチェーン プランニング、SCBM = サプライチェーンビジネス モデラを意味しています。サプライチェーンビジネス モデラでは、データのインポートおよびエクスポートは、全て XML の形式で行われます。

XLink (XML リンク)	XMLドキュメントに、リソース間のリンクを記述するためのリンク言語です。
XML スキーマ	アプリケーション メッセージ、コンポーネント インターフェイス、またはビジネス インターリンクの表示を統一する XML 定義です。
XPI	eXtended Process Integrator の略です。PeopleSoft XPI は、JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションとのリアルタイムおよびバッチでの連携を可能にする統合インフラストラクチャです。
アイテム	<p>PeopleSoft Enterprise 在庫管理では、ビジネス ユニットに保管されている(または倉庫から出荷される)物品を指します。</p> <p>PeopleSoft Enterprise 需要計画、在庫ポリシー計画、および供給管理では、計画の目的のみで使用する非在庫アイテムを指します。非在庫アイテムを使用して、在庫アイテムのファミリーまたはグループを表すことができます。計画部品表や計画工程手順を設定することができ、計画部品表の構成部品として使用することもできます。計画アイテムは、生産用または設計用の部品表や工程手順に指定することはできず、生産の構成部品として使用することもできません。手持数量は管理されません。</p> <p>PeopleSoft Enterprise 売掛金管理では、個々の売掛金を指します。たとえば、請求書、貸方メモ、借方メモ、償却、または調整などがアイテムに該当します。</p>
アクション テンプレート	PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、顧客やアイテムが、アクションプランの特定の状態にどのくらいの期間とどまっていたかに基づいて、システムまたはユーザーによって段階的に実行されるアクションの概要を定義します。
アクティビティ	<p>PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントでは、登録可能なカタログ アイテム (クラス) のインスタンスを指します。このアクティビティによって、提供物に関連する費用、登録の制限と期限、および登録待ち人数の定員などが定義されます。</p> <p>PeopleSoft Enterprise パフォーマンス マネジメントでは、アクティビティベース マネジメントでコスト計算に使用される、組織の業務と一連のアクションを指します。</p> <p>PeopleSoft Enterprise プロジェクトコスト管理では、プロジェクトをさらに細かく(通常は各タスクに)分類するための業務単位を指します。</p> <p>PeopleSoft ワークフローでは、ビジネス プロセス内で実行する必要がある各トランザクションを指します。アクティビティは、トランザクションを実行するための各ステップで構成されるため、ステップ マップとも呼ばれます。</p>
アプリケーション メッセージング	PeopleSoft Enterprise 製品ファミリーのアプリケーションと、他の PeopleSoft Enterprise 製品またはサードパーティのアプリケーションとを同期または非同期の形式で連携させることができる機能です。アプリケーション メッセージには、パブリッシュ/サブスクライブの対象となるレコードとフィールドが定義されます。
異動理由	従業員の職務または雇用情報が更新された理由です。異動理由は、人事異動(昇進、雇用終了、支給グループの変更など)と、その理由という2つの部分から成ります。異動理由は、PeopleSoft Enterprise ヒューマンリソース管理、PeopleSoft Enterprise Benefits Administration、PeopleSoft Enterprise Stock Administration、および基本福利厚生管理ビジネスプロセスの COBRA 管理機能によって使用されます。
イベント	<p>コンポーネントプロセッサフローまたはプログラムフロー内にあらかじめ定義されたポイントです。各ポイントに達すると、イベントによって各コンポーネントがアクティブ化され、そのコンポーネントとイベントに関連付けられている PeopleCode プログラムが開始されます。イベントの例としては、FieldChange、SavePreChange、および RowDelete などがあります。</p> <p>また、PeopleSoft Enterprise ヒューマンリソース管理では、福利厚生の給付条件に影響する出来事を指します。</p>
イベント継承プロセス	PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、元の PeopleSoft Enterprise Incentive Management イベントの継承を(ロジックを通じて)決定し、他

	<p>のオブジェクトによって処理される元のイベントのデリバティブを作成するプロセスのことです。PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、このメカニズムを使用して分割やロールアップなどが実装されます。イベント継承により、貸方金額をだれが受け取るかが決定します。</p>
イベント制約	<p>PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、特定のソーシングイベントに関連付けられる制約を指します。選択したイベント内で支出が追跡されます。</p>
依頼者	<p>PeopleSoft Enterprise eSettlement-決済管理において、商品またはサービスを依頼し、発注書を参照するさまざまな購買ページに ID が表示されている担当者を指します。</p>
インテグレーション	<p>システム間の連携を可能にする 2 つのインテグレーション ポイント間の関係です。インテグレーションによって、PeopleSoft Enterprise アプリケーションは、他の PeopleSoft Enterprise アプリケーションやサードパーティのシステム/ソフトウェアとシームレスに連携することができます。</p>
インテグレーション セット	<p>同じ目的で使用するインテグレーションの論理グループです。たとえば、インテグレーション セット ADVANCED SHIPPING ORDER には、注文に対する出荷を顧客に通知するために使用される全てのインテグレーションが含まれます。</p>
インテグレーション ポイント	<p>他の PeopleSoft Enterprise アプリケーションや外部アプリケーションとの連携に使用されるインターフェイスです。</p>
ウェアハウス	<p>定義済み ETL マップ、データウェアハウスツール、およびデータマート定義で構成された PeopleSoft Enterprise データウェアハウスです。</p>
売掛金担当者	<p>PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、売上調整と未解決アイテムを追跡および解決する担当者のことを指します。</p>
オークション イベント	<p>PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、最適な価格またはスコアを達成するために、入札者間で積極的な競争が行われるソーシングイベントを指します。</p>
会計処理クラス	<p>PeopleSoft Enterprise パフォーマンス マネジメントにおいて、一般に認められている会計原則 (GAAP) で、リソースがどのように取り扱われるかを定義します。在庫クラスは、リソースが貸借対照表勘定科目に含まれるかどうか (在庫や固定資産など) を示し、非在庫クラスは、リソースが発生した期間の費用として処理されることを示します。</p>
会計処理日	<p>取引が実際に発生した日ではなく、取引が認識された日付を示します。会計処理日と取引日は同じである場合もあります。会計処理日により、取引の転記先の総勘定元帳における会計期間が決まります。選択できる会計処理日は、転記先の元帳のオープン期間内の日付に限られます。通常、アイテムの会計処理日は請求日になります。</p>
会計分割	<p>会計分割メソッドは、1 つまたは複数の会計チャートフィールドセットに、支出がどのように割り当てまたは分割されるかを示します。</p>
回収ルール	<p>PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、未決済残高の金額と期限からの経過日数に基づき、顧客に対して実行するアクションを定義するユーザー定義のルールのことを指します。</p>
価格コンポーネント	<p>PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、全体の入札価格を構成する材料費、人件費、出荷費用などの各種コンポーネントを指します。</p>
価格設定	<p>PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、落札数量に基づいて入札者が行う値引きまたは金額の上乗せを指します。</p>
価格リスト	<p>価格リストを使用して、製品および取引の際に適用される条件を選択できます。取引の際は、その取引に定義されている検索階層に基づいて製品の価格が自動的に決定されるか、または製品に関連付けられたアクティブな価格リ</p>

	ストの最低価格が使用されます。この価格は、以後の全ての割引や割増に対する基準として使用されます。
価格ルール	基本価格に調整が適用されるための条件です。それぞれの条件が満たされれば、複数のルールが適用される場合もあります。
価格ルール キー	価格ルールに対して価格ルール条件(取引のマッチングに使用)を定義するために利用可能なフィールドを定義します。
価格ルール条件	価格設定フィールドとその値を選択し、価格設定フィールドが取引にどのように適用されるかを決定する演算子を選択します。
学習者グループ	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、同じラーニング環境にリンクされた学習者のグループを指します。同じ学習者グループのメンバーは、部門や職務コードなど、同じ属性を共有します。学習者グループを使用して、ラーニング アクティビティやプログラムへのアクセスや登録を制御することができます。また、バックオフィスでグループ登録や一括登録を実行するためにも使用されます。
学習予定	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、学習者ごとに計画されている全てのラーニング アクティビティおよびプログラムを格納するセルフサービスリポジトリです。
学習履歴	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、学習者が完了した全てのラーニング アクティビティやプログラムを記録するセルフサービスリポジトリです。
カタログ アイテム	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、学習者が学習および追跡できるトピックを指します。たとえば、“Microsoft Word について”などがこれに該当します。カタログ アイテムには、トピックについての一般的な情報に加え、コースコード、説明、カテゴリ分類、キーワード、および提供方法が含まれています。1つのカタログ アイテムには、1つまたは複数のラーニング アクティビティが含まれます。
カタログ パートナ	PeopleSoft Enterprise カatalog 管理において、カタログ コンテンツの管理責任を企業のカatalog 管理者と共有します。
カタログ マップ	PeopleSoft Enterprise カatalog 管理において、カタログのソース データから会社仕様のカタログに値を変換するために使用されます。
各国機能	PeopleSoft Enterprise HRMS において、国ごとに利用できる情報セットを指します。この情報にアクセスするには、グローバル ウィンドウで目的の国のフラグをクリックするか、または特定の国向けのメニューからアクセスします。
カテゴリ分類	パートナからのオファーをカタログのオファーに関連付け、それらを会社のカatalog カテゴリにグループ化します。
仮受消費税記録フラグ	“仮払消費税記録フラグ”の説明を参照してください。
仮払消費税記録フラグ	PeopleSoft Enterprise 購買管理、買掛金管理、および一般会計では、このフラグは取引に仮払消費税が記録されることを示します。このフラグは、仮受消費税記録フラグと併せて、取引に対して作成される会計入力と、消費税申告書での取引の申告方法を決定するために使用されます。購買管理と買掛金管理では、取引の消費税情報が追跡されるので、このフラグは必ず“記録する”に設定します。常に仮受消費税だけが記録される PeopleSoft Enterprise 受注管理、請求管理、売掛金管理と、常に仮払消費税だけが記録される PeopleSoft Enterprise 経費管理では、このフラグは使用されません。
関係オブジェクト	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、これらのオブジェクトは給与オブジェクトとビジネス オブジェクトの間の関連性を設定することによって、取引を解決するための給与構造を詳細に定義します。
関係者	ワークフォースの一員ではないものの、組織が情報を管理する対象となる個人を指します。

換算先通貨	予算表示や照会のために、入力通貨から換算する単一の通貨です。
期間コンテキスト	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、参加者は通常複数の期間に同じ給与プランを使用するので、期間コンテキストによってプランのコンテキストが特定のカレンダー期間と会計年度に関連付けられます。期間コンテキストは、関連するプランコンテキストを参照してチェーンを形成します。各プランコンテキストには対応する期間コンテキストのセットがあります。
基本期間	PeopleSoft Enterprise ビジネス プランニングにおいて、カレンダー内の最も基本的な期間を指します。
キャッシュドロア	現金を収納して支払をその場で行うための引出しです。
休暇取得	受給者が、有給休暇を認められるために満たす必要のある条件を定義するエレメントです。
休暇付与	病欠、休養、産休など、有効と認められる休暇について、有給休暇を承認するためのルールを定義するエレメントです。休暇付与エレメントにより、承認可能な金額、頻度、および期間が定義されます。
給与オブジェクト	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、給与構造内のノードを指します。給与オブジェクトは、給与構造の階層を構成する基本単位です。
給与構造	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、給与オブジェクトの階層関係のことです。これは、オブジェクト間の給与関連の関係を表します。
行	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、入札できる個々のアイテムまたはサービスを指します。
業績指標	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、奨励プランの適用範囲内でデータを格納するために使用される変数を指します(アグリゲータと似ていますが、あらかじめ定義されている計算式はありません)。業績指標は、プランのカレンダー、地域、および参加者に関連付けられます。業績指標は割当額の計算やレポートに使用されます。
共通アローワンス	PeopleSoft Enterprise プロモーション マネジメントにおいて、制限付きで資金供給された企業レベルでのプロモーションを指します。業界一般では、これはコーポレートプロモーションやコーポレートディスカウントなどと呼ばれます。
共通ナビゲーション ヘッダー	全ての PeopleSoft Enterprise ポータルには、ナビゲーション ヘッダーが含まれます。これは、ユーザーがそのポータルにサインインしている限り、全てのページで上部に表示されます。ナビゲーション ヘッダーには、標準のナビゲーション ボタン(ホーム、お気に入り、サインオフなど)に加え、各ユーザーへのメッセージなども表示できます。
共有ドライバ計算式	PeopleSoft Enterprise ビジネス プランニングで使用される、ドライバ計算式に似たプランニング メソッドです。1つのプランニング アプリケーション内で共有するためにグローバルに設定したり、PeopleSoft Enterprise ウェアハウスを通じて複数のプランニング アプリケーション間で共有するように設定したりできます。
金融制裁	<p>米国に拠点を置く企業やその企業の海外の子会社は、米国財務省海外資産管理局 (OFAC) の連邦規制により、支払前に取引先が特定国籍業者 (SDN) リストの対象かどうかを確認することが求められます。</p> <p>PeopleSoft Enterprise 買掛金管理、eSettlement-決済管理、資金管理、および Order to Cash では、取引先が金融制裁リスト (SDN リストや欧州連合のリストなど) の対象であるかを確認できます。</p>
クラス チャートフィールド	予算を予算期間、資金、部門 ID、およびプログラムコードと組み合わせた場合に、一意の支出予算キーを識別するためのチャートフィールド値です。以前はサブ分類と呼ばれていました。

グループ	PeopleSoft Enterprise 請求管理と売掛金管理では、1 つまたは複数の取引で構成される転記対象を指します。たとえば、アイテム、入金、振替、マッチング、償却などがあります。 PeopleSoft Enterprise ヒューマンリソース管理とサプライチェーン マネジメントでは、PeopleSoft ビジネス プロセスで計算を実行するため、同一の名前または変数に関連付けられたレコードのセットを指します。たとえば、PeopleSoft Enterprise 勤務管理では、従業員は勤務時間報告用のグループにまとめられます。
グローバル制約	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、複数のストラテジックソーシングビジネス ユニットに適用される制約を指します。複数のストラテジックソーシングビジネス ユニットの全てのイベントにわたって支出が追跡されます。
契約	PeopleSoft Enterprise eSettlement-決済管理において、支払条件、銀行情報、通知などの処理オプションを、購買者とサプライヤの所在地の組み合わせによってグループ化および指定するための手段です。
原価プロファイル	受領原価計算方法、原価フロー、および払出原価計算方法の組み合わせです。プロファイルは台帳に関連付けられ、その台帳におけるアイテムの評価方法や、アイテムの物理的移動の評価方法を決定します。
現在の学習内容	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、現在進行している全てのラーニング アクティビティおよびプログラムに対するセルフサービスリポジトリを指します。
検索クエリー	検索エンジンにクエリー文字列と演算子を渡すために使用されます。検索インデックスは、一致する結果のセットをソースドキュメントへのキーと共に返します。
検索/マッチング	PeopleSoft Enterprise ヒューマンリソース管理において、データベース内の重複するレコードを検索、特定するための機能です。
合計コスト	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、特定の落札方法の見積コスト(実際の金額と、“ソフトダラー”すなわち現金などの直接の支払以外の支払手段によるものの合計)を指します。
購買イベント	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、イベント作成者にとっては、商品やサービスを購入することを指し、通常は見積依頼、提案、またはリバースオークションに関連付けられます。入札者にとっては、商品やサービスを販売することを指します。
購買者	PeopleSoft Enterprise eSettlement-決済管理において、システム内でサプライヤ(取引先)と取引をする組織またはビジネス ユニットを指します(個人ではありません)。購買者は、システム内で実行された購買に対する支払いを作成します。
顧客サブグループタイプ	詳細な履歴、エージング、イベント、およびプロファイルの生成が可能な区分に顧客を分類するための値です。
コストプラス価格設定	PeopleSoft Enterprise Pricer において、商品の原価を基準に価格を設定する方法を指します。
コストプラス契約行	報奨、固定、奨励金、またはその他の料金コンポーネントに関連付けられるレートベースの契約行です。料金タイプが“なし”に関連付けられるレートベースの契約行は、コストプラス契約行とは見なされません。
コレクション	ドキュメントのセットを Verity で検索可能にするには、最初にコレクションを少なくとも1 つは作成する必要があります。コレクションとは、ディレクトリおよびファイルのセットです。コレクションにより、検索アプリケーションのユーザーが Verity 検索エンジンを使用して、検索条件に一致するソースドキュメントをすばやく検索および表示することが可能になります。コレクションは、ファイル サーバー別に固有のフォーマットで格納されたソースドキュメントに対する統計値とポインタで構成されます。コレクションは単一の場所の情報しか格納できないため、PeopleTools では検索索引オブジェクトごとに複数のコレクションのセット(言語コードごとに1 つ)が管理されます。

コンテキスト	<p>PeopleCode において、PeopleCode プログラムの実行中に、前後関係から見てどのバッファフィールドが参照可能か、各スクロールレベル上の現在のデータ行がどの行か、などを判断する基準を指します。</p> <p>PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、プロセスの実行範囲の決定に使用されるメカニズムを指します。PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、計画、期間、および実行レベルの 3 つのタイプが使用されます。</p>
コンテンツ参照	ポータルレジストリに登録されているコンテンツへのポインタです。通常は URL か iScript のいずれかになります。コンテンツ参照は、ターゲットコンテンツ、テンプレート、およびテンプレートページレットの 3 つのカテゴリに分類されます。
コントロールテーブル	アプリケーションの処理を制御する情報が格納されます。このような情報は、組織全体を通じて一貫している場合もあれば、データの共有がより限定され、組織の一部分によってのみ使用される場合もあります。
コンポーネント インターフェイス	API (アプリケーション プログラミング インターフェイス) のセットであるコンポーネント インターフェイスを介すことにより、PeopleSoft クライアントを使用していなくても、プログラムを通じて PeopleSoft Enterprise データベース情報にアクセスしたりデータを修正したりすることができます。
サードパーティ	PeopleSoft によって認定され、PeopleSoft Enterprise アプリケーションと互換性のある製品やインテグレーションを提供する会社やベンダーです。通常は PeopleSoft Enterprise の製品に関して幅広い知識を持っています。
最適化エンジン	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングで使用される PeopleTools コンポーネントで、入札を評価して割り当てる、最適な落札金額を決定します。推奨落札金額は、購買と会社の目的および制約に従って価額が最大になるように設定されます。
作業指示	PeopleSoft Enterprise サービスプロキュアメントにおいて、サービスプロバイダとの契約の基本条件を指定する、リソースベースや成果物ベースの取引を作成できるようにします。サービスプロバイダと契約したら、そのサービスプロバイダは作業指示に従って時刻と進捗状況を記録します。
作業別歩留	PeopleSoft Enterprise 生産管理において、生産されるアイテムに対し、作業ごとの損失を見積もる機能です。
サブビジネスプロセス	ビジネスプロセスのサブセットです。たとえば、“資金管理”というビジネスプロセスのサブセットとして“キャッシュポジションの決定”というサブビジネスプロセスがあります。
サマリツリー	要約元帳内のレポートのタイプごとに勘定科目をロールアップするために使用されるツリーです。サマリツリーを使用すると、ツリーのツリーを定義できます。サマリツリー内の詳細値は、実際には詳細ツリーまたは別のサマリツリー (基本ツリー) 上のノードにあります。サマリツリーの構造によって、そのサマリツリーの土台となる詳細値が指定されます。
参加者	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、参加者は奨励報酬計算プロセスの受取人のことです。
参加者オブジェクト	各参加者オブジェクトは、1 つまたは複数の給与オブジェクトに関連付けられます。“給与オブジェクト”を参照してください。
参照オブジェクト	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、このディメンジョンタイプのオブジェクトによってビジネスをより詳細に定義します。参照オブジェクトには、製品ツリー、顧客ツリー、業種ツリー、地理ツリーなど、独自の階層を定義できます。
参照データ	PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、担当地域、参加者、製品、顧客、チャネルなどの販売単位を表すシステム オブジェクトのことです。

参照取引	コミットメントコントロールにおいて、より上位のレベルの（かつ通常はより最近の）ソース取引によって参照されるソース取引を指します。これは、参照先取引の予算チェック済み金額の一部または全てを自動的に取り消すために行われます。これにより、異なるコミットメントレベルで取引が順次入力される際に重複転記を防ぐことができます。たとえば、エンカンパランス取引（発注など）の金額が予算と比較してチェックおよび記録される際、同時に、対応するブレエンカンパランス取引（調達依頼など）の金額の一部または全てが参照され自動的に取り消されます。
資金	PeopleSoft Enterprise プロモーション マネジメントにおいて、プロモーション アクティビティへの資金を供給する予算です。資金供給方法には、トップダウン、固定計上、ローリング計上、ゼロ基準計上の4つがあります。
資産クラス	レポート目的に使用される資産グループです。資産区分と組み合わせることで使用することにより、資産をさらに綿密に分類できます。
システム機能	PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、一般会計の会計入力がシステム内でどのように作成されるかを定義するアクティビティです。
システム ソース	<p>システム ソースによって、データベースの取引行のソースが識別されます。たとえば、PeopleSoft Enterprise 経費管理から開始するトランザクションには、システム ソースコード“BEX”（経費管理バッチ）が含まれます。</p> <p>PeopleSoft Enterprise プロジェクトコスト管理で請求用のソース取引行の価格を設定すると、新規行のシステムソースを表すシステムソースコード“PRP”（プロジェクトコスト価格設定）が付いた行が作成されます。システムソースコードでは、PeopleSoft Enterprise システム内外のソースを表すことができます。たとえば、Microsoft Project から PeopleSoft Enterprise アプリケーションにデータをインポートするプロセスでは、ソースコード“MSP”（Microsoft Project）が付いた取引行が作成されます。</p>
実行レベルコンテキスト	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、特定のプロセス実行（およびバッチ ID）を期間コンテキストとプランコンテキストに関連付けるために使用します。特定のプロセス実行に関連する全てのプランコンテキストには個別の実行レベルコンテキストがあります。1つのプロセス実行が複数の期間にまたがることはできないので、各プランコンテキストには1つの実行レベルコンテキストだけが関連付けられます。
支払サイクル	PeopleSoft Enterprise 買掛金管理において、支払作成の際に、支払予定を選択するための基準を定義するルールセットを指します。
従業員/非従業員	ワークフォースの一員となる個人です。従業員または非従業員が含まれます。
重要度	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、イベント全体に対する行または質問の重要度を指します。重要度は入札のスコア付けと分析に使用します。RFx イベントとRFI イベントでは、重要度は入札者に示される場合と示されない場合があります。
出張グループ	PeopleSoft Enterprise 経費管理において、特定のビジネスユニット、部門または従業員に関連付けられる組織の出張規定および方針を指します。PeopleSoft Enterprise 経費管理の出張機能を設定する場合は、出張グループを1つ以上定義する必要があります。また、旅行会社には出張グループを1つ以上定義して関連付ける必要があります。
出張パートナ	PeopleSoft Enterprise 経費管理において、組織が契約関係を結んだ旅行会社を指します。
取得価格行	チャートフィールドのセットに対する原価取引と金額です。
条件	PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、与信限度額に達したり、ユーザー定義の未払残高を超えたりして、顧客の勘定のステータスが変更された場合に発生する状況を指します。

消費税対象外(非課税)	消費税の課税対象ではない商品やサービスを指します。消費税対象外の商品やサービスを提供する組織は、関連する仮払消費税を回収することはできません。これは、回収不能免除とも呼ばれます。
消費税保留	消費税支払の一時的免除を許可された組織を指します。
消費税免除(免税)	組織の性質を理由に消費税支払の永久的免除を許可された組織を指します。
消費税例外	組織に対して許可された、一時的または永久的な消費税支払免除のことです。これには、消費税免除と消費税保留の両方の状況が含まれます。
奨励オブジェクト	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、PeopleSoft Enterprise Incentive Management の計算プロセスと結果を定義およびサポートする、奨励関連のオブジェクトのことです(プラン テンプレート、プラン、結果データ、ユーザー介入オブジェクトなど)。
奨励ルール	PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、取引に対して動作し、それらを報酬に変えるコマンドのことです。1つのルールは、取引を報酬に変えるプロセスの一部分です。
所在地	さまざまなタイプの住所を示すために使用します。たとえば企業の場合、請求書受け取り先、出荷先、郵送先などの各住所や、別の建物などを表すために使用できます。各住所には異なる所在地番号があります。1で表される主要所在地は、最も頻繁に使用する住所を示します。これは、主住所とは異なる場合があります。
シリアル/ロット構成	PeopleSoft Enterprise 生産管理において、シリアル管理アイテムの生産工程を追跡するための機能です。
シリアル/ロット生産管理	PeopleSoft Enterprise 生産管理において、製造アイテムのシリアル情報を追跡するための機能です。この情報は、アイテム マスター レコード内で管理されます。
シングル サインオン	シングル サインオンを使用すると、ユーザーは PeopleSoft Enterprise アプリケーション サーバーによる認証を受けた後、ユーザー ID やパスワードを再入力せずに2つ目の PeopleSoft Enterprise アプリケーション サーバーにアクセスできます。
シンジケート	会社のカタログの実用バージョンをパートナーに配布することです。
進捗ログ	PeopleSoft Enterprise サービス プロキユアメントにおいて、成果物ベースのプロジェクトを追跡するために使用されます。進捗ログは、タイム シートと同様に機能し処理されます。サービス プロバイダの担当者は、進捗ログを使用して成果物の進捗状況を記録および提出します。進捗状況は、実行されるアクティビティごとに記録するか、作業の完了率で記録するか、またはプロジェクトに対して定義されているマイルストーン アクティビティの完了ごとに記録することができます。
スコア	PeopleSoft Enterprise ストラテジック ソーシングでは、イベントの入札要因に対する回答数(パーセント)を指します。スコアはオークション イベント入札者にのみ示されます。
ステージ	選択したパートナー オファーを、企業の他のパートナーからのオファーと統合する方法です。
ステップ	PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、プラン内のセクションのコレクションを指します。各ステップは、ジョブ実行に含まれる特定のステップに対応します。
スピードチャート	複数のチャートキーを指定するユーザー定義の省略キーです。支払伝票入力に使用されます。スピードチャート定義内の各チャートキーにパーセンテージを関連付けることもできます。
スピード入力	チャートフィールド値の組み合わせを表すコードです。スピード入力を使用すると、一緒に使用されることの多い複数のチャートフィールドを簡単に入力できるようになります。

製品	PeopleSoft Enterprise またはサードパーティの提供する製品を指します。PeopleSoft では、提供するソフトウェア製品を製品ファミリまたは製品ラインに分類しています。Interactive Services Repository には、PeopleSoft によって販売される全ての製品の各リリースに関する情報が提供されています。また認定されたサードパーティの製品についても情報提供されています。それぞれの製品は、製品名とリリース番号によって区別されています。
製品カテゴリ	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、PeopleSoft Enterprise Incentive Management 製品スイート内の 1 アプリケーションを指します。PeopleSoft Enterprise Incentive Management システム内の各取引は、特定の製品カテゴリに関連付けられます。
製品追加	製品 A を購入すると製品 B が無料または特定の価格で購入できるようにする価格設定機能です (以前の名称は “無償提供品”)。
製品ファミリ	共通の機能を持つ製品のグループを指します。Interactive Service Repository で検索に使用できる製品ファミリ名としては、オラクル社の PeopleSoft Enterprise、JD Edwards EnterpriseOne、JD Edwards World、サードパーティ (認定されたパートナー) があります。
製品ライン	PeopleSoft Enterprise 製品ラインまたは認定されたパートナー (サードパーティ) の会社名を指します。Integration Services Repository では、製品ラインごとにインテグレーション ポイントを検索することもできます。
制約	ソーシング イベントでの落札方法に関する業務方針またはルールです。制約には、ビジネス、グローバル、イベントの 3 つのタイプがあります。
積載	PeopleSoft Enterprise 在庫管理において、まとめて出荷される商品のグループを指します。積載管理は、重量、容積、および出荷先を追跡するために使用される PeopleSoft Enterprise 在庫管理の機能です。
セキュリティイベント	コミットメントコントロールにおいて、セキュリティ権限チェックをトリガするイベントです。たとえば、予算の入力、振り替え、および調整、例外の上書きと通知、照会などがあります。
セクション	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、特定のタイプの取引に対して適用される奨励ルールのコレクションを指します。セクションを使用することにより、プランをセグメント化して、異なるセクション内の論理イベントを処理することが可能になります。
セッション	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、1 つのアクティビティの各集合日を指します。つまり、1 日の開始時刻と終了時刻の間の時間です。セッションには、日付、場所、集合時刻、および講師の情報が格納されます。セッションはスケジュールの決められた研修に使用されます。
セッション テンプレート	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、アクティビティのスケジュール設定に繰返し使用できる共通のアクティビティ特性を設定したものです。共通の特性としては、曜日、開始/終了時刻、施設と教室の割当、講師、設備などが挙げられます。セッション テンプレートは、スケジュールを設定する対象のアクティビティに関連付けることができます。アクティビティにテンプレートを関連付けると、テンプレートの全てのデフォルト情報がアクティビティ セッション パターンに入力されます。
設定パラメータカタログ	PeopleSoft Enterprise と連携する外部システムを設定するために使用されます。たとえば、設定パラメータカタログを使用して、外部サーバー用の構成および通信のパラメータを設定できます。
設定プラン	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、設定プランは共通の変数 (奨励ルールではありません) についての割当情報を保持するもので、参加者のないノードに関連付けられます。設定プランは取引によって処理されるものではありません。

設定リレーションシップ	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、任意のストラクチャードに設定プランを関連付ける関係オブジェクトタイプを指します。
ゼロ税率/ゼロ消費税	税率が0パーセントの消費税コードを持つ消費税取引を指します。実際には消費税が課税されない消費税対象アクティビティを追跡するために使用されます。ゼロ税率の商品やサービスを供給する企業は、関連する仮払消費税を回収できます。これは回収可能免除とも呼ばれます。
先行タスク	次のタスクを開始する前に終了する必要があるタスクです。
ソーシング目標	制約において、ビジネスルールを必要(必須)にするか、推奨(目標)のみにするかを指定するオプションを指します。
ソース取引	コミットメントコントロールにおいて、コミットメントコントロールと統合された PeopleSoft Enterprise またはサードパーティアプリケーションで生成された取引で、コミットメントコントロール予算との比較チェックが可能な取引を指します。たとえば、プレエンカンパランス、エンカンパランス、支出、認識済収入、回収済収入などの取引がこれに当たります。
属性/値(ペア)	PeopleSoft Enterprise ディレクトリ インターフェイスにおいて、ディレクトリ情報ツリー内のエントリを構成するデータを表します。
代替勘定科目	PeopleSoft Enterprise 一般会計において、一部の国で必要とされる特別な記録方法や申告方法に従って、法定の勘定科目一覧表を作成したり勘定取引を詳細取引レベルで入力したりできる機能です。
台帳	PeopleSoft Enterprise 資産管理において、取得価額、減価償却属性、処分などの会計および税関連の情報を格納するために使用されます。
タイムスパン	PeopleSoft Enterprise 一般会計のさまざまな機能やレポートにおいて、特定の日付ではなく一定の期間が必要となき使用できる相対的な期間です。たとえば、会計年度の初めから今日までの期間や当期間などがあります。
代理入札	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、入札者の代わりに入札を行うことを指します。代理入札者は、入札者が指定した金額を下げたり上乗せして、その入札者が落札できるようにします。
タスク	詳細なソーシングプランの成果物アイテムです。
多通貨	ビジネスユニットの基本通貨以外の通貨で、取引を処理できる機能です。
段階価格	スケジュールを分割してそれぞれに異なる価格を設定できます。
短期顧客	テンプレートを使用した受注入力時に入力された、システムに登録されていない顧客です。
地域ソーシング	PeopleSoft Enterprise 購買管理において、複数の入荷先所在地を地域別にグループ化したソーシングモデルに基づいて、適切な取引先と取引先価格設定の構造を管理、表示、および選択するためのインフラストラクチャです。ソーシングは、入荷先所在地より上位のレベルで行われる場合もあります。
チェックブック	PeopleSoft Enterprise プロモーション マネジメントにおいて、資金やプロモーションに関連する財務データ(計画、発生、および実際の金額)を参照するために使用します。
チャートキー	テーブル内の各行を一意に識別するための1つまたは複数のフィールドです。テーブルによって、キーとなるフィールドが1つだけの場合もあれば、複数必要な場合もあります。
チャートフィールド	PeopleSoft Enterprise アプリケーションに応じて、勘定科目やリソースなどの一覧を格納するフィールドです。各チャートフィールド値は、個別の勘定科目番号や部門コードなどを表します。

チャートフィールド一致	特定のチャートフィールドを、取引の貸借が常に一致するよう指定することができます。
チャートフィールド組合せ編集	ユーザー定義のルールに基づき、有効なチャートフィールドの組み合わせに対して仕訳行を検証するプロセスです。
チャネル	PeopleSoft マルチチャネル フレームワークにおいて、電子メール、チャット、ボイス (CTI (Computer Telephone Integration)) などのイベントや汎用イベントを指します。
調整プラン	取引に複数の価格ルールが適合する場合の調整の役割を果たします。調整プランでは、取引の基本価格に適用する価格ルールの順序を決定します。
直接受領	倉庫または取引先から別の倉庫に出荷されるアイテムです。
直納	取引先または倉庫から顧客に直接出荷されるアイテムです。
ツリー	全ての会計単位 (社内部門、プロジェクト、レポーティンググループ、勘定科目番号など) 間の関係と要約上の階層を視覚的に表すために、PeopleSoft Enterprise システムで使用される階層です。
提供方法タイプ	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、組織内で選択可能なラーニング アクティビティの提供方法を示します。オンライン学習、教室での指導、セミナー、教本などがあります。このタイプによって、提供方法にスケジュール型のコンポーネントが含まれるかどうかが決まります。
提供方法/配送方法	<p>PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントでは、それぞれのラーニング アクティビティを提供するための主な方法を示します。また、ラーニング アクティビティのデフォルト値 (費用や言語など) も併せて指定されます。これは主に、学習者が最も適した提供方法をカタログで検索できるようにする目的で使用されます。PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントは混合型の学習システムなので、特定の提供方法を強制することはありません。</p> <p>PeopleSoft Enterprise サプライチェーン マネジメントでは、商品を出荷先へ送る手段 (トラック、航空、鉄道など) を示します。配送方法は、出荷スケジュールの作成時に指定されます。</p>
ディメンション	PeopleSoft 分析計算エンジンでは、分析モデルの基本的なコンポーネントとして、多岐にわたって使用される 1 種類のデータのリストがディメンションに格納されます。ディメンションは、分析モデル内で 1 つまたは複数のキューブに関連付けられます。PeopleSoft キューブ マネージャでは、OLAP キューブの最も基本的なコンポーネントとして、ディメンションの階層構造の作成に使用される PeopleSoft メタデータを指定します。PeopleSoft 分析計算エンジンで使用されるディメンションとデータキューブは、PeopleSoft キューブ マネージャで使用されるディメンションと OLAP (オンライン分析処理) キューブとは無関係です。
ディレクトリ情報ツリー	PeopleSoft Enterprise ディレクトリ インターフェイスにおいて、ディレクトリの階層構造を表します。
データエレメント	<p>最も単純なレベルでは、データのサブセットと、それらをグループ化するためのルールを定義するものです。</p> <p>ワークフォース アナリティクスでは、ワークフォース グループについてどのデータを取得し、どの測定値を適用するかをシステムに定義するルールを指します。</p>
データキューブ	PeopleSoft 分析計算エンジンにおいて、種類別にデータ (受注データなど) を格納するものです。データキューブは、1 つまたは複数のディメンションと併せて使用されます。PeopleSoft 分析計算エンジンで使用されるディメンションとデータキューブは、PeopleSoft キューブ マネージャで使用されるディメンションと OLAP (オンライン分析処理) キューブとは無関係です。
データ取得	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、外部のソースシステムから業務取引の生データを取得し、それをオペレーショナル データストア (ODS) に渡すプロセスのことです。

データセット	データをロールベースでフィルタリングおよび配布するためのデータグループです。データセットルールをユーザーロールに関連付けることにより、ユーザーごとに表示されるデータの範囲と量を制限できます。データセットルールを使用すると、ユーザーのロールに対して適切なデータのセットを取得できます。
テーブルセット	実際のデータ値は異なってもテーブルの構造が同じであるコントロールテーブル間で、類似する値セットを共有するための方法です。
テーブルセット共有	同じテーブルセットに基づく複数のテーブル内に格納されている共有データです。テーブルセット共有を使用しているテーブルには、追加キーまたは固有 ID として SETID フィールドが含まれます。
手配タスク	PeopleSoft Enterprise サービスプロキュアメントにおいて、サービスプロバイダを利用するにあたって発生する管理タスクを指します。手配タスクは、作業指示のサービスタイプにリンクされます。これにより、サービスのタイプに応じて異なる手配タスクを適用することができるようになります。手配タスクには、承認前タスク(新しい記章の割り当てや新しいノートパソコンの注文など)と承認後タスク(説明会のスケジュールリングやサービスプロバイダ宛て電子メールの設定など)があります。手配タスクは、必須にすることもオプションにすることもできます。必須の承認前タスクの場合、作業指示が承認される前に完了しておく必要があります。これに対し、必須の承認後タスクは、作業指示がサービスプロバイダにリリースされる前に完了しておく必要があります。
テリトリ	PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、地域、製品、顧客、業種、参加者などのビジネスオブジェクトの階層関係のことです。
店頭受取数量	店頭販売の環境で顧客が持ち帰る製品の数量です。
店頭販売	顧客との対面取引です。通常、顧客が店頭で商品を選んだり、事前に注文した製品を受け取ります。顧客は商品の代金を店頭で支払います。商品は倉庫から発送してもらう代わりに、店頭で受け取り自分で持ち帰ります。
テンプレート	特定の Web ページに関連付けられた HTML コードです。ページのレイアウトや、ページの各部に対応する HTML の取得場所が定義されます。PeopleSoft Enterprise では、テンプレートを使用して、多数のソースから HTML を連結して 1 つのページを構築します。PeopleSoft Enterprise ポータルでは、全てのテンプレートがポータルレジストリに登録され、各コンテンツ参照にはテンプレートが割り当てられている必要があります。
動的詳細ツリー	ユーザーによって入力された値の範囲からではなく、データベースのテーブルから詳細値(動的詳細)を直接取得するツリーです。
ドキュメント連番	法定レポートの作成や商取引アクティビティの追跡に使用する目的で、システム内の会計取引(請求、発注、入金、支払など)に連続した番号を柔軟に付けるための方法です。
特別価格設定	PeopleSoft Enterprise 受注管理において、価格ルールに関連付けられる調整プランタイプの 1 つです。特別価格設定は、受注取引の価格設定に使用されます。
トランスレートテーブル	データベース内のフィールドで、専用の編集テーブルを必ずしも持っていないさまざまなフィールドについて、コードとトランスレート値を格納するシステム編集テーブルです。
取引ステータス	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、給与ルールによって取引に割り当てられた値を指します。取引ステータスを使用すると、システム処理の特定のステージにある取引だけがセクションで処理されるようにすることができます。正常に処理された場合、取引は次の取引ステータスに更新され、別の処理を実行するために異なるセクションによって取得されます。
取引割当	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、取引のオーナーを識別するプロセスを指します。取引の生データがバッチからプランコンテキストに割

	り当てられると、取引は PeopleSoft Enterprise Incentive Management の取引テーブルにコピーされます。
トレース適用	PeopleSoft Enterprise 生産管理において、生産プロセス中にどの構成部品を追跡するかを制御する機能です。追跡できるのは、シリアル管理およびロット管理されている構成部品です。この情報は、アイテム マスターレコード内で管理されます。
入札回答	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングでは、イベントに対して入札者が回答することを指します。
入カイベント	PeopleSoft Enterprise 一般会計、売掛金管理、買掛金管理、購買管理、および請求管理において、単一の取引から生じる複数の借方および貸方を生成して、標準の補足会計入力を作成するビジネスプロセスです。
認証サーバー	システムのユーザーを確認するよう設定されたサーバーです。
ノードツリー	詳細構造に基づいているものの、詳細値は使用されないツリーを指します。
パートナー	ユーザー企業によって再販売または購入される製品やサービスを供給する企業を指します。
発生	PeopleSoft Enterprise プロモーション マネジメントにおいて、プロモーション関連の支払義務が発生することを指します。つまり、プロモーション アクティビティについて顧客にその金額を支払う義務があることを意味します。
パブリッシュ	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、奨励関連の結果を参加者に対して利用可能にする処理ステージのことです。
販売イベント	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、イベント作成者にとっては、商品やサービスを販売することを指し、通常はフォワードオークションに関連付けられます。入札者にとっては、商品やサービスを購入することを指します。
ビジネス アクティビティ	サブビジネス プロセスを構成するサブセットです。ビジネス プロセス内で実行する特定のトランザクション、タスク、アクションなどがこれに当たります。
ビジネス イベント	PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、手形アクティビティに対する売掛金更新プロセスの処理特性を定義します。 PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、PeopleSoft Enterprise Incentive Management イベント（販売など）の作成の妥当性を示す、元となるビジネス取引またはアクティビティを指します。
ビジネス タスク	ビジネス プロセスを構成する個々の機能です。
ビジネス プロセス	PeopleSoft Enterprise 製品ファミリでは、17 の標準ビジネス プロセスが定義および管理されています。これらのビジネス プロセスは、ビジネス プロセス エンジニアリング グループによってサポートされます。ビジネス プロセスの例としては、受注、契約、在庫管理と出庫、請求までの一連の流れを管理する“オーダーフルフィルメント”などが挙げられます。 サブビジネス プロセスの説明も参照してください。
ビジネス ユニット	経営上または会計上の役割という点で独立している、企業または企業のサブセットを指します。
ビジネス ユニット制約	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、選択したストラテジックソーシング ビジネス ユニットに適用される制約を指します。選択したストラテジックソーシング ビジネス ユニット内の全てのイベントにわたって支出が追跡されます。
評価ルール	PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、顧客の勘定や個別のアイテムの状況を評価して、フォローアップアクションを生成する必要があるかどうかを自動的に決定するためのユーザー定義ルールです。

ファクト	PeopleSoft Enterprise アプリケーションにおいて、ソース データベースや分析アプリケーションのフィールドから取得される数値データの値です。収益、実績、予算データ、売上など、業務を評価するためのあらゆる値がファクトに該当します。ファクトは、ファクトテーブルに格納されます。
フェーズ	レベル 1 のタスクを指します。タスクにサブタスクがある場合、レベル 1 のタスクはフェーズと見なされます。
複数帳簿	PeopleSoft Enterprise 一般会計において、1 つのビジネス ユニットに対し複数の基本通貨に対応する複数の元帳を定義することを指します。1 つの取引を全ての基本通貨(全ての元帳)に転記するか、1 つの基本通貨(1 つの元帳)に転記するかを選択できます。
複製	PeopleCode において、固有のコピーを作成することです。単なる“コピー”では、オブジェクトへの参照が新しく作成されるだけの場合もあり、その場合は元のオブジェクトが変更されると、コピーとオリジナルの両方が変更されます。
プランニング インスタンス	PeopleSoft Enterprise 供給管理において、供給計画の入力と出力を構成するデータのセット(ビジネス ユニット、アイテム、供給、需要)を指します。
プラン	PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、PeopleSoft Enterprise Incentive Management エンジンに取引の処理方法を指示する配賦ルール、変数、ステップ、セクション、および奨励ルールのコレクションのことです。
プラン コンテキスト	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、プラン コンテキストによって参加者がその割り当て先の給与プランとノードに関連付けられ、それにより、PeopleSoft Enterprise Incentive Management システムはそのノードに何が関連付けられているかや給与処理の実行に何が必要かを判断します。各参加者、ノード、およびプランの組み合わせは、固有のプラン コンテキストを表します。たとえば、3 人の参加者が同じ給与構造の場合、それらの参加者はそれぞれ異なるプラン コンテキストを持ちます。設定プランはプラン コンテキストによって識別され、それらを参照する参加者に関連付けられます。
プランチ	PeopleSoft ツリー マネージャで定義されたツリー階層において、上位ノードから分岐しているノードのことです。
プラン テンプレート	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、プランを作成するためのベースとなるものを指します。プラン テンプレートには、テンプレートから作成する全てのプランによって継承される共通のセクションと変数が含まれます。テンプレートにはまた、プラン定義内では確認できないステップやセクションが含まれる場合もあります。
プログラム	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、カタログ アイテムの各セクションの学習順序を示した大まかなグループ単位を指します。PeopleSoft Enterprise ラーニングシステムには、カリキュラムと認定という 2 つのタイプのプログラムがあります。
プロジェクト取引	PeopleSoft Enterprise プロジェクトコスト管理において、コスト、時間、予算、またはその他の取引行を表す個々の取引行を指します。
プロセス インスタンス	各プロセスリクエストを識別するための一意の番号です。この番号は自動的に増加しながら、プロセスリクエストの実行時に提出されたリクエストに割り当てられます。
プロセス カテゴリ	PeopleSoft プロセス スケジューラにおいて、サーバーのロード バランシングと優先順位を基準にグループ化されたプロセスを指します。
プロセス グループ	PeopleSoft Enterprise Financials において、ユーザーが取引入力ページからリアルタイムに直接開始できるアプリケーションプロセスのグループを指します。プロセスは、定義された順序で実行されます。

プロセスジョブ	複数のプロセス定義を1つのジョブリクエストに関連付け、各リクエストを連続または並行して処理します。また、先行するリクエストのリターンコードに応じて、後続のプロセスの開始を制御することができます。
プロセスタイプ	PeopleSoft プロセス スケジューラにおいて、プロセスの種類を識別します。たとえば、SQR のプロセスタイプには、SQR プロセスや SQR レポートなど、全ての SQR プロセスが含まれます。
プロセス定義	各実行リクエストを定義します。
プロセスランコントロール	ランコントロール ID を参照する全てのリクエストについて、実行時に必要となる PeopleSoft プロセス スケジューラの値を取得するための PeopleTools 変数です。アプリケーションランコントロールと混同しないよう注意してください。後者も同じランコントロール ID を使用して定義される場合がありますが、各アプリケーションプロセスリクエストに固有の情報だけが含まれます。
プロセスリクエスト	PeopleSoft プロセス スケジューラを通じて実行する単一の実行リクエストです。SQR (Structured Query Report)、COBOL またはアプリケーションエンジンプログラム、Crystal レポートなどがあります。
プロモーション	PeopleSoft Enterprise プロモーション マネジメントにおいて、通常、取引資金から資金供給され、消費財の売上を伸ばすために製造元によって行われるプロモーションを指します。
ページレット	ホームページ上のコンテンツの各ブロックをページレットと呼びます。ページレットは、ページ上の小さな四角形の領域内にサマリ情報を表示します。ページレットを使用することで、PeopleSoft Enterprise の内外を問わずユーザーに最も関連のあるコンテンツを提供することができます。
変数	PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、計算の中間結果を指します。変数は計算結果を保持し、後で他の計算に入力されます。変数は、エンジンの実行後も保持されるプラン変数である場合と、特定のセクションの処理中にだけ存続するローカル変数である場合があります。
編集テーブル	固有のレコード定義を持つデータベース内のテーブルです。たとえば、部門テーブルなどがあります。PeopleSoft Enterprise アプリケーションでフィールドに値が入力されると、システム全体を通じてデータの整合性を確保するために、編集テーブルと照合して値が検証されます。
ベンチマーク職務	PeopleSoft Enterprise ワークフォース アナリティクス ソリューションにおいて、職務に対する給与調査データがサードパーティ機関から公にされている職務コードを指します。
法定勘定科目	財務結果の記録と申告について行政当局から要求される勘定科目です。PeopleSoft Enterprise では、これは代替勘定科目 (ALTACCT) チャートフィールドに相当します。
ポータルレジストリ	PeopleSoft Enterprise アプリケーションにおいて、コンテンツ参照を編成、分類、および登録するためのツリー構造です。フォルダによる階層ツリー構造を使用して、ポータルの構造とコンテンツの両方を定義します。これにより、コンテンツ参照の整理とセキュリティの確保を効率的に行うことができます。
保管レベル	PeopleSoft Enterprise 在庫管理において、資材保管場所のレベルを識別します。資材保管場所は、ビジネスユニット、保管区域、および保管レベルで構成されます。保管レベルは4つのレベルまで設定できます。
保存済入札	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、作成済みで提出していない入札を指します。落札資格を得られるのは、提出した入札のみです。
マーケットテンプレート	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、特定のマーケットや業種に固有のものとして、製品カテゴリの最上位に作成される補足機能のことです。

マッチンググループ	PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、売掛金アイテムとマッチング相殺アイテムのグループを指します。マッチンググループは、選択されたフィールド値に対するユーザー定義のマッチング条件を使用して自動的に作成されます。
未受付取引	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、データ喪失や不完全データなどが原因で割当処理の完了後にノードや参加者によって受け付けられなかった取引を指します。未受付取引は、給与管理者によって適切なノードまたは参加者に手動で割り当てられる場合があります。
未転記アイテム	PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、入力または自動作成されたものの、まだ転記されていない個々の売掛金（請求書、貸方メモ、償却など）を指します。
メタ SQL	メタ SQL のコンストラクトは、プラットフォーム固有の SQL サブ文字列に展開されます。これは、SQL オブジェクト、SQLExec 関数、PeopleSoft アプリケーション エンジン プログラムなどで、SQL 文字列を渡す関数で使用されます。
メタ文字列	SQL 文字列リテラルに含まれる特別な表現です。メタ文字列には、プレフィックスとしてパーセント記号(%) が付けられ、文字列リテラルに直接含まれます。実行時には、使用されているデータベースプラットフォームに対応する適切なサブ文字列に展開されます。
持分法	PeopleSoft Enterprise 一般会計において、親会社が1か月ごとに子会社の純利益を計算し、その金額を調整して、連結の実行前に投資額と資本収益額に反映させることができるビジネスプロセスです。
元帳マッピング	経費データを一般会計の勘定科目からリソース オブジェクトに関連付けるために使用します。複数の元帳行アイテムを、1つまたは複数のリソース ID にマッピングできます。また、元帳マッピングを使用して、ビジネス ユニットに金額(レート)をマッピングすることもできます。金額をマッピングする際は、会計期間の実際のコストを表す実際金額と、キャパシティレートや予算モデル結果の計算に使用できる予算金額の2種類でマッピングできます。PeopleSoft Enterprise ウェアハウスでは、一般会計の勘定科目を EW 元帳テーブルにマッピングできます。
有効日	PeopleSoft Enterprise アプリケーション内の情報に日付を付ける方法です。システムに履歴データを追加するために過去の日付を指定したり、実際に有効になる前にデータを入力する場合は将来の日付を指定することもできます。有効日を使用することにより、古い値を削除せずに、新しい値を現在の有効日で入力できます。
ユーザー介入オブジェクト	PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、参加者が自分のコンテキストでアクセスできるレポーティング コンポーネントやレポートを定義するために使用します。PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management の全てのユーザー インターフェイス オブジェクトおよびレポートは、ユーザー介入オブジェクトとして登録されます。ユーザー介入オブジェクトは、給与関係オブジェクトを通じて(個別またはグループで)給与構造ノードにリンクすることもできます。
要約期間	PeopleSoft Enterprise ビジネスプランニングにおいて、他の要約期間や基本期間(四半期や年間)など、複数の期間の集合体である任意の期間を指します。基本期間はこれに該当しません。
要約チャートフィールド	特定の詳細値または選択したツリー ノードに基づいて、詳細金額をロールアップする要約元帳を作成するために使用します。詳細値がツリー ノードを使用して要約されている場合は、ノード名の最大長(20 文字)に対応するため、要約チャートフィールドを要約元帳データレコード内で使用する必要があります。
要約元帳	明細元帳からの勘定科目残高の合計を格納するため、主に配賦、照会、および PS/nVision レポート作成で使用される会計機能です。要約元帳を使用すると、レポート作成がリクエストされるたびに明細元帳の残高を集計する手間が省け、レポート作成の効率性とスピードが向上します。要約元帳には、ユーザー指定の条件に従ってバックグラウンドで処理された明細残高が保存されます。値が保存された要約元帳には、レポート作成時に直接アクセスできます。

予算会計のみ	システムによってのみ使用される勘定科目で、ユーザーが使用することではなく、取引を受け付けることもありません。この勘定科目では予算会計のみが可能で、以前は“システム管理勘定科目”と呼ばれていました。
予算期間	予算やレポート関連の目的で分割された時間の間隔です(月や四半期など)。チャートフィールドでは、1つの暦だけに制限されることなく、経営上の会計期間を非常に柔軟に定義できます。
予算コントロール	コミットメントコントロールにおいて、コミットメントと支出が予算を超過しないように管理する機能です。予算コントロールにより、予算額に対する取引額を追跡し、定義された予算条件が満たされない場合はドキュメントのサイクルを終了することができます。たとえば、発注に関連する予算の資金が足りない場合に、発注書が取引先に送付されるのを防ぐことができます。
予算チェック	コミットメントコントロールにおいて、コントロール予算元帳に照らし合わせてソース取引を処理し、取引がパスするかしないか、または警告付きでパスするかを検証するプロセスです。
予測アイテム	需要予測の基準として使用される需要データと予測データの固有のセットから成る論理要素です。予測アイテムは、さまざまな用途で作成されますが、最終的には組織内で購入、販売、または使用され、使用の予測が必要とされるアイテムを表します。
予約	PeopleSoft Enterprise 経費管理において、旅行会社に予約済みの出張予約を指します。
ラーニング環境	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、学習者グループが利用できるカテゴリやカタログ アイテムのセットを指します。また、ラーニング環境ごとに作成されるラーニング アクティビティやプログラムに割り当てられるデフォルト値も併せて定義されます。ラーニング環境を使用すると、カタログを区別化することにより、学習者からは自分たちに関連するアイテムしか見えないようにすることができます。
ラーニング コンポーネント	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、ラーニング アクティビティの基本構成単位を指します。PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントでは、Web ベース、セッション、Webcast、テスト、調査、課題という6つのタイプのラーニング コンポーネントをサポートしています。この中の1つまたは複数のコンポーネントによって、1つのラーニング アクティビティが構成されます。
ライブラリ セクション	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、特定のプラン(またはテンプレート)で定義され、他のプランでも共有できるセクションのことです。ライブラリ セクションに加えた変更は、それを使用する全てのプランに反映されます。
ランコントロール	プロセスを開始するために使用されるオンライン ページの1タイプです。プロセスの例としては、給与計算のバッチ処理などがあります。ランコントロール ページでは、通常データを操作するプログラムが開始されます。
ランコントロール ID	ユーザーとランコントロール テーブルのエントリを関連付ける一意の ID です。
理想回答	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングでは、入札する場合に、落札資格を得るためには回答を理想値と一致させる必要がある質問を指します。回答が理想値と一致していない場合、入札はできますが、不適格な入札と見なされ落札資格は得られません。
リモートデータ/ソースデータ	別のデータベースから抽出され、ローカルのデータベースに移行されたデータです。
流通業取引アクティビティ	PeopleSoft Enterprise プロモーション マネジメントにおいて、割引を受けるのに必要なパフォーマンスを定義する、取引のプロモーションに関連付けられた割引タイプを指します(請求時値引き、請求後値引き、一括支払など)。業界一般で使われている用語では、オファー、値引き、販促イベント、戦術などに該当します。

旅程	PeopleSoft Enterprise 経費管理において、出張予約をまとめたものを指します。旅程には、選択した予約および旅行会社を通じた予約が表示されます。旅程に表示される予約は支払いが済んでいないため、“未完了予約”と呼ばれます。支払いが済んでいる予約は、“確認済予約”と呼ばれます。
リンクセクション	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、プラン テンプレートで定義されていて、特定のプランにも含まれるセクションを指します。リンク セクションに加えた変更は、そのセクションを使用している各プランに継承されます。
リンク変数	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、プラン テンプレートで定義および管理されていて、特定のプランにも含まれる変数を指します。リンク変数に加えた変更は、その変数を使用している各プランに継承されます。
累計	定義済みアイテムの処理時に、その累計値が格納されるエレメントです。累計エレメントには、単一または複数の値について、時間の経過に応じた累計値が格納されます。たとえば、全ての任意控除の金額が累計されるエレメント、または全ての会社控除の金額が累計されるエレメントなどを作成できます。これにより、期間やそれに基づく累計値を柔軟に処理できるようになります。
例外	PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、売上調整アイテムか未解決アイテムのいずれかを指します。
レコードグループ	論理的および機能的に関連付けられたコントロール テーブルとビューのセットです。レコード グループによって、重複するデータ入力を防ぐためのテーブルセット共有が可能になります。全ての関連するテーブルとビューにおいて、テーブルセットを一貫して共有できるようになります。
レコード名	1 つまたは複数の値が一致する関連フィールドを判別するのに使用されるレコードの名前です。
連結消去セット	PeopleSoft Enterprise 一般会計において、連結中に処理される会社間勘定科目のグループです。
ロール	PeopleSoft ワークフローにおける各ユーザーの役割を表します。ロールは、担当者や管理者など、行う作業のタイプごとに分類されるユーザーのクラスです。ビジネス ルールの定義では、通常、各アクティビティを行う必要のあるユーザー ロールを指定します。
ロールアップ	ツリー内で、階層に基づいて総額を計算することです。
ロール ユーザー	PeopleSoft ワークフローのユーザーです。個人のロール ユーザー ID は、システムの他の部分で使用されるユーザー ID とほぼ同じ目的で使用されます。PeopleSoft ワークフローでは、ロール ユーザー ID を使用して、ワークリスト アイテムをユーザーに送る方法(電子メールの使用など)を決定すると共に、ユーザーがワークフロー内で果たす役割を追跡します。ロール ユーザーには PeopleSoft ユーザー ID は必要ありません。
ワークシート	PeopleSoft Enterprise BAM(ビジネス分析モデラー) インターフェイスを使用してデータを分析する方法の 1 つです。ユーザーは、ワークシートを使用して、ピボットテーブル、チャート、メモ、および履歴情報に基づく詳細な分析を実行できます。
ワークセット	1 つのセットとして関連付けられる個人と組織のグループです。ワークセットを使用すると、個人と組織のグループのデータ取得と、取得した情報に対する作業を 1 つのページで同時に行うことができます。
ワークリスト	PeopleSoft ワークフローによって自動的に作成されるタスクリストです。ワークリストを使用すると、次のアクションの実行に必要なページに直接アクセスでき、その後再びワークリストに戻って別のアイテムを処理することができます。
割当ルール	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、システムが各ノードおよび関係者に取引を割り当てるために使用する、給与プラン内の式のことで、取引の割り当てを実行するとき、割当エンジンは、現在のノードからルー

割戻

トノードへと給与構造をトラバースし、割当ルールを含んだプランと比較して各ノードをチェックします。

卸売業界において、サプライヤとディストリビュータ間で取り交わされる契約を指し、この契約においては、指定した製品または製品グループが対象の顧客または顧客グループに販売された時点で、ディストリビュータに一定金額が支払われます。

索引

- ACCIDENTYPE_TBL コンポーネント 5
Americans with Disabilities Act (ADA) (アメリカ障害者法) 10
BC WCB 137
BC WCB レポート 140
BODY_PART_TABLE コンポーネント 5
CAT レポート BRA ページ 133
CLAIM_INFO_CLAIM コンポーネント 19
COMPANY_PROP_TBL コンポーネント 14
Customer Connection Web サイト xii
DIAGNOSIS_TABLE コンポーネント 5
Disability and Discrimination Act (イギリスの身体障害および差別に関する法律) 10
EDI 準備ステップ 139
EDI ファイル (カナダの WCB レポート) 140
HAZ_CON_MATRL_TBL コンポーネント 10
Health Card 1 ページ - 従業員健康保険証情報 43
Health Card 2 ページ - 従業員健康保険証情報 43
Health Card コンポーネント (GVT_HEALTH_CARD) 42
HS_ALLERGY_TBL コンポーネント 5
HS_ANIMAL_TABLE コンポーネント 14
HS_CLASS_CAN コンポーネント 22
HS_CONTFAC_CAN コンポーネント 22
HS_DANGER_OCC コンポーネント 10
HS_EXT_SCHEME_UK コンポーネント 33
HSE レポート 33
HS_ILLNESS_GER コンポーネント 79
HS_IMMUN_TBL コンポーネント 5
HS_INCIDENT_ACTION コンポーネント 103
HS_INCIDENT コンポーネント 106
HS_INJURY_ILL コンポーネント 66
HS_MEDCARE_TBL_AUS コンポーネント 5
HS_MEDCATN_TBL コンポーネント 5
HS_MEDICAL_FAC コンポーネント 16
HS_OCC_ILLNESS_TBL コンポーネント 5
HS_OCCUPATION_CAN コンポーネント 22
HS_PHYSICIAN_DATA コンポーネント 16
HS_PREVENT_ACT_CAN コンポーネント 22
HS_TRANSPORT_TBL コンポーネント 14
INJURY_NATURE_TBL コンポーネント 5
INJURY_SOURCE_TABLE コンポーネント 5
JOB_CODE_HAZRDS_TBL コンポーネント 10
LOCATN_HAZRDS_TBL コンポーネント 10
MODIFIED_WORK_TBL コンポーネント 18
OCC_ILLNESS コンポーネント 5
PAT 詳細データ ページ - 詳細 - 傷病の詳細 68, 82
PAT 詳細データ ページ - 診断 - 傷病の詳細 69, 91
PAT 詳細データ ページ - 届出 68, 74
PeopleBook
注文 xii
PeopleCode の表記規則 xiv
PPP レポート (BRA) 134
PPP レポート BRA ページ 134
RAF 詳細データ ページ 68, 77
RATSB 詳細データ ページ 69, 84
RIDDOR データ収集ページ 107
UNSAFE_ACT_TBL コンポーネント 5
WCB 22, 137
WCB EDI データ収集ページ 140
WCB EDI ファイルの作成ページ 140
WCB フォーム 7 詳細ページ 70
WORK_RESTRICT_TBL コンポーネント 18
- あ
- アプリケーションの基礎 xi
アルコール使用 55, 59
アレルギー
コードの定義 5
従業員別の追跡 43

アレルギー テーブル コンポーネント
(HS_ALLERGY_TBL) 5
アレルギー テーブル ページ 7

い

イギリス
Disability and Discrimination Act (イギリスの身体障害および差別に関する法律) 10
HSE レポート 33
RIDDOR データ 107
外部プログラム 34, 41, 42
医師 17
医師コンポーネント (HS_PHYSICIAN_DATA) 16
移動中 59, 61
移動中の保険事故ページ - 保険事故の詳細 49, 59
医療施設コンポーネント (HS_MEDICAL_FAC) 16
医療施設住所ページ 69
医療施設ページ 17

お

応急処置ページ 69, 85
オーストラリア (保険事故請求規定) 19
オーストラリア (メディケア アイテムの定義) 8

か

会社資産コンポーネント (COMPANY_PROP_TBL) 14
改善措置
管理 103
コードの定義 27, 29
改善措置ページ 103
改善措置ページ - DEU 146, 152
改善/予防措置の設定コンポーネント (HS_INCIDENT_ACTION) 103
外部プログラム (GBR) 33
外部プログラム ページ 34
“過去の健康状態” ページ 69
“過去の障害” ページ 69
家族 45
家族詳細ページ 45
カナダ
BC WCB に報告する保険事故請求 111
WCB 22, 137

長期支給の入力 97
関係者ページ - 保険事故の詳細 49, 62
関連ドキュメンテーション xii

き

危険改善措置ページ 27, 29
危険環境
管理 13
定義 10, 12
危険環境/危険物コンポーネント (HAZ_CON_MATRL_TBL) 10
危険環境/危険物テーブル ページ 11, 12
危険行為 5
危険行為コンポーネント (UNSAFE_ACT_TBL) 5
危険行為ページ 7, 68
危険コード 33
危険事象 10, 11
危険事象コンポーネント (HS_DANGER_OCC) 10
危険事象ページ 11
危険物 12
危険物ページ 27, 30
救急車詳細ページ 69
休憩詳細ページ 49
休職 89
共通フィールド xvii
業務関連ページ 93
業務関連ページ - 傷病の詳細 69
業務制限 18
業務制限項目コンポーネント (WORK_RESTRICT_TBL) 18
業務制限項目ページ 18
業務制限ページ 121
業務制限ページ - 従業員リハビリプラン作成 120, 121
業務制限ページ - 非従業員リハビリプラン作成 120, 121
業務内容変更コンポーネント (MODIFIED_WORK_TBL) 18
業務内容変更ページ 18
業務リスクレポート (BRA) 133
記録ページ - 傷病の詳細 68, 80

く

クラス/サブクラス CAN コンポーネント (HS_CLASS_CAN) 22
クラス/サブクラス ページ 23

け

警告 xv
 経路詳細ページ 49
 健康診断
 結果の管理 123
 健康診断 127
 呼吸器官検査 130
 視力検査 129
 聴力検査 129
 健康診断 - 住所/電話番号ページ 124, 125
 健康診断(ドイツ) 143
 健康保険証確認 1 ページ 43
 健康保険証確認 2 ページ 43
 健康保険証確認 3 ページ 43
 健康保険証確認 4 ページ 43
 健康保険証情報の確認コンポーネント (HEALTH_CARD_RVW) 42
 検査結果ページ - 健康診断 124, 127
 検査結果ページ - 呼吸器官検査 125, 130
 検査結果ページ - 視力検査 125, 129
 検査結果ページ - 聴力検査 125, 129

こ

ご意見 xvi
 交通手段
 コードの定義 15
 保険事故の関連データの記録 59
 交通手段コンポーネント (HS_TRANSPORT_TBL) 14
 交通手段ページ 15
 公的レポート ページ - 傷病の詳細 70, 98
 合同委員会
 合同委員会ページ 108
 定義 108
 保険事故との関連付け 54
 呼吸器官検査 130
 呼吸器官 - 住所/電話番号ページ 125
 個人情報ページ - 非従業員情報 36
 雇用情報 41
 “雇用の詳細”ページ 39, 41
 ご要望 xvi

さ

作業エリア カテゴリ ページ 28, 31
 作業エリア区分ページ 27, 31
 作業エリア ページ 28, 32

し

支給
 長期 97
 支給/業務ページ - DEU 146, 149
 事故現場住所ページ 49
 事故請求情報 AUS ページ - 保険事故
 請求規定 - 組合 AUS 20
 事故請求情報 AUS ページ - 保険事故
 請求規定 - 州 AUS 20
 事故請求情報 AUS ページ - 保険事故
 請求規定 - 請求 AUS 20
 事故タイプ コンポーネント (ACCIDN_TYPE_TBL) 5
 事故タイプ ページ 6, 68
 “事故に関連する動物” ページ 49
 疾病 8
 疾病管理 DEU コンポーネント
 改善措置ページ 146
 支給/業務ページ 146
 疾病プロファイル ページ 146
 職務関連要因ページ 146
 職務詳細ページ 146
 治療詳細ページ 146
 予防措置ページ 146
 疾病管理 DEU コンポーネント (HS_ILLNESS_GER) 79
 疾病区分ページ 27, 29
 疾病プロファイル ページ - DEU 146
 疾病レポート(ドイツ) 154
 疾病レポート ページ - DEU 155
 “支払と入金” ページ 112, 117
 氏名ページ - 医師テーブル 17
 氏名ページ - 非従業員情報 36
 社会保険ユニット ページ 26, 29
 車両 14, 101
 車両詳細ページ 101
 車両/装置事故詳細ページ 48
 車両/装置ページ 101
 従業員業務制限サマリ ページ 120
 従業員健康保険証情報 - Health Card 2 ページ 43
 従業員健康保険証情報(管理) 42
 従業員傷病サマリ ページ 106
 従業員チェックリスト ページ 144
 “従業員の詳細情報” ページ 39
 住所編集ページ - 保険事故の詳細 49
 住所ページ - 医師テーブル 17
 住所ページ - 非従業員情報 36
 出力されたドキュメンテーション xii

詳細ページ - 従業員傷病サマリ 106
 詳細ページ - 傷病の詳細 68, 80
 詳細ページ - 保険事故の詳細 49, 55
 証人 62, 80
 傷病
 業務関連の記録 70
 業務関連の詳細の入力 93
 業務制限の定義 18
 業務内容の変更 18
 コードの定義 5
 従業員サマリの表示 106
 従業員別のデータ管理 106
 主張の記録 80
 詳細の入力 66, 80
 診断の入力 89
 治療情報の記録 85
 内容の入力 77
 レポート詳細の管理 98
 傷病区分コンポーネント
 (INJURY_NATURE_TBL) 5
 傷病区分ページ 6, 68
 傷病原因コンポーネント
 (INJURY_SOURCE_TABLE) 5
 傷病原因ページ 7, 68
 傷病の詳細コンポーネント
 (HS_INJURY_ILL) 66
 職業 CAN コンポーネント
 (HS_OCCUPATION_CAN) 22
 職業病
 業務内容と業務制限の定義 18
 コードの定義 5, 8
 従業員別の管理 106
 詳細の記録 80
 診断結果コードの定義 9
 保険事故に関する記録 77
 職業病 (FRA) コンポーネント
 (OCC_ILLNESS) 5
 職業病コンポーネント
 (HS_OCC_ILLNESS_TBL) 5
 職業病ページ - 職業病テーブル 7, 8
 職業病ページ - 職業病テーブル FRA 7
 職業分類 24
 職業ページ 23, 24
 職務関連要因ページ - DEU 146, 149
 職務詳細ページ - DEU 146, 148
 職務別危険テーブル コンポーネント
 (JOBCODE_HAZRDS_TBL) 10
 職務別危険テーブル ページ 11, 13
 所在地別危険コンポーネント
 (LOCATN_HAZRDS_TBL) 10

所在地別危険ページ 11, 13
 視力検査 - 住所/電話番号ページ 125
 身体部位
 コードの定義 5
 身体部位に対する傷病の報告 80
 身体部位コンポーネント
 (BODY_PART_TABLE) 5
 身体部位ページ 6, 68
 診断
 コードの定義 9
 傷病に関する記録 89
 診断結果テーブル コンポーネント
 (DIAGNOSIS_TABLE) 5
 診断結果テーブル ページ 7, 9
 診断ページ 69, 89
 診療所 16

せ

生活協同組合データ ページ 28, 33
 請求
 開始 112
 概要 111
 詳細の入力 115
 請求の管理 115
 取扱機関詳細の入力 117
 番号の割り当て 113
 レポート 111
 請求額ページ 112, 115
 請求詳細ページ 112
 制限 18
 責任保険 40
 セットID 6
 前提知識 xi

そ

相互参照 xv
 装置 101
 装置詳細ページ 101
 措置ページ - 業務関連 - 傷病の詳細 70
 措置ページ - 従業員リハビリ プラン作成 120, 122
 措置ページ - 非従業員リハビリ プラン作成 120, 122
 損傷 101

た

“担当者の勤務先住所” ページ 112
 担当者ページ 26, 28

担当者割当ページ 153

ち

注 xv
 注意事項 xv
 長期支給ページ 70, 97
 聴力検査 129
 聴力検査 - 住所/電話番号ページ 124
 治療 77, 85
 記録 85
 診断の入力 89
 治療詳細ページ - DEU 146, 150
 賃金内ページ 70

つ

追加情報ページ - 非従業員情報 36, 37
 追加賃金ページ 70
 追加ドキュメンテーション xii

と

ドイツ
 安全衛生担当者 28
 改善措置 29, 152
 危険コード 33
 危険物 30
 健康診断情報 144
 作業エリア データ 31
 支給情報 149
 疾病 145, 149
 疾病タイプ 29
 疾病プロファイル 146
 社会保険ユニット ID 29
 従業員の職務詳細 148
 責任保険 40
 責任保険協会レポート 26
 担当者 153
 治療詳細 150
 予防措置 30
 統合 2
 動物
 コードの定義 15
 動物が関わる保険事故の報告 61
 動物コンポーネント (HS_ANIMAL_
 TBL) 14
 動物ページ 15
 ドキュメンテーション
 関連 xii
 最新版 xii
 出力 xii

届出ページ 67, 70
 届出ページ - 保険事故の詳細 48, 54
 取扱機関ページ 112, 117

な

内容ページ - 傷病の詳細 68, 77
 “名前の編集” ページ - 医師テーブル 17

は

発生場所
 危険物 13
 保険事故に関する記録 56
 発生場所ページ - 保険事故の詳細 49, 56
 発生要因 CAN コンポーネント (HS_CONFAC_CAN) 22
 発生要因タイプ 24
 発生要因ページ 23, 24

ひ

ビジネス プロセス 1
 非従業員 35
 病院 16
 表記規則 xiv

ふ

復職ページ 70
 プリティッシュ コロンビア州労働基準局 (WCB) 137
 プロパティ 14

へ

米国規格協会 (ANSI) 6

ほ

保険 62
 保険事故 66, 80
 BC WCB レポート 137
 移動中の保険事故の詳細情報の入力 59
 改善措置の実施 103
 改善/予防措置の管理 103
 関係者の指定 62
 記録 47
 車両や装置の詳細情報の入力 101
 従業員データの入力 39
 従業員別のデータ管理 106
 詳細の入力 48

傷病の内容 77
 追加と更新 50
 届出詳細の記録 54
 届出データの管理 64
 発生場所の報告 56
 番号の割り当て 47, 51
 非従業員データの入力 35
 保険事故請求規定の定義 (AUS) 19
 予防措置の実施 104
 保険事故請求規定 - 請求 AUS コンポーネント (CLAIM_INFO_CLAIM) 19
 保険事故請求規定 (定義) (AUS) 19
 保険事故請求ページ - 従業員リハビリプラン作成 120
 保険事故請求ページ - 非従業員リハビリプラン作成 120
 保険事故データ ページ - 保険事故の詳細 48, 50
 保険事故の詳細コンポーネント (HS_INCIDENT) 106

め

メキシコ
 研修の法定要件 108
 合同委員会 108
 メディケア (AUS) 8
 メディケア アイテム (オーストラリア機能) コンポーネント (HS_MEDCARE_TBL_AUS) 5
 メディケア アイテム ページ - メディケア アイテム詳細 AUS 8

も

申立詳細ページ 112, 115

や

薬剤
 コードの定義 8
 薬剤 (追跡) 43
 薬剤テーブル コンポーネント (HS_MEDCATN_TBL) 5
 薬剤テーブル ページ 8
 薬物
 過敏性 43
 保険事故との関連 62

ゆ

有効日 5

よ

用語 157
 用語一覧 157
 予防接種コンポーネント (HS_IMMUN_TBL) 5
 予防接種 (追跡) 43
 予防接種テーブル (コードの定義) 8
 予防接種テーブル ページ 8
 予防措置 25, 104
 予防措置 CAN コンポーネント (HS_PREVENT_ACT_CAN) 22
 予防措置ページ 27, 30, 103, 104
 予防措置ページ - DEU 146
 予防措置ページ - 予防措置テーブル CAN 23, 25

り

リハビリ
 業務内容の制限 121
 事故および傷病との関連付け 120
 処理 111
 プラン詳細の記録 122
 プランの管理 119

れ

レポート (ドイツ) 143
 レポート ページ - 保険事故の詳細 50, 64
 連絡先 xvi
 連絡先住所ページ 49

ろ

労働基準局 (WCB) 22